

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title | 〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 1985年 |
| Author(s) | |
| Journal | イベロアメリカ研究, 8(2) |
| Issue Date | 1986-12-25 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9050 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1985年

| 月 日 | 国 名 | 記 事 |
|------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1・ 1 | アルゼンチン | アルゼンチン国鉄 (FA) の中堅技術者を養成する中央研修所センター、日本政府の資金援助と国鉄の技術協力で86年度からスタート。(NK・MN) |
| 1・ 2 | パラグアイ | イタプア県にある日本人移住地フラム地区で、4年前に結婚、入植した日本人主婦、近くの現地人労務者2人によって強殺。(MN・NK) |
| 1・ 3 | メキシコ | クレジットカードのJCB、バンコ・ナショナル・デ・メヒコと提携、現地で加盟店づくり、キャッシングサービスを開始。(NS) |
| 1・ 4 | コロンビア | 日本政府、カリマ第3水力発電所建設計画に対し206億8300万円の円借款供与。(AE・YE・NE・JT) |
| 1・ 4 | コロンビア | コロンビア訪問中の安倍外相、南米各地に住む在外被爆者(広島や長崎で被爆後、海外に移住した人)を対象に、原爆病の医療検診を今年初めて行なうと発表。(YU・AH) |
| 1・ 4 | コロンビア・ ニカラグア | (～5) コロンビアを訪問中の安倍外相、ベタンクール大統領、ラミレス外相と会談。中米紛争解決のため日本に協力を期待。(AE・MN・YE・NE・JT) 4日にはニカラグアのティノコ外務次官とも会談。(NE) |
| 1・ 9 | ブラジル | 新日本製鉄の武田豊社長、リオブランコ勲章グランデオフィシャル章を受章。(NS) |
| 1・10 | ペルー | 伊藤園の本庄正則社長、同国の東京駐在名誉領事に就任。(NS) |
| 1・10 | ブラジル | ヤマハ発動機の現地法人「ヤマハ・モトール・ド・ブラジル」、生産拠点を現在のサンパウロ市から、「税制恩典地区」の自由貿易都市マナウスに移設。(NS) |
| 1・11 | ガイアナ | 外務省人事。ベネズエラ大使滝口吉亮氏、ガイアナ大使を兼務。(AE・MN・YE) |
| 1・12 | メキシコ | (～14) 竹下蔵相、メキシコを訪問し、デラマドリ大統領、エルソグ蔵相と会談。(AH・YU・NK・JT) |
| 1・14 | セントクリストファー ・ネビス | わが国と同国の間に外交関係を開設するため、ロンドンで平原駐英大使とトーマス駐英高等弁務官、書簡を交換。(AH・MN・YU) |
| 1・18 | ハイチ | 外務省人事。メキシコ大使内藤武氏、ハイチ大使を兼務。(AH) |
| 1・19 | ブラジル | 同国政府、絶滅寸前で国外持ち出しが禁じられていながら、偽造輸出許可証で日本に輸出された同国産のサル「ライオンタマリン」10 |

| | | |
|------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 頭について、通産省に返還請求。(MN) |
| 1・23 | コスタリカ | 富士電機、兼松江商と共同で、コスタリカ電力庁のペタナスガリータ水力発電所に納入する発電設備一式、約25億円を受注。 (NS) |
| 1・23 | ブラジル | 三井物産と日立製作所、ブラジル国鉄からラック(アプト歯状軌条)式電気機関車2両、約14億円を受注。(NK) |
| 1・25 | キューバ | 日本キューバ友好協会主催のキューバ革命26周年記念講演会、渋谷で開催。(MN・AH) |
| 1・28 | エルサルバドル | 心臓病の4才の少女来日。その手術費用1000万円を援助しようと「難民を助ける会」協力を呼びかけ。(MN・YU・JT) |
| 1・31 | メキシコ | 三井物産の現地法人「メキシコ三井物産」の藤原宣夫社長、島田精一副社長、機械担当の谷口政利社員、メキシコ人顧問弁護士の計4人、メキシコの繊維メーカーから約6000万ドル(約150億円)の詐欺容疑で告訴され、逮捕。(AE・MN・NE・YE・JT) |
| 2・3 | チリ | 三菱重工業、国営銅公社「コデルコ」から、トコピージャ火力発電所用に、出力12万5000キロワットの石炭だき火力発電プラント、約180億円を受注。(NK) |
| 2・4 | メキシコ | 詐欺容疑で逮捕されたメキシコ三井物産の藤原社長と弁護士キロス氏は不起訴。島田副社長と谷口社員は予審から本審に移され、さらに身柄を拘束。(AH・NK・YU・MN・JT) |
| 2・5 | ブラジル | 東京銀行の現地法人「ブラジル東京銀行」、米国コンチネンタル・イリノイ銀行が全額出資のリース会社「コンチネンタル・イリノイ・リーシング・ド・ブラジル」を310万ドル(約7億9000万円)で買収。(MN・NE・YU・JT) |
| 2・5 | ブラジル | 日本を親善訪問中のサンパウロ日伯援護協会顧問でサンパウロ新聞社長の水元光任氏、同協会が計画中の日系人病院(120ベッド、総工費20億円)建設のため、日本の民間に5億円の援助を求めるPR。 (MN・YE・AE) |
| 2・6 | ブラジル | 吉田工業、現地法人「アグロ・ベクアリア・ヨシダ社」を設立。2001年までに1万1000ヘクタール規模の農牧場を20カ所保有し、肉牛7万頭の飼育、年間52万トンの穀物収穫を見込む。(NE) |
| 2・7 | ブラジル | 第2次セラード開発計画で、「コチア青年」と呼ばれる日本人移住者たち約50人が、100万ヘクタールを目標に開発に参加を表明。 (NK) |
| 2・8 | メキシコ | 日産自動車、84年にメキシコで5万5674台の自動車を販売。82年に初めて確保した業界2位のシェアを維持。(NS) |
| 2・8 | アンティグア・バーブーダ | 石川島播磨重工業、同国公共事業局から、1日造水能力4550トンの海水淡水化プラント2基とそれに付帯する発電設備、4300万ド |

| | | |
|------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | ル(約110億円)を受注。(NK) |
| 2・9 | パナマ | パナマ船籍の自動車運搬船「オートモビルエース号」(8361トン、26人乗り組み)、伊豆大島東海上で漂流、SOS。(YE・MN・JT) |
| 2・9 | ブラジル | 全国柔整学校協会長の米田一平博士、骨折などを無手術で治す日本古来の整骨術の普及のため、リオデジャネイロのガマフィーヨ大学に4年課程の柔道整復師養成コースを新設。(AE) |
| 2・11 | アルゼンチン | 同国の日系人社会、1986年開催予定の「アルゼンチン移住100周年祭」の運営をめぐり、在亜日本人会長(宇野文平氏)派と拓植協同組合をはじめとする反対派に分裂、対立が深刻化。(NK・YU) |
| 2・13 | メキシコ | サントリーの現地子会社「サントリー・メキシコ社」と「ラーメン・メヒカーナ社」の共同の新工場、メキシコ市郊外に完成。(NK・MN) |
| 2・14 | アルゼンチン | (~24) 日本アルゼンチン友好議員連盟顧問徳永正利前参院議長と同会長土屋義彦元環境庁長官、日本の国会議員として初めて同国を訪問、大統領と会見。(AE) |
| 2・15 | スリナム | 外務省人事。ベネズエラ大使滝口吉亮氏、スリナム大使を兼務。(MN・AE・YE・JT) |
| 2・15 | アルゼンチン | (~4・27) タンゴのホセ・バツソ、自らの楽団にハンドネオンのロベルト・パンセラを加えて、15年ぶりに来日公演。(YE・AE・NE) |
| 2・18 | コロンビア | 三菱石油開発、同国に石油の鉱区権益を持つ米国ダイヤモンド・シヤムロックから権益の一部を取得、東京に開発会社「ダイヤ・コロンビア石油」を設立。コロンビア政府の許可を待ち、3月にも試掘。(NS) |
| 2・19 | ホンジュラス | 間組の本田茂社長、在東京名誉領事に任命され、認証式、就任披露パーティ。(NS) |
| 2・25 | メキシコ | (~3・2) 島田正治メキシコ墨画展。18年間に15回メキシコを訪れている同氏の近作45点を銀座で展示。(AH・MN・YE) |
| 2・26 | メキシコ | 同国第29民事地裁、メキシコ三井物産に対し、2億ペソ(約2億4000万円)の仮差し押さえ命令を下し、銀行口座を凍結。(MN・AE・YE・NE) |
| 2・26 | ベリーズ | 外務省人事。メキシコ大使内藤武氏、ベリーズ大使を兼務。(MN・YE) |
| 2・27 | メキシコ | 日本政府、メキシコ三井物産の「詐欺事件」を憂慮し、デラマドリ大統領に対し、安倍外相が異例の「親書」の形で外交圧力。(MN) |
| 2・28 | ブラジル | 川崎製鉄の八木靖浩社長、同国政府から南十字星国家大勲章を受章。(MN・NS) |
| 3・7 | ラテンアメリカ | 国際交流基金、初めて中米、カリブ海諸国へ日本民族芸能団(団長 |

| | | |
|------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3・7 | メキシコ | 伊藤雅夫さん) 3グループ総勢30人を派遣、1カ月間巡業。(AE) 納入機械をめぐるトラブルでメキシコ三井物産を訴えた「アルコン・テキスタイル社」、さきの刑事訴訟に加えて約41億円の損害賠償を求める民事訴訟を起こす。(NE・MN・YU) |
| 3・11 | ブラジル | 川崎製鉄、国営鉱山会社リオドセと投資会社MAP社との合弁で「エレクトロバレ」を設立。フェロシリコン(鉄・シリコン合金)の現地生産工場を建設。(NS) |
| 3・12 | ブラジル | 青木建設社長の青木宏悦さん、クルゼイロ・ド・スール(南十字星)勲章を受章。(MN) |
| 3・13 | キューバ | (~20) 人民議会(国会)代表団(団長フラビオ・ブラボ議長)、衆院議長の招きで来日。14日国会に坂田、木村衆参両院議長を表敬訪問。(AE・MN・NK・YU) |
| 3・14 | ラテンアメリカ | 冒険旅行家の賀曾利隆さん(37歳)、南米大陸一周4万2000キロをオートバイで走破、115日目にゴールのコロンビア・ペレイラ市に到着。(YU) |
| 3・14 | ブラジル | 三井造船、国営鉱山会社「リオドセ」から、カラジャス鉱山用電気ショベル3台、16億8000万円を受注。(NS) |
| 3・15 | ブラジル | 福田元首相、タンクレド・ネベス新大統領就任式に日本政府特使として出席。(YE・MN・AH・NK・JT) |
| 3・18 | チリ | 三菱金属、国営銅公社「コデルコ」から銅電解用の種板はく離装置2基、約3億円を受注。(NS) |
| 3・26 | ドミニカ共和国 | 同国の前駐台湾大使が在任中に外交特権を悪用し、台湾ー日本ルートで末端価格428億円(214キロ)の覚醒剤を密輸していた事件で、警視庁は外務省を通じて同国政府に捜査を依頼。(YU) |
| 3・28 | メキシコ | メキシコ三井物産のプラント納入をめぐる41億円の損害賠償請求の民事訴訟を審理していたメキシコ民事地裁、同社の資産差し押えを命令。(NE・MN・AE) |
| 3・29 | メキシコ | (~4・15) 現地の子供のためにバイオリン音楽院を開いている黒沼ユリ子さん、その生徒12人と教師ら4人と共に日本各地をコンサートツアー。(AE・MN・NK・YE) |
| 3・29 | パラグアイ | 戸田建設、同国保健省からベドロポアンカバレロ市の医療センター第1期工事、6億2000万円を受注。(NS) |
| 4・8 | メキシコ | (~9) 日本とメキシコの長期的協力関係を検討する「日墨長期展望作業グループ」(日墨賢人会議)の第1回全体会議、開催。(NK・AH・MN・YU・JT) |
| 4・9 | メキシコ・ ブラジル | (~11) 女子バレーボール第1回ジャパンカップ世界大会で、日本はメキシコに3-0、ブラジルに3-0で勝ち、総合3位。ブラジル6位、メキシコ8位の成績。(NK・MN・AH) |

| | | |
|------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4・10 | メキシコ | 三菱重工業と三菱商事、セレイ社と共同で、メキシコ電力庁から、ラサロ・カルデナス火力発電所用の石炭・重油専混焼ボイラー2基、約220億円を受注。(NK・NS) |
| 4・11 | ペルー | 大洋漁業系の捕鯨会社「日本捕鯨」、1967年から続けているペルー沿岸でのニタリ鯨捕鯨を3月末で打ち切り、ペルー捕鯨事業から撤退したと発表。(NK) |
| 4・12 | ペルー | 日本の海上保安庁、気象庁と米国海洋大気庁(NOAA)、異常気象の原因といわれる「エル・ニーニョ現象」(ペルー沖の海面水温上昇)を予知するため、衛星を使った太平洋の共同監視体制を強化。(NK・AH) |
| 4・13 | メキシコ | 鬼怒川ゴム工業、テボグループ・イアセサ社と技術提携し、ウェザーstrippの生産工場建設。月産5000台分をメキシコ日産に納入。(NS) |
| 4・13 | ブラジル | 国際マンジョカ開発はリオドセ公社、南米銀行およびコチア産業組合と合弁会社を設立。マンジョカペレット(でん粉を固形化したもの)年産2万トン規模のプラントを建設し、EC諸国に輸出する意向。(NK) |
| 4・15 | メキシコ | 機械納入をめくりメキシコ三井物産に約41億円の損害賠償を請求中の「アルコン・テキステル社」、先のメキシコ民事地裁の決定に基づき、メキシコ三井物産に資産管理人を派遣。(YE・ME・NE・AE) |
| 4・16 | コロンビア | 新日本製鉄、川崎製鉄、日本鋼管、住友金属工業の高炉4社および伊藤忠商事、三井物産、三菱商事、丸紅、住友商事の商社5社、米国ベクテル社とコンソーシアム(企業連合)を組み、国営石油会社エコペトロール社と米国のオクシデンタル・ペトロリアム社が共同開発中のカノリモン油田のパイプライン・プロジェクトで、総額1億ドルの受注を内定。(NK) |
| 4・19 | エクアドル | 日本政府は、ガラパゴス諸島の火災復旧に向けての同国政府の支援要請に対して、3万ドル(約750万円)の緊急援助を決定。(AE・ME・NE) |
| 4・26 | ポリビア | (～6・6) フォルクローレ・グループ「ロス・カルカス」、文化使節として来日。科学万博で演奏の他、13都市を巡演。(AE) |
| 4・27 | メキシコ | メキシコからの移籍ボクサー大関トーレス、WBCジュニアフライ級タイトルマッチでチャンピオン張正九に判定負け。(AH・NK) |
| 5・1 | ニカラグア | ボンで行なわれた安倍外相とシュルツ米国务長官との会談で、日本は米国の対ニカラグア経済制裁に「理解」を表明。(ME) |
| 5・1 | パナマ | 神戸市の海運会社「新田汽船」、パナマに子会社6社を設立し、利益をロンドンなどの銀行口座に隠していた海外脱税容疑で取り調べ。 |

| | | |
|------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | (YE) |
| 5・3 | ブラジル | 国立国会図書館が「南米移民資料収集7カ年計画」に基づいて84年6月から現地で収集を進めてきたブラジル移民関係資料の第1便、約3000点が到着。(YU・MN・AH・NK) |
| 5・7 | メキシコ | (～6・29) コスタリカ出身でメキシコを代表する彫刻家、フランシスコ・スニガの日本初の個展、東京(5・7～18)と大阪(5・22～6・29)で開催。(ME・YE) |
| 5・9 | ドミニカ共和国 | WBCジュニアバンタム級タイトルマッチ、チャンピオン渡辺二郎と挑戦者同級6位フリオ・ソト・ソラノの12回戦、渡辺は判定勝ちで2度目の防衛に成功。(NK・MN・AH・JT) |
| 5・10 | メキシコ | メキシコ三井物産の機械納入をめぐる41億円損害賠償請求の訴訟で、裁判所は同社の資産差し押え解除の方針を通告。(NK・ME) |
| 5・10 | ニカラグア | ホルヘ・ウエソ・カストリーリョ駐米大使、記者会見で米国の経済制裁について、日本国民の連帯、経済支援を訴える。(NE・MN) |
| 5・11 | メキシコ | 住友銀行、住友信託銀行など邦銀6行、メキシコの民間企業向け不良債権を処理するため、85年3月期決算で総額約100億円の貸倒引当金を計上。(NK) |
| 5・13 | ブラジル | ブラジル産天然物加工品の輸入会社「アマゾン実業」、大手マテ茶メーカー「モイノス・ユニドス・ブラジル・マテ・エス・エー社」と日本での輸入総代理店契約を結び、南米産のマテ茶の販売に進出。(NS) |
| 5・17 | アルゼンチン | 堂ノ脇中南米局長、軍事政権下で起きた、日本国籍を持つ3人など11人の日系人移住者の行方不明事件について、日本政府は現在同国政府に調査を要求していると、衆院外務委員会で表明。(YU) |
| 5・20 | メキシコ | 来日中のウンベルト・ルーゴ・ヒル下院議長、中曽根首相と懇談、デラマドリ大統領の親書を手渡す。(NK・YU・AH・MN・JT) |
| 5・20 | ブラジル | 日伯紙パルプ資源開発、日伯共同出資のパルプ生産会社「セニブラ社」と技術交流協定を締結。その第1弾として5月末に、ブラジル側から技術責任者が2人来日、各地の製紙工場などを見学。(NS) |
| 5・20 | アルゼンチン | 日本・アルゼンチン両国政府、サンマルティン劇場の照明機材購入のため、5000万円を限度とする文化無償協力を行なう書簡を交換。(MN) |
| 5・20 | ラテンアメリカ | (～22) 東京都の鈴木知事の呼びかけで各国主要19都市から首長が集まる「世界大都市サミット会議」に、リマ、メキシコ、サンパウロからも参加。(YU・NK・ME・AH・JT) |
| 5・22 | コロンビア | (～6・7) プレコロンビア時代の黄金製品を中心にした日本で初の展覧会、東京で開催。(AH・JT) |
| 5・23 | コスタリカ | (～28) ルイス・アルベルト・モンヘ大統領、科学万博賓客として |

| | | |
|------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5・23 | エクアドル | 来日。天皇陛下、中曽根首相らと会見。(AH・NK・MN・YU・JT) 千代田化工建設と住友商事、同国石油公社から製油所の拡張工事一式、約300億円を受注。(NK) |
| 5・26 | パナマ | パナマ船籍のタンカー「ペトラゲン・ワン」、スペイン南部のアルヘシラス港でナフサ陸揚げ中に爆発、次いで付近に停泊中のスペイン・タンカーも爆発、日本人乗組員4人が死亡、2人が負傷。 (YE・NE・ME・AE) |
| 5・26 | ウルグアイ・ ブラジル | (～6・6) 南米の強豪、ウルグアイ代表やブラジルの名門クラブ「サントスFC」など6チームが参加した「キリンカップサッカー'85」で、サントスがウルグアイ代表を4-2で破り初優勝。(NK・AH・MN・JT) |
| 5・30 | ブラジル | 日伯共同の「セラード開発」、第1段階のパイロット・プロジェクトを成功裡に終え、新たに698億円を投入して対象面積を15万ヘクタールに拡大した「第2次セラード開発」に着手。(NK) |
| 5・30 | アルゼンチン | (～31) 第8回日本・アルゼンチン経済合同委員会、東京で開催。 (AH・JT) |
| 5・31 | ラテンアメリカ | (～6・9) 第1回東京国際映画祭、東京・渋谷地区を中心に開催。ブラジル日系3世の山崎ちづか監督の「ガイジン」、米伯合作の「蜘蛛女のキス」、メキシコ「ノックアウト」、ニカラグア「アルシノとコンドル」なども上映。(NK・ME・AH) |
| 6・2 | コロンビア | (～7) ラミレス外相来日。天皇陛下、中曽根首相、安倍外相と会談。 (AH・NK・MN・YU・JT) |
| 6・3 | ブラジル | サントリーの海外法人「サントリー・ブラジル」、現地の国立ワイン研究所に醸造を委託したワインをブラジル国内で発売。(NS) |
| 6・4 | ペルー | 外務省、同国政府と4300万円の文化無償協力の書簡交換。(NK) |
| 6・5 | ホンジュラス | 来日中のパス外相、安倍外相と会談、経済協力を要請。(YE・NE・JT) |
| 6・5 | ベネズエラ | 来日中のペレス元大統領、中曽根首相と会談。(MN・NK・AH) |
| 6・5 | ベネズエラ | 来日中のアスプルー蔵相、記者会見で債務繰り延べの合意を発表。 (NK・AH・YU・MN) |
| 6・6 | コロンビア | 日本コロンビア協会会長の小林宏治氏(日本電気会長)、同国が外人に与える勲章としては最高のサン・カルロス勲章を受章。(NK・MN・NS) |
| 6・11 | ジャマイカ | 鹿島建設グループ、「カリビアンセメント・コーポレーション」からターンキー(一括請負)方式によるセメント工場建設、約3300万ドル(約87億円)を受注。(NK) |
| 6・12 | ブラジル | 三谷商事と三谷グループの現地法人「ミタニ・オチカ」、1989、90年をめどにブラジルに眼鏡枠工場を建設するに先だち、サンパ |

| | | |
|------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | ウロ市内に南米一大きな眼鏡専門店（地上7階、地下1階）を建設。 (NS・NK) |
| 6・14 | メキシコ・ アルゼンチン | 富士銀行、前年度決算に際し、メキシコの民間企業「アルファ・グループ」向けの不良債権処理のため、この債権1000万ドル（約25億円）をアルゼンチンのリオ銀行が持っていた他の債権3500万ドルと交換する初のローンスワップ実施。(NK) |
| 6・14 | キューバ | (～23) NHK杯バレーボール国際大会で、男子、女子ともキューバ3戦全勝で優勝。(MN・NK・AH・JT) |
| 6・15 | ドミニカ共和国 | (～19) ココ蔵相、科学万博の賓客として来日。(YU・JT) |
| 6・17 | メキシコ | 農水省横浜植物防疫所、横浜港に輸入されたメキシコ産マンゴーから特定重要病害虫のメキシコミバエを発見、2000箱（10トン）の焼却処分を指示、同国政府に調査要請。(MN・YU・AH・NK・JT) 8月9日、輸入再開。(AE・NE) |
| 6・17 | アルゼンチン | 同国領海内で違法操業していた日本漁船「第51富喜丸」、拿捕される。(ME・YE・JT) |
| 6・18 | ブラジル | (～22) アルシエル科学技術相、科学万博賓客として来日。(YU・JT) |
| 6・18 | メキシコ | 三井物産、メキシコ中央銀行発行の法定銀貨「ラ・リベルタード」（1トロイオンス、純度99.9%）を投資用として通信販売、第1回は5000個目標。(NK) |
| 6・19 | メキシコ | メキシコ市地裁、取引先のトラブルで日本人幹部ら2人が起訴されている「メキシコ三井物産」に対し、仮差し押え解除の決定。 (MN・NK) |
| 6・19 | ブラジル | (～27) ボサノバの女王ナラ・レオン、ギタリストのロベルト・メネスカル、7重奏団カメラータ・カリオカとともに来日、コンサート。(AE・YE) |
| 6・22 | メキシコ | 三洋電機、メキシコの合弁工場「サンメックス」を基地に、ニッケルカドミウム電池の生産工場を建設。(NS) |
| 6・25 | ブラジル | (～26) リオデジャネイロ出身で詩人吉増剛造氏の夫人マリリアさん、東京・池袋で詩と舞踊と電子音楽のユニークなパフォーマンス。 (ME・YE・NE) |
| 6・26 | ポリビア | 日本政府、同国政府と18億4800万円の無償援助の書簡交換。 (YU) |
| 7・1 | ラテンアメリカ | 財団法人国際金融情報センター、主要債務国を対象とした国別格付け（カントリーリスク）サービス開始。返済に支障のあるEランクにキューバ、コスタリカ、危機をきたしているDランクにアルゼンチン、チリ、ペルー、危機の恐れがあるCランクにメキシコなどが指名される。(NK) |

| | | |
|------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7・1 | メキシコ | 本田技研工業、350CC以上の中大型オートバイの生産認可を同国政府より受け、今秋に工場建設、来年中に稼働の計画。(ME・NK・YU) |
| 7・2 | メキシコ | メキシコ国営シカルツァ社、日本鋼管に対し、製鉄所拡張の一部である電気炉工場建設(総額約600億円)の延期を通告。(NS) |
| 7・4 | ラテンアメリカ | (～5)南米の河川に生息する淡水魚ペヘレイの増養殖に関する第1回研究会、神奈川県淡水魚増殖試験場のよびかけで開催。11県の担当者が意見交換。(YU) |
| 7・4 | ブラジル | 日伯合同の大型プロジェクト「アマゾン・アルミニウム計画」のうち、パラ州のバルカレーナで建設中のアルミ精錬工場が完成、火入れ式。(NE) |
| 7・5 | メキシコ | 日本発条、メキシコ最大のばねメーカー「ラッシーニ・リーム社」に自動車用ばねの技術援助。(NS) |
| 7・5 | ブラジル | サンパウロ日伯援護協会会長の竹中正さん、ブラジル初の日系病院建設に日本の資金援助を求めて来日。(MN・YU) |
| 7・5 | ブラジル | (～7)華道家の大野典子さん、国際交流基金の後援でサンパウロ美術館で作品展。(AE) |
| 7・6 | ドミニカ共和国 | 青木建設と大成建設、共同で同国エルポソ灌漑工事、約80億円を受注。(NK) |
| 7・9 | ボリビア | 大成建設、日建工業の現地子会社「日建ボリビアナ社」と共同で、鉄道災害復旧工事、約40億円を受注。(NK) |
| 7・10 | メキシコ | (～8・16)アルパ奏者セルソ・ドゥアルテとソプラノ歌手マレーナ夫妻と4人の子供たち、6人家族の音楽一家ドゥアルテ・ファミリー、来日、コンサート。(AE) |
| 7・12 | メキシコ | 日墨共同のナショナル・プロジェクト「シカルツァ製鉄所第2期拡張計画」、メキシコ側の財政悪化で事実上中断。邦銀のシンジケートローン700万ドル(約16億8000万円)も無期延期。(NS・MN・YU) |
| 7・12 | 中米 | 安倍外相、シュルツ米国务長官との会談で、中米援助拡大の意向を表明。(AH・NK・YU) |
| 7・12 | ジャマイカ | (～17)シーガ首相、科学万博賓客として来日。天皇陛下と会見。(YU・NK・AH・JT) |
| 7・24 | メキシコ | 日本板硝子、米国の板ガラス大手リビー・オーエンス・フォードと折半出資でメキシコに設立した「L-Nセーフティ・グラス社」の自動車用ガラスの生産能力を倍増し、日本の自動車各社の米国進出に対応。(NK・NS) |
| 7・24 | トリニダードトバゴ | (～18)チェンバース首相、来日。25日中曽根首相と会談、27日科学万博視察。(YU・MN・NK・AH・JT) |

| | | |
|------|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7・25 | メキシコ | ナカヨ通信機、カナダの有力通信機メーカー「マイテル社」のメキシコ子会社にボタン電話機などの製造技術を供与、ロックダウン方式で生産。(NK) |
| 7・26 | エルサルバドル | (～31) 海外青年協力隊として同国の国立芸術高校で教壇に立った元隊員のうち、陶芸家ら5人の作品展「グルーポ・サルバドル展」、銀座で開催。(AH・NE) |
| 7・30 | ブラジル | 横河北辰電機、サンパウロ市内に工業計器の工場建設、86年5月に生産開始、一部を米国と日本に輸出する予定。(NK) |
| 7・31 | メキシコ | (～8・11) 日本バレーボール協会、東京オリンピック金メダルチームの主将として活躍した中村昌枝さんを初の女性コーチとしてメキシコに派遣。(NK・AH・MN) |
| 8・4 | ブラジル | サンパウロで「原爆被爆40周年慰霊祭」開催、約2000人が参加、犠牲者のめい福を祈り、平和デモ行進。(YE) |
| 8・6 | キューバ | 共産圏貿易を中心とした中堅商社のミツクラ、キューバ政府と折半出資で合弁会社を設立、来春神戸市内にラム酒の瓶詰工場を建設。(NS) |
| 8・7 | メキシコ | ベタ石油公社「ペメックス」総裁、中曽根首相と会見、石油公社の私募債募集で協力を要請。(NK) |
| 8・7 | チリ | 三宝伸銅工業、西独の伸銅メーカーVDM社を通じて、コデルコ(国営銅公社)向けに約700トンの配線用銅帯を受注。(NS) |
| 8・7 | パラグアイ | 外務省人事。駐パラグアイ大使に坂本重太郎OECD日本政府代表部公使を起用。(NE・YE・ME) |
| 8・8 | ラテンアメリカ | (～9) 外務省、1985年度の中南米大使会議をコロンビア・ボゴタで開催。(NK・YU) |
| 8・8 | ホンジュラス | 沖電気工業、ホンジュラス通信公社から、電話局用デジタル交換機、光伝送システムなど、総額60億円の通信網プロジェクトを受注。(NS・NK) |
| 8・8 | ブラジル | 日鉄建材工業、マグネジッタ社と製鋼副材料である連続铸造用パウダーの製造技術供与契約。(NS) |
| 8・12 | ホンジュラス・エクアドル | 海外経済協力基金、両国政府と各々96億2200万円、94億9900万円の借款契約。(NS) |
| 8・13 | メキシコ | 繊維機械納入をめぐるトラブルから、メキシコ検察当局に逮捕、拘留されていたメキシコ三井物産の島田副社長ら2人、物産側の主張が認められ、6カ月半おりに釈放。(YU・NK・MN・NS・AH) |
| 8・13 | ニカラグア | 広島、長崎の原爆被爆40周年式典参加のため来日中のオルガ・アビレス・ニカラグア平和委員会議長、記者会見で米国を非難。(MN) |
| 8・16 | ブラジル | 東京・代々木五輪プールで行なわれたパンパシフィック水泳大会男 |

| | | |
|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 子400メートル個人メドレーで、リカルド・プラド、今季世界最高で優勝。(MN・AH) |
| 8・19 | コロンビア | 日鉄工業、伊藤忠商事と現地の鉱山会社「ミナス・エル・ロブレ社」との共同で銅鉱山開発会社を設立、63年から年10万トン採掘の計画。(NS) |
| 8・20 | ペルー | 外務省人事。駐ペルー大使に藪忠綱駐ボリビア大使を起用。(YE・AE・NE・ME) |
| 8・21 | コロンビア | 田村電機製作所、メデジン電話公社から、電子化した卓上、壁掛け2タイプの公衆電話機、総額2億5000万円を受注。(NS) |
| 8・22 | ベネズエラ | 住友電気工業、住友商事を通じて、ベネズエラ電力庁からマラカイボ湖に敷設する光通信システムを組み込んだ世界最大規模の水底送電設備総額120億円を受注。(NS・NK・AH) |
| 8・22 | ブラジル | (～9・11) ブラジルポップスのスーパースター、シモーネ初来日、全国コンサートツアー。(YE・NE・ME・AE・JT) |
| 8・26 | ブラジル | 松下電器の松下正治会長、ブラジル工業連盟から産業功労章を受章。(NS・YU・MN・JT) |
| 8・27 | キューバ | 神戸市で開かれているユニバーシアード大会の体操・跳馬の部門で、スアレス優勝。(MN・NE) 30日、陸上・やり投げでイボン・リアル・ブラボ、大会新で優勝。(MN・JT) |
| 8・30 | メキシコ | 国営石油公社「ペメックス」、10月初旬、日本市場で100億円の円建て私募債発行、引き受け主幹事は日本興業銀行。(NE) |
| 8・30 | ジャマイカ | (～9・1) ジャマイカの民族音楽レゲエの祭典「レゲエ・サンスプラッシュ」、同国からのミュージシャン、バンドを迎えて日本で初めて開催。(AE) |
| 8・31 | メキシコ | 日本発条、メキシコ最大のばねメーカー「ラッシーニ・リーム社」とメキシコ国内に合弁会社を設立。1987年から自動車用ばねを生産。(NS) |
| 8・31 | ニカラグア | 音楽好きのニカラグアの人たちのためにと、歌手横井久美子さんが呼びかけて集めた122本のギターと弦、送り出される。(AE) |
| 9・2 | ホンジュラス | 日本政府、食糧増産と農村総合開発モデル事業計画にそれぞれ6億円、8億5000万円の無償援助。(YU) |
| 9・4 | ブラジル | 日本航空とパリグ・ブラジル航空(RG)、東京への貨物輸送力拡大と、日航のマナウス線確保で合意。(NK) |
| 9・7 | コロンビア | 日本輸出入銀行と世界銀行、コロンビアの石油開発プロジェクトに総額2億1000万ドルの協調融資。(NK) |
| 9・10 | メキシコ | メキシコ太平洋岸のラサロ・カルデスで日墨両国共同で進めていた鉄鋼プロジェクト完成、19日開所式。(NS) |

| | | |
|------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9・10 | ハ イ チ | (～13) 同国商業省と日本貿易振興会(ジェトロ)、虎ノ門ジェトロ内で物産展。(NS) |
| 9・11 | パ ナ マ | 青木建設の青木宏悦社長、外国人に与えられる最高の勲章、勲一等バルボア勲章を受章。(ME) |
| 9・15 | ベ ネ ズ エ ラ | 筑波の科学万博エキスポプラザで開かれた'85ミス・インターナショナルで同国代表のニーナ・シシリア・エルナンデスさんに世界一の栄冠。(MN・AH・YU・NK) |
| 9・17 | メ キ シ コ | 日本とメキシコの協力のあり方を検討してきた日墨長期展望作業グループ(通称、日墨賢人会議)、太平洋協力、貿易、エネルギーなど8分野にわたる提言を安倍外相に提出。(AH・MN・NK・JT) |
| 9・19 | メ キ シ コ | メキシコ市を襲った大地震のため、日本からメキシコへの通信回線が途絶。在留邦人約3000人は無事。(NE・ME・AE・YE) |
| 9・20 | ブ ラ ジ ル | 同国に移住して48年、農業拓植協同組合中央会の監事、日伯文化協会評議員の伊藤直さん、新時代の移住を呼びかけるため来日。(AE・NK) |
| 9・22 | キ ュ ー バ | バレーボールの第3回世界ジュニア選手権大会女子決勝(イタリアで開催)で、キューバ、日本を3対1で下し初優勝。(NE・AE) |
| 9・23 | メ キ シ コ | 日本赤十字社、メキシコに4人編成の医療班派遣。政府、25日、第2次国際救急医療調査チーム4人を派遣。28日、地震、通信の専門家7人を派遣。(NK・MN・AH・YU) |
| 9・23 | ブ ラ ジ ル | (～29) サンパウロとりオデジャネイロで開かれる第3回日本現代音楽週間に、作曲家の服部公一さんとママさんコーラスのメンバー30人が参加。(AE・NK) |
| 9・24 | メ キ シ コ | 日本政府、メキシコの地震被災に対し125万ドルの緊急援助を決定。通産省、大地震に伴う同国の製油所の被害状況調査のため、専門家を派遣。(NE・AH・YU・ME・JT) 地震発生後、日本国内の企業、市民、市民団体、学校法人等から次々と援助が寄せられる。また学会、企業、大学等も学術調査団、技術者を派遣し、復旧作業に協力。 |
| 9・26 | パ ナ マ | 安倍外相、シュルツ米国务長官、アバディア・パナマ外相の3代表、日米パの3カ国で進めている第2パナマ運河建設構想の実現に向け、調査委員会を設置する取り決めに調印。(AE・ME・YU・NE・JT) |
| 9・27 | メ キ シ コ | 10月6日から予定されていたデラマドリ大統領の訪日は、地震災害のため中止。(YU・ME・NK・AH・JT) |
| 9・29 | ブ ラ ジ ル | (～10・2) 安倍外相、国連総会出席後、ブラジル訪問。サルネイ大統領と会談する他、日系人団体と交流。(YU・NK・AH・MN・JT) |
| 9・29 | コ ス タ リ カ | 富山・コスタリカ交流協会、家庭配置薬を同国へ輸出、配置薬商法 |

| | | | | | | | | | |
|-------|---|---|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | を指導し、同国からは牛から取れる強心剤「牛黄（ごおう）」を輸入する計画に合意。(AH) | | | | | | |
| 9・30 | バ | ハ | マ | 米国のパソコンメーカー「コモドール・インタナショナル」の日本の生産拠点である「コモドール・ジャパン」、バハマのタックスヘイブンを悪用し、36億円の申告漏れ。(NK) | | | | | |
| 9・30 | ブ | ラ | ジ | ル | キッコーマンの現地法人「キッコーマン商工」のしょうゆ工場、サンパウロ地区でしょうゆのテスト販売。(NS) | | | | |
| 10・1 | メ | キ | シ | コ | (～11・30) 埼玉県立博物館で「メキシコの民芸」特別展。(NE・AH) | | | | |
| 10・1 | ブ | ラ | ジ | ル | (～3) 日本とブラジルの航空協議で、86年1月から、両国間航空路にボーイング747を週3便運航することで合意。(YU・MN) | | | | |
| 10・2 | チ | リ | ・ | エ | ク | ア | ド | ル | 日本郵船、大阪商船三井船舶、川崎汽船の邦船3社とチリのCCN I (ナビガシオン・インターオセアニア社) で構成する「アンデス・エクスプレス・サービス」、チリの「スド・アメリカーナ・デ・バポール社」、エクアドルの「トランスポール・ナビエロス・エクアトレインズ社」の3社が連合し、1986年1月から南米西岸航路を1本化。(NS) |
| 10・3 | メ | キ | シ | コ | メキシコ訪問中の安倍外相、地震災害復旧と経済再建のため、5000万ドル(約110億円)の緊急融資を行なうと表明。(ME・NE・AE・JT) | | | | |
| 10・4 | メ | キ | シ | コ | 三井建設と同社の現地法人の調査によると、メキシコ市内の日系企業35社はすべて建物に被害を受け、うち22社は抜本的修理が必要と判明。(AH) | | | | |
| 10・5 | メ | キ | シ | コ | (～12・22) 渋谷のたばこと塩の博物館で「知られざる古代メキシコ—ミチョアカンの歴史と文化」展。(ME・NE・AE) | | | | |
| 10・5 | ブ | ラ | ジ | ル | 浅草のサンバカーニバルに、リオデジャネイロから20人の女性「サンバインバーロ」がゲスト参加。(ME・AH) | | | | |
| 10・7 | メ | キ | シ | コ | 同国政府の財政難で事実上中断していた日墨共同のナショナル・プロジェクトであるシカルツァ製鉄所の第2期拡張計画、1987年末に再開で合意。(NE・AH) | | | | |
| 10・9 | ブ | ラ | ジ | ル | 三井物産、ブラジル連邦鉄道から、サンパウロ市の鉄道整備計画向けに新造電車25編成(100両)、約3100万ドル(約66億6000万円)を受注。(NS) | | | | |
| 10・12 | 仏 | 領 | マル | チ | ニ | ッ | ク | 島 | 同地出身の女性映画監督、ユーザン・パルシー、自作「マルチニックの少年」の日本一般公開のため来日。(AH・NE・ME) |
| 10・14 | メ | キ | シ | コ | ラテンの名曲「ベサメ・ムーチョ」を作詞・作曲したコンスエロ・ベラスケス来日、故的場実氏の追悼記念チャリティーコンサートに特別出演。コンサートの売上金は在日中南米災害援助基金に寄付。 | | | | |

| | | |
|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | (AE) |
| 10・14 | ペ ル ー | 来日中のカストロ首相、中曽根首相と会談。(NK・AH・YU・JT) |
| 10・16 | ラテンアメリカ | 米国シンガー社と日本製鋼所の合弁会社「シンガー日鋼」、中南米向けに工業用ミシンを販売する新会社「シンガー日鋼ラテン・アメリカ」を資本金20万ドルで設立。(NS) |
| 10・16 | ブラジル | ブラジルコーヒー院(IBC)、行政改革のため、年内に東京事務所を閉鎖すると発表。(NE・NS) |
| 10・18 | トリニダードトバゴ | 東洋エンジニアリング(TEC)と三井物産、メタノールプラント、約230億円を受注。(NK) |
| 10・18 | チ リ | 三菱商事、日本鉱業、三菱金属の3社、エスコンディータ銅鉱区に対する10%の権益を取得。米英の鉱山会社2社と共同で現地開発会社を設立し、2200億円を投じて開発の計画と発表。(NK) |
| 10・19 | プエルトリコ | 同国の人気ポップスグループ「メヌード」の東京公演会場で、熱狂したファンがステージに殺到、2人けが。(MN) |
| 10・19 | アルゼンチン | テニスのジャパン・アンド・アジアオープンで、ガブリエラ・サバチーニ初優勝、賞金8000ドル(約172万円)獲得。(NK・AH・MN・JT) |
| 10・21 | ラテンアメリカ | (~11・7) 南米各地に住む被爆者の健康診断のため、厚生省、外務省と広島、長崎両県の医師や担当官から成る「在南米被爆者巡回医師団」、初めての巡回診察に出発。(YU・MN) |
| 10・22 | ホンジュラス | 外務省人事。駐ホンジュラス大使に色摩力夫氏を起用。(NE・YE・ME・AE・JT) |
| 10・22 | ボリビア | 外務省人事。駐ボリビア大使に伊藤武好氏を起用。(NE・YE・ME・AE・JT) |
| 10・24 | ブラジル | 日伯合弁のアマゾン・アルミニウム計画のうち、精錬工場の第1期工事が完成。サルネイ大統領出席の下に開所式。(YU・MN・AH・NE) |
| 10・24 | アルゼンチン | 英国がマルビナス諸島周辺海域での漁業規制を提案する意向をうけ、我国のイカ漁への打撃に、日本政府苦慮。(MN・NE・NS) |
| 10・25 | メキシコ | 通産省資源エネルギー庁、「海底熱水鉱床探査基本計画」に基づいてメキシコ沖の東太平洋を探査中の深海底鉱物資源探査船「第2白嶺丸」が、銅が豊富に含まれる鉱石のサンプル採取に成功した、と発表。(AH・NK・YU) |
| 10・26 | ボリビア | フォルクローレ・グループ「サビア・アンディーナ」と女性歌手ルマ・ユガール、来日公演。(AE・YE) |
| 10・27 | アルゼンチン | 日本武道館で開かれた第16回世界歌謡祭で、アルゼンチン代表のバレリア・リンチが歌った「恋のパズル」グランプリ。(NK・YU・JT) |

| | | |
|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10・29 | メ キ シ コ | 地震被害の救援活動に対する謝意を表明するためデラマドリ大統領の特使として来日中のベテタ石油公社総裁、東京町田市の玉川学園を訪れ、同学園が9月に贈った義援金に感謝の言葉。(NE・MN) |
| 10・30 | パ ナ マ | 三菱商事、米政府機関のパナマ運河委員会(PCC)から、船舶けん引用の電気機関車5両とその部品、600万ドル(約13億円)を受注。(NK) |
| 10・31 | ブ ラ ジ ル | 三星光機、フラッタ社と技術提携し、コンパクトカメラのノックダウン生産に協力。(NS) |
| 11・1 | ラテンアメリカ | 外務省人事。中南米局長に山口達男氏、中南米局参事官に寺田輝介氏、サンパウロ総領事に小野純男氏、ベレン総領事に大川忠治氏を任命。(AH・MN) |
| 11・1 | メ キ シ コ | 地震の現地調査をした防災都市計画研究所の村上處直所長、「1985メキシコ地震概報」を公表。(AH) |
| 11・5 | ブ ラ ジ ル | ヤマハ発動機の現地法人「ヤマハ・モトール・ダ・アマゾニア」、マナウス工業地区に進出。二輪車の生産開始。(NS) |
| 11・7 | メ キ シ コ | 地震で訪日できなかったデラマドリ大統領の特使として来日中のベテタ石油公社総裁、中曽根首相を訪問。(YU・NK・MN) |
| 11・8 | ラテンアメリカ | 日本ラテンアメリカ婦人協会主催のラテンアメリカ・フェスティバル、東京の高輪プリンスホテルで開催。(AH・MN) |
| 11・8 | メ キ シ コ | 三洋電機、ティファナ市に、ニッケルカドミウム蓄電池の生産工場建設。(NK) |
| 11・8 | ベネズエラ | 丸紅、国営石油公社「マラベン社」と同国産LPG(液化石油ガス)の日本への輸入契約締結。年間20万トン、5000万ドル(100億円強)の予定。(NE) |
| 11・8 | エクアドル | 神戸製鋼所、日商岩井、米国「フィッシュ社」と連合を組み、国営石油公社の石油精製プラント(日産1万バレル)、総額約60億円を受注。(NK・NS) |
| 11・8 | チ リ | 丸紅、日商岩井、川崎重工業、チリ南部に米国複合企業「シグナル社」が中心となって建設予定の年産70万トンのメタノールプラントの機器一式、1億5000万ドルを共同受注。(NK) |
| 11・10 | ホンジュラス | 日本工営、同国南部210平方キロの地域の灌漑用水網と灌漑発電用ダム設計など、コンサルタント業務を特命受注。(NK) |
| 11・12 | ウルグアイ | 外務省人事。駐ウルグアイ日本大使に2人目の女性大使、赤松良子労働省婦人局長を起用。(AH・YU・MN・NK・JT) |
| 11・14 | アルゼンチン | デラルア上院議員、来日が延期されたアルフォンシン大統領の特使として来日、中曽根首相に親書を手渡す。(MN・NK・AH) |
| 11・15 | メ キ シ コ | 日産自動車、メキシコの拠点であるメキシコ日産から米国日産自動車製造(NMMC)へ乗用車用エンジンを供給する方針。(NK・JT) |
| 11・15 | コロンビア | 中曽根首相、火山噴火被害についてベタンクール大統領に電報。日 |

| | | |
|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 本政府、国際協力事業団を通じ8人編成の救急医療チームを派遣。 (ME・AE・NE・YE) |
| 11・16 | コロンビア | 日本政府、同国の火山噴火被害について130万ドル(約2億7000万円)の緊急援助。(NK・MN・AH・JT) |
| 11・17 | コロンビア | 日本赤十字社、義援金5万ドルに救援物資を携えて、5、6人の医療班を派遣、同時に義援金の受け付けも開始。また青年海外協力隊OB4人も出発。(YU・AE・ME・NE・JT) 火山噴火被害に対しては、日本各地で救援キャンペーンが行なわれ、企業、市民団体等から相次いで援助が寄せられる。 |
| 11・18 | メキシコ | (～1・19) 埼玉県立近代美術館で「メキシコの美術展」開催。 (NK・ME・AE・YE) |
| 11・18 | ブラジル | (～12・25) 「ブラジル現代美術展」品川で開催。(ME) |
| 11・20 | ラテンアメリカ | 東京で行なわれたバレーボールの女子ワールドカップ大会で、キューバ2位、ペルー5位、ブラジル6位の成績。(MN・AH・NK・JT) |
| 11・27 | ブラジル | ジャパンパイプコンベヤー、「フォルサン社」とライセンス契約、パイプコンベヤーの製造技術を供与。(NS) |
| 11・28 | メキシコ | 矢崎総業、米国の現地法人で生産したワイヤーハーネス(組み電線)の部品をメキシコ工場に供給し、完成品に組み立てる北米、中米地域での一貫体制を確立。(NS) |
| 11・29 | ペルー | (～12・1) グスタボ・グティエレス神父を迎え、「解放の神学」をめぐる初の国際シンポジウム、東京で開催。(MN・AE) |
| 11・30 | ブラジル | ブラジル日本都道府県人会連合会の会長と副会長来日、サンパウロ市に県人会館建設のため、協力をよびかけ。(AE) |
| 12・1 | プエルトリコ | 日本企業誘致のため、コロン知事を団長とする通商使節団40人来日。日興証券、三菱銀行、住友銀行とそれぞれ交流促進協定に調印。 (NK・MN・AH・JT) |
| 12・4 | ブラジル | 住友金属工業グループの共英製鋼、堅川線材、住金の3社、共同でゲルダウグループのアソノルテ、アラゴアス、セアレンセの3製鉄所に技術援助。(NK) |
| 12・9 | チリ | 住友林業会長の山崎完さん、ベルナルド・オヒギンス勲章受章。 (AE) |
| 12・9 | ブラジル | 自転車世界一周中の青年、ジョゼ・ジェラルド・デソーザ・カストロさん、全長90cmの子供用4輪車で日本縦断2400kmの旅。 (AH) |
| 12・9 | アルゼンチン | ホルヘ・ドラゴーネ・タンゴトリオ来日公演。(AE) |
| 12・12 | アルゼンチン | (～13) 日本貿易振興会とアルゼンチン経済省貿易庁、「アルゼンチン・ワイン展」開催。(NS) |
| 12・14 | ブラジル | (～19) ギマランイス下院議長ら同国国会議員団一行22人、来日。 (MN・NK・AH・JT) |

| | | |
|-------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12・15 | プエルトリコ | 日産自動車、メキシコ日産から米国向けに乗用車輸出を開始する第1段階として、米国の自治領プエルトリコに対し、小型乗用車「サニー」300台を試験的に輸出。(NK) |
| 12・15 | ブラジル | 日伯共同のアルミ精錬事業「アマゾン・アルミニウム・プロジェクト」への日本側投資会社「日本アマゾンアルミニウム」、アルミナ生産計画からの撤退に関する態度決定を来年6月まで延期。(NK) |
| 12・16 | メキシコ | 日本政府、大地震災害に対する日本からの緊急融資、5000万ドル(119億3800万円)を供与する交換文書に調印。(NE・AH) |
| 12・17 | セントクリストファー・ネビス・トリニダッドトバゴ | 外務省人事。兼セントクリストファー・ネビス駐在トリニダッドトバゴ大使に西方正直氏を任命。(ME・AE) |
| 12・19 | メキシコ | 日本発条と「ラッシーニ・リーム社」が進める合弁事業に、自動車用ねじの大手トープラが参加、合弁会社設立。(NS) |
| 12・19 | コロンビア | 文部省、ネバデルルイス火山の噴火の現地調査のため、北海道大学の勝井義雄教授を中心とするグループ派遣。(NK・AH) 24日、政府も7人の災害援助調査団を派遣。(MN・AH・NK・JT) |
| 12・20 | メキシコ | 松下電器産業、メキシコの部品工場を増設し、カラーテレビのシャシー約20万台を米国GE社へ供給。(NS) |

(以上238項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

| 新聞名 | 朝刊 | 夕刊 |
|----------|----|----|
| 朝日 | AH | AE |
| 毎日 | MN | ME |
| 読売 | YU | YE |
| 日本経済 | NK | NE |
| 日経産業 | NS | |
| ジャパントイムズ | JT | |
| 日本工業 | NI | |
| 東京 | TK | |

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title | 〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1986年— |
| Author(s) | |
| Journal | イベロアメリカ研究, 9(2) |
| Issue Date | 1987-12-30 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9061 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1986年——

| 月 日 | 国 名 | 記 事 |
|------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1・7 | メ キ シ コ | 本田技研工業、全額出資の現地法人ホンダ・デ・メヒコ S A・デ・C Vで350cc未満のオートバイの製造、および4輪車用補修部品の生産に着手。(NK・NS) |
| 1・8 | メ キ シ コ | メキシコ日産、フォルクスワーゲン・デ・メヒコ社に対して1800cc乗用車のエンジンブロック用鋳物を今春から供給すると発表。(AH・MN・NK) |
| 1・9 | ブ ラ ジ ル | 日本合成ゴム、コベネ社とC、留分からのイソプレン抽出技術の輸出契約。コベネ社は1988年完成を目標に年産1万2000トンの新設備建設。(NS) |
| 1・10 | コ ロ ン ビ ア | 富士通と藤倉電線、メデジン市都市公社から通信網整備プロジェクト70億円を受注。(NK) |
| 1・10 | ブ ラ ジ ル | 日本と同国の大型経済協力プロジェクトのひとつカラジャス鉄鉱山開発のうち、主要積み出し港のマテイラ港(サンルイス)港湾設備が完成、積荷作業開始。(NS) |
| 1・14 | メ キ シ コ | 日本建築学会の耐震連絡委員会、1985年メキシコ地震災害調査速報会を開催。(NS) |
| 1・14 | グ ア テ マ ラ | 日本政府、セレン新大統領の就任式典に長谷川峻衆議院議員を特使として派遣。(ME) |
| 1・14 | ペ ル ー | ホチキスメーカーのエトナ、現地法人エトナ・ラティーノを設立、リマ市内の新工場でホチキスおよび針を生産、南米7カ国に販売の計画。(NK) |
| 1・15 | メキシコ・ブラジル | サントリー、両国で大衆向けの和風レストランチェーンを展開、63年までにブラジルに5店、メキシコに7店を開く計画。(NK) |
| 1・17 | メ キ シ コ | 経団連、日商、日経連、経済同友会の財界4団体、351社19団体から寄せられた地震復興義援金1億1281万円を日本赤十字社に寄託。(NK) |
| 1・17 | ブ ラ ジ ル | 川崎製鉄とブラジル国営鉱山会社リオドセ、カリフォルニア・スチール社(CS I)に対する出資比率をそれぞれ25%から川鉄とリオドセの折半で3分の2以上に高め、同社の経営権を取得。(NK) |
| 1・20 | パ ナ マ | (~24) 日本、米国、パナマの3国政府、第2パナマ運河建設のためのパナマ運河代替案調査委員会の第1回理事会開催。(YU) |
| 1・21 | キ ュ ー バ | 19日からキューバ訪問中の桜内前外相、カストロ首相と会談。 |

| | | |
|------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | (ME) |
| 1・21 | チリ | 汚泥脱水機メーカー石垣機工、米国インガーソールランド社からチリ国営銅精錬会社コデルコ向けに、大型フィルタープレス式脱水機3台、約3億円を受注。(NS) |
| 1・21 | コロンビア | 朝日新聞厚生文化事業団、全国の読者から寄せられた義援金5115万余円、在日コロンビア大使館に寄贈。(AH) |
| 1・23 | ラテンアメリカ | 外務省人事。外務省中南米局長に山口達男、ドミニカ大使に榎本助太郎、ウルグアイ大使に赤松良子を任命。(YE・ME・NE・AE) |
| 1・25 | メキシコ | メキシコ石油輸入、61年の原油引取量を60年より日量2万バレル増やし同18万バレルとする。(NS・JT) |
| 1・27 | ホンジュラス | 日本政府、アスコナ大統領の就任式典に奥田敬和元郵政相を特使として派遣。(NK・AH) |
| 1・30 | アルゼンチン | 21日にロンドンで開かれた日英外相定期協議で、フォークランド諸島周辺150カイリ(軍事警戒ライン)内での日本漁船の操業規制の受け入れを、日本が密かに合意していたことが明らかになる。(NK・MN・JT) |
| 1・31 | パナマ | 川崎汽船、ドンリコ社と大型運搬船ドリニコを長期用船契約、重量物運搬船の船隊を自社船から用船に切り替える方針。(NS) |
| 1・31 | コロンビア | 毎日新聞社会事業団、読者からの救援募金、1988万円余を在日コロンビア大使館に贈呈。(MN) |
| 2・7 | メキシコ | 同国政府、日本輸出入銀行、長期信用銀行、都市銀行各行に対し、石油コンビナート建設プロジェクトの資金として総額5億ドル(約950億円)の融資要請。(NK・JT) |
| 2・14 | ドミニカ | 第4回庭野平和賞に世界教会協議会前総幹事フィリップ・A・ポッター博士を選出、4月22日贈呈式。(NK・MN・AH) |
| 2・17 | アルゼンチン | (～4・30) モダン派タンゴのピアニスト、オスバルド・ベリンジェリ率いる6重奏団来日、全国57都市で60回の公演。(AE) |
| 2・20 | トリニダード・トバゴ | 外務省人事。同国大使に飯島光雄を任命。(YE・ME・NE・AE) |
| 2・25 | コロンビア | スペイン人、ファン・マルセの訳になる三島由紀夫の「金閣寺」(スペイン語題バビリオン・デ・オロ)ベストセラー。(NK) |
| 2・26 | 中米・カリブ | (～3・10) 日本政府はグアテマラ、ジャマイカ、トリニダード・トバゴ、ドミニカ共和国に27人から成る投資環境調査ミッション派遣。(NK・YU) |
| 3・1 | ブラジル | 外務省人事。駐クリチバ総領事に加藤静也サンパウロ領事を任命。(NK・MN・AH・YU) |
| 3・4 | ハイチ | 日本政府、ナムフィ国家評議会議長を長とする新政権承認を閣議で決定。(YE・AE・ME・NE・JT) |
| 3・4 | ブラジル | 外務省人事。ブラジル大使に小村康一チリ大使を任命。(NE・AE・ |

| | | |
|------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3・5 | アルゼンチン | YE・ME・JT) わが国のイカ釣り水産業者19社がフォークランド海域でのイカ釣り漁を目的として共同出資したK S J コーポレーション、英国ジェー・マー・アンド・サン社と同海域のイカ漁のための合併会社設立。 (NK) |
| 3・6 | チリ・エクアドル | 川崎汽船、大阪商船三井船舶、日本郵船の3社とチリ、エクアドルの海運会社3社、共同配船事務所グレート・アンデス・サービスを結成。(NS) |
| 3・11 | メキシコ | 大倉日本輸出入銀行総裁、地震と原油価格下落で苦境に立つメキシコにベーカー提案を初適用し、86年分60億ドルを新たに融資する見通しと記者会見。(YU・NK・MN・NS) |
| 3・11 | ブラジル | 最高裁、昭和34年に当時の日本海外協会連合会(現国際協力事業団)の募集でリオグランデドノルテ州プナウ地区に移住したものの入植に失敗、帰国した2家族が「無責任な斡旋」として同連合会に損害賠償を求めた訴訟の上告審で、棄却の判決。(AE・YE・NE) |
| 3・12 | ブラジル | 西濃運輸系の航空貨物取扱業、西濃コスモエクスプレスの現地法人ユニベル西濃貨物輸送、欧米や日本向けに輸出する切り花、熱帯魚の輸送請け負い。(NS) |
| 3・13 | メキシコ | メキシコ原油輸入の85-86年の取り扱い割り当て交渉で、昨年まで取り扱いを独占していた三菱商事、三井物産、伊藤忠商事3社に代わって丸紅、住商、日商岩井など6社が分け合うことに決着。 (NK) |
| 3・14 | アルゼンチン | 日魯漁業・宝幸水産、現地水産会社と共同で同国南部沿岸でセントトージャ・カニの試験操業。(NS) |
| 3・15 | ブラジル | 新日本製鉄の武田豊社長、カラジャスの鉄鉱石採掘地に建ったユタカ・タケダ病院の開院式に出席。(NS・MN) |
| 3・17 | ボリビア | 大野透太郎在ボリビア日本大使館員、24年間にわたり収集した太古の化石50万個を日本の小学校に寄贈したいと希望校を募る。 (AH) |
| 3・17 | ブラジル | リオデジャネイロで開かれた第4回日伯経済合同委員会に日本から経団連ミッション35人、ブラジルからフランコ工業連盟会長ら110人が参加。(NK・MN・AH) |
| 3・19 | ブラジル | サッカー日本リーグのフジタ工業関係者、サンパウロ1部リーグのプロ選手2人との契約を発表。(AH) |
| 3・20 | メキシコ | 日産自動車系の電装品メーカーのナイルス部品、メキシコの自動車部品メーカー、イトーサン社にシガレットライターに関する製造技術を供与。(NS) |
| 3・25 | バハマ | 外務省人事。兼バハマ大使に榎本助太郎ドミニカ兼ジャマイカ大使 |

| | | |
|------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| | | を起用。(YE) |
| 3・27 | ジャマイカ | 建設コンサルティングの日本工営、同国中南部のリオコブレ農業開発の事業化調査(初年度2300万円)をJICAを通じて受注。 (NS) |
| 3・29 | メキシコ | 東京・町田の市立鶴川第4小学校の生徒に地震の見舞金の返礼として日墨学院の子供たちから多数の手紙や絵画が届く。(YU) |
| 3・30 | メキシコ | WBCジュニアバンタム級タイトルマッチでチャンピオン渡辺二郎、同級1位ヒルベルト・ローマンに判定負け。(AH・MN・NK・YU) |
| 3・31 | ブラジル | 工業技術院電子技術総合研究所、超電導材料ニオブ3スズの資源活用で同国の工業技術財団・ニオブ研究所と共同研究。(NK) |
| 3・31 | ブラジル | 在留邦人組織のマナウス日本文化振興会、日本からの進出企業の邦人を主に診察する邦人診療所(現地日系2世の内科医と看護婦1人)をマナウス市に開設。(AH) |
| 4・1 | ブラジル・アルゼンチン | (~30)国際交流基金の主権により歌舞伎の又五郎、田之助、八十助一座総勢45人、同地初の歌舞伎公演。(NK) |
| 4・2 | ベネズエラ | ダイハツ工業、米AMCと協力しベネズエラのAMC工場で4輪駆動車をKD(現地組み立て)生産。(NE) |
| 4・3 | ラテンアメリカ | 写真家新正卓の「遙かなる祖国——南米移民1世の肖像」、第5回土門拳賞受賞。(ME) |
| 4・7 | ラテンアメリカ | 日本通運、米国の航空貨物取扱業者と提携し、米国経由で中南米67都市に貨物を運ぶ国際複合一貫輸送サービス(SATサービス)開始。(NS) |
| 4・7 | メキシコ | マツダ、メキシコ・フォード社に61年末からマツダの小型車主要部品を年間10万台分供給すると発表。(MN) |
| 4・7 | パナマ | WBAフライ級タイトルマッチで、チャンピオンのイラリオ・サバタ、挑戦者同級世界7位穂積秀一を判定で下す。(AH・NK・MN・JT) |
| 4・8 | カリブ海 | 外務省人事。兼アンティグア・バーブーダ、グレナダ、セントビンセント、セントクリストファー・ネビス、ドミニカ駐在大使に飯島光雄トリニダード・トバゴ大使を任命。(AE・ME) |
| 4・11 | コスタリカ | 日本政府、オスカル・アリアス新大統領の就任式(5月8日開催)に、特使として石原慎太郎衆議院議員の派遣を決定。(AE・ME) |
| 4・17 | ブラジル | 兵庫県尼崎市の池田徳誠農業委員会会長と寺本貴至同市議、パラナ州在住の同県出身日系移住者の病氣治療に尽力したため、ブラジル政府から勲章。(ME) |
| 4・21 | メキシコ | 来日中のシルバ・エルソグ蔵相、中曽根首相、安倍外相、竹下蔵相らと会談し、経済支援を要請。(NK・YU・MN・AH・JT) |
| 4・21 | メキシコ | 絶滅の恐れがあるためワシントン条約で国際取引が禁じられている |

| | | |
|------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | メキシコ特産の野生サボテン「アガベ牡丹」など20種が不正輸入、販売されていると、野生動植物国際取引調査記録特別委員会（トラフィック・ジャパン）が発表。（YU・AH・NK） |
| 4・21 | ガイアナ | 日商岩井、ガイアナのボーキサイト産業開発公社（BIDCO）との間で、日本製乗用車を輸出し見返りに同国産ボーキサイトを輸入するCP（カウンターパーチェス）契約締結。（NS） |
| 4・23 | ベネズエラ | トヨタ自動車、同国で乗用車カローラをKD生産、年間1万台規模で5月から販売。（NK） |
| 4・25 | バルバドス | 日本国内で同島の特産品である最高級綿「海島綿」製品の類似品が出回っているため、協同組合西印度諸島海島綿協会はまぎらわしい表示をやめるよう警告書を発送。（NK・NS） |
| 4・28 | チリ | 三菱重工業・三菱商事、チリ国営銅公社から年産60万トンの硫酸プラント約7000万ドル（約140億円）を受注。（NK） |
| 4・28 | ブラジル | 小西六写真工業、ブラジル経済開発銀行などと合併で1973年に設立したブラジル・サクラフィルムの持ち株（全株式の約35%）を売却。（NK） |
| 4・30 | メキシコ | メキシコ市在住のバイオリニスト黒沼ユリ子、同市小児病院にメキシコ地震で救出された子供のためにと600万ペソ（約200万円）を寄付。同氏の地震寄付はこれで6回目、計約1000万円。（ME） |
| 5・1 | ドミニカ共和国 | 日揮、日商岩井、丸紅、共同でプエルトピエホのLPG（液化石油ガス）ターミナル建設業務約45億円を受注。（NK） |
| 5・2 | 南米 | （～31）アマゾン川や南米中央の世界最大の湿地帯に生息する魚類を生け捕りにするため、宮城県松島町の松島水族館と東京・池袋のサンシャイン国際水族館が共同で学術調査。（MN） |
| 5・6 | ウルグアイ | （～9）東京・銀座ラポーラで同国の近代絵画の作品や民芸品の展示即売およびタンゴ奏者、池田光夫とロス・アミゴスの生演奏。（MN） |
| 5・7 | メキシコ | 自動車部品製造用各種機械メーカーの第一電通、米フォード社のメキシコ子会社、フォード・モーター社から自動ネジ締め機ナットランナー3億円を受注。（NS） |
| 5・7 | ブラジル | 青木建設、ビトリア港の西北にある自然保護指定地域に分譲別荘地造成。（NS） |
| 5・14 | アルゼンチン | ホルヘ・ルイス・ボルヘス、4月26日パラグアイのアスンシオンで日系2世のマリア・コダマと結婚したことが新聞紙上で判明。（AE・NE・YE） |
| 5・14 | アルゼンチン | （～15）アコーディオンの名手ラウル・バルボーサ、ギタリストで歌手のオクタビオ・オスーナと来日、アルパ奏者ルシア塩満とジョイント・コンサート。（AE） |

| | | |
|------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5・15 | キューバ | (～23) 日本・キューバ国際野球大会で日本5勝2敗の成績。 (MN) |
| 5・19 | ケイマン | 丸紅の国内金融子会社、丸紅クレジット、タックス・ヘイブンの同国に丸紅クレジット(ケイマン)を設立、本格的な外債投資を開始。 (NS) |
| 5・19 | セントルシア・セントビンセント・グレナディーン | (～25) 外務省はセントルシアのコンプトン首相とセントビンセント・グレナディーンのミッチェル首相を同時招待。(NK・AE) |
| 5・24 | チリ | (～7・6) 同国のシュールリアリズム作家マッタ・ドロージン展、東京で開催。(NE) |
| 5・24 | コロンビア | (～31) 3年間日本に滞在している彫刻家ホセ・バネガス、日本の文字や古社寺のイメージを木彫りにした作品展、東京で開催。 (AE) |
| 5・27 | パラグアイ | (～30) 日本人移住50周年を記念してパラグアイ展と民族音楽の夕べ、銀座で開催。(NE・ME・AE) |
| 5・30 | キューバ | 沖縄での初の国際試合として6月末に開催予定の男子バレーボール試合「キューバ対全日本」が外務省の要請で中止と決まる。(MN・YU・NK・AH) 6月4日、外務省はキューバチームのビザを発行する方針と発表。(NK・MN・JT・YU) |
| 5・30 | チリ | 豊橋市内の木材会社がチリ産ワインを輸入するために設立した日本ワイン販売、27銘柄5万2000本を初輸入。(NS) |
| 5・30 | チリ | 外務省人事。チリ大使に野見山修一アラブ首長国連邦大使を任命。 (ME・YE) |
| 5・31 | キューバ | 同国出身の世界的ピアニスト、ホルヘ・ルイス・プラッツ、初来日。リサイタルで浦壁信二(高校2年)作曲の「4つのバガテル(小曲集)」を演奏。(MN) |
| 6・2 | パナマ | (～4) 日本、米国、パナマの3国、パナマ市で第2パナマ運河調査委員会の理事会を開き、本格的調査を開始。(NK・YU) |
| 6・10 | メキシコ | 朝田静夫日本航空相談役、アギラ・アステカ勲章受賞。(NK) |
| 6・10 | ブラジル | 日本サッカーリーグ1部のフジタ工業、サンパウロ市出身の若手外人2選手の入団を発表。(AH・MN・NK) |
| 6・10 | ブラジル | (～7・7) シンガー・ソングライターのトッキーニョ来日、アルト・サクソ奏者の渡辺貞夫と競演。(YE・AE) |
| 6・14 | ベネズエラ | トヨタ自動車、同国で現地生産を始めた小型乗用車カロラの一部、年間1000台程度を中南米各国のトヨタ販売網に供給、輸出。 (NK) |
| 6・16 | パナマ | 池浦喜三郎日本興業銀行会長と青木宏青木建設社長、同国名誉総領事に就任し、披露パーティー。(ME・NK) |

| | | |
|------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6・16 | ペ ル ー | (～30) ペルー大使館、プーノ県の水害被災者救済のため、銀座でペルー絵画展開催。(NK・ME・AH・YE) |
| 6・17 | メ キ シ コ | (～18) 中堅テノール歌手、フランシスコ・アライサ初来日、リサイタル。(YE) |
| 6・17 | パ ナ マ | 電源開発、国際協力事業団を通じて、コロンの石炭火力発電所建設の企業化調査約1億円を受注。(NS) |
| 6・17 | ジ ャ マ イ カ | 日本電信電話(NTT)が大手商社10社などと1985年秋に設立したエヌ・ティ・ティ・インターナショナル(NTTI)、同国の国家プロジェクト・ジャマイカ・テレポートのネットワーク設計、保守を含む総合コンサルティング業務を受注。(NK) |
| 6・19 | パ ナ マ | 日本、パナマ、米国で構成するパナマ運河代替案調査委員会、1987年早々から第2パナマ運河の企業化調査に着手することを決め、参加企業の公募開始。(NK・YU・NS・JT) |
| 6・19 | ブ ラ ジ ル | (～28) シンガー・ソングライターのパウリーニョ・ダ・ビオラ初来日、コンサート。(YE・AE) |
| 6・21 | メ キ シ コ | 住友金属工業、大径管製造の合弁会社PMT(プロダクトーラ・メヒカーナ・デ・ツベリア)にメキシコ石油公社から約4500トンの鋼管の発注があったため、鹿島製鉄所から13人の技術者派遣。(NS) |
| 6・21 | ブ ラ ジ ル | 日伯友好病院(総工費約8億2800万円)の起工式。移民80周年の1988年完成をめぐりにサンパウロ市に建設。(NK・YU) |
| 6・23 | ブ ラ ジ ル | 東芝の現地法人、東芝・ド・ブラジル社、ミナスジェライス州電力公社(GEMIG)から柱上変圧器250万ドルを受注。(NK) |
| 6・24 | メ キ シ コ | 同国政府、対外銀行借入れをペソ建て株式に転換、日米欧の企業に肩代わりさせる新しい債務軽減策を導入、第1号として、日本の日産自動車が約5000万ドル相当のペソ資金を入手し、子会社のメキシコ日産の増資に充当。(NK・AH・JT) |
| 6・27 | キ ュ ー バ | (～29) NHK杯女子バレーボール大会で、3年連続3度目の優勝。(NK・AH・MN) |
| 7・ 1 | ジャマイカ・ハイチ | 日本政府、両国の集中豪雨被害に対し各10万ドルの緊急援助決定。(ME・AE) |
| 7・ 2 | メ キ シ コ | 松下電器産業の米国現地法人アメリカ松下電器の全額出資子会社、バハカリフォルニア松下電業、メキシコに米国向けカラーテレビの組み立て工場を新設、年間20万～25万台生産。(NS・AH・NK) |
| 7・ 2 | キ ュ ー バ | 国際親善男子バレーボール大会でキューバは日本アジア大会代表に3戦全勝。(AH・MN) |
| 7・ 2 | パ ラ グ ア イ | 同国民間テレビ局カナル9のディレクター兼アナウンサーのビクトル・チャベスが日本各地取材したドキュメント番組「日本—あ |

| | | |
|------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 7・7 | ドミニカ共和国 | るパラグアイ人の見たその現在」、渋谷で試写会。(ME) 日本工営、同国政府からコナ川流域の発電所建設の工事監理、約10億6000万円を受注。(NK) |
| 7・8 | チリ | 海洋水産資源開発センター、日本水産のトロール船越前丸(2800トン)を用船し、チリ沖合200マイルの公海上にマアジのすり身加工プラントを設置、実験開始。(NS) |
| 7・9 | メキシコ | 日産自動車系部品メーカー、厚木自動車部品のメキシコ合弁会社アツギ・メヒカーナ社、合弁相手を国営銀行ソメックスからボカール社に代替。(NK) |
| 7・9 | コロンビア | 宇部興産、同国から灰分10%を含むセレホン炭を輸入、脱灰加工して販売すると発表。(NK) |
| 7・9 | チリ | ニチメンが現地資本と折半で3年前に設立したプロアガール社の寒天工場、本格稼働、生産量月間30トン。(NS) |
| 7・10 | ニカラグア | 黒沼ユリ子(バイオリン)、堤剛(チェロ)、関晴子(ピアノ)がトリオで「ニカラグアへ救急車を」チャリティーコンサート。(AH・YU・ME) |
| 7・10 | ブラジル | サンパウロ大学歴史学部のR・M・ゴンサルベス副教授、外国人で初めて真宗大谷派の教師に任命され、京都東本願寺で認証式。(NK・JT) |
| 7・11 | パラグアイ | 電源開発、パラグアイ電力公社(ANDE)と送電線建設に関する技術協力契約を締結。(NS) |
| 7・13 | アルゼンチン | (~17)アルフォンシン大統領来日、天皇陛下、中曽根首相、安倍外相らと会見。両国関係の中長期発展を目指す賢人会議の設置で合意。(YU・MN・NK・AH・JT) |
| 7・16 | ブラジル | 品川燃料、国営鉱山会社パーレ・ド・リオドセグループ企業から、木炭を使った同国製CCOM(シーコム、木質系炭化物和石油の複合燃料)の製造・燃焼実験の委託を受ける。(NS) |
| 7・17 | メキシコ | 日本政府、かねてから同国が要求している日本輸入銀行からの総額10億ドルの緊急融資のうち、2大事業向けに7億5000万ドルを融資する方針。(MN・AH・NK) |
| 7・19 | ブラジル | 新日本製鉄、国営製鉄会社CSN社から、火災で自動制御のできなくなった高炉制御室の復旧工事を受注。(NS) |
| 7・19 | 南米 | (~8・31)アマゾン調査隊帰国報告展「大アマゾンの魚たち展」、池袋で開催。(NS) |
| 7・21 | アルゼンチン | (~27)在日女性版画家アドリアナ・ズワン、世界各国の首脳に自作の平和版画を贈る計画で資金集めの展示即売会、新宿で開催。(YU・AE・MN) |
| 7・23 | キューバ | 共産圏貿易を中心にした中堅商社ミツクラ、同国産ラム酒ハバナク |

| | | |
|------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7・23 | メキシコ | ラブを拡販するため、同酒の専門バブの多店舗化を展開。(NS) |
| 7・23 | ブラジル | 日本銀行、国際通貨基金(IMF)とメキシコ政府の追加融資交渉決着を受けて、同国に約1億ドルのつなぎ融資を決定。(YU・NK) |
| 7・23 | ブラジル | ヤンマーディーゼルサッカー部、同国出身2選手の加入を発表。(AH・MN) |
| 7・24 | メキシコ | 世界ボクシング評議会(WBC)ジュニア・ウェルター級タイトルマッチで挑戦者の同級6位浜田剛史、チャンピオンのレネ・アルレンドをKO。(NK・MN・JT・AH) |
| 7・24 | パナマ | 同国政府、国際協力事業団の有田圭輔総裁に、同国の最高位勲章バスコ・ヌニェス・デ・バルボア大十字章を授与。(NK) |
| 7・24 | アルゼンチン | (~31)国立ラプラタ大学所蔵の骨格標本など約300点を展示した「絶滅の大怪獣展」、東京で開催。(YU・NE) |
| 7・25 | ブラジル | 青木建設、サンパウロ市に南米最大のショッピングセンター(敷地約11万3000平方メートル、売り場面積2万1000平方メートル)を建設、同国流通大手のパエス・メンドンサ社に期間10年で賃貸の契約。(NK) |
| 7・26 | メキシコ | 共立と三井物産の共同出資会社メキシコ共立がメキシコ市郊外に建設中の、手動散布機と手動噴霧機の工場完成。(NS) |
| 7・26 | メキシコ | (~9・15)埼玉県立博物館で「オルメカ文明展」開催。(NE・AH) |
| 7・26 | コロンビア | (~9・2)「コロンビアの黄金展」船橋で開催。(NE・ME) |
| 7・29 | ブラジル | (~8・9)富山県で開かれる国際的演劇祭「利賀フェスティバル'86」に世界的ソロダンサー、イズマエル・イポーの「フェニックス」が参加。(YE・NK・ME) |
| 7・31 | コロンビア | ヤマハ発動機、技術提携先のインコルモトス社の増資分3000万ペソ(約2400万円)を引き受け、出資比率約19%の資本提携。(NS・NK) |
| 7・31 | ベネズエラ | ロンシール工業の関連会社ニチロンと同国のインドゥストリア・メタリカ・ハボネスの西村紀光社長との共同出資で、ニチロン・デ・ベネズエラ設立、カラカス近郊に10ヘクタールの農場を建設し、りんご栽培。(NS) |
| 8・1 | コロンビア・ ドミニカ共和国 | 日本政府、7日举行的コロンビア大統領就任式典に住業作代議士、18日のドミニカ共和国大統領就任式典に稲葉修代議士をそれぞれ特使とすることを閣議決定。(NE・MN) |
| 8・1 | ブラジル | 湯浅電池、ルーカス・バルカニア社の発行済み株式の40%(約2億7000万円)を取得、社名をルーカス・ユアサ・ド・ブラジルに変更し、62年度中に資本比率を50%ずつにすると発表。(NK・NS・JT) |

| | | |
|------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8・2 | ブラジル | (～11) ボサノバの生みの親、アントニオ・カルロス・ジョビン初来日、コンサート。(AE・ME・YE・NE) |
| 8・4 | メキシコ | オーナンバ、住友電気工業と共同でティファナ市にワイヤーハーネスの加工工場建設。(NS) |
| 8・5 | アルゼンチン | 明星食品と日揮、ラベルコール社に即席めん用プラントを輸出し、生産技術を指導。工場の設計、試運転から生産技術までを一括して、受注総額10億円。(NK) |
| 8・11 | ラテンアメリカ | (～12) 中南米諸国駐在の大使会議、中南米20カ国の日本大使、松永駐米大使および外務省から山口中南米局長が出席し、サンパウロの日本総領事館で開催。(NE・MN・YU) |
| 8・15 | メキシコ | クラリオン、現地企業サンチェス・グループと合併でカーオーディオの部品生産会社デイベサ(資本金5000万ペソ)設立。(NS) |
| 8・15 | メキシコ | 日米欧の主要国通貨当局と民間銀行団、債務危機の同国に16億ドルのつなぎ融資合意。19日、民間銀行団はその一環として5億ドル供与を発表。22日、邦銀10行は7500万ドル負担の見通し。(NE・ME・YE・AE) |
| 8・15 | パナマ | 外務省人事。駐パナマ大使に沢井昭之国立国会図書館専門調査員を任命。(NE・AE・ME・YE・JT) |
| 8・15 | コロンビア | 豊田通商によって日本へ初輸入されたコロンビア産のバナナ、関東地区での陸揚げ港が決まらず、在日コロンビア大使館は「市場秩序を守る既存業者の圧力か」と記者会見。(NK) |
| 8・15 | ブラジル | 日本アマゾンアルミニウム、日伯共同のアルミナ事業アルノルテ・プロジェクトからの日本側の撤退を検討する作業部会設置。(NK) |
| 8・20 | ブラジル | (～9・10) ブラジルポップスのスター、ジルベルト・ジル初来日、コンサート。(ME・YE・NE) |
| 8・23 | コロンビア | (～9・3) ポテロ展渋谷で開催。(NE) |
| 8・24 | ブラジル | (～29) 日本との経済協力拡大のためブラジル政府使節団(団長、ヘンリ・ラインシュストル企画庁次官)一行8人が訪日、大蔵、外務など各省庁や経済界と一連の話し合い。(NE・ME・YE) |
| 8・25 | ブラジル | 日本鋼管、三井物産、アソフン社に各4億円ずつ計8億円の資本参加(出資比率、両社合計で49%)、海外に合金鉄の生産拠点。(NK) |
| 8・26 | コロンビア | 日本輸出入銀行と民間銀行15行、コロンビア石油公社に対し、133億円を限度に協調融資する契約に正式調印。(NK) |
| 8・27 | ブラジル | 作曲家服部公一、同国最大の邦字紙サンパウロ新聞社からオブリガード賞受賞。(NK) |
| 9・4 | ブラジル | (～8) 日本・ブラジル親善サッカーで日本代表、ブラジル代表のサンパウロ州選抜に0-3で完敗。(AH・MN・NK) |

| | | |
|------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9・5 | ベネズエラ | 川崎製鉄、神戸製鋼所、サンイシドロ鉱山から鉄鉱石サンプル各5万5000トンを購入。(NS) |
| 9・6 | アルゼンチン | (～10・5) 戦前からミラノを中心に活躍した同国生まれの現代美術の先駆者、ルーチョ・フォンタナの回顧展、池袋で開催。(AE) |
| 9・8 | プエルトリコ | ハナエ・モリ・インターナショナル、リオグランデ市に設立する編み物工場の合弁会社を含む日米中3国間プロジェクトで、カシミア製品の生産販売。(MN) |
| 9・8 | ブラジル | 川崎製鉄、三菱商事、リオドセ社、MAP社が共同で設立したエレクトロバー社(資本金1億円)のフェロシリコン工場、本格稼働。(NK) |
| 9・9 | メキシコ | 自動車部品メーカーの大嶋電機製作所、乗用車用ミラーを生産する合弁会社、メキシコ東京電機設立。(NK・NS) |
| 9・10 | メキシコ | 日商岩井、農産物専門商社のエム・ヴィ・エム商事、大塚と共同でノガレス地区の農場に日本産のカボチャの種を供給し栽培指導する開発輸入に着手。第1回分として87年5月までに1万トン、約11億円を輸入予定。(NS) |
| 9・11 | ブラジル | 絶滅の恐れがあるためワシントン条約で国際取引が禁止されながら、日本に不正輸入されていたサル的一种キンクロライオンタマリン12匹、3年ぶりに原産地に返還。(AH・NK・MN・YE) |
| 9・14 | ウルグアイ・ ブラジル | 中曽根首相、15日からウルグアイで始まるガットの閣僚会議を前に、新ラウンド反対派のブラジルのサルネイ大統領に親書を送り、協力を要請。(MN・AH) |
| 9・16 | バハマ連邦共和国 | 同国副首相兼外相兼観光相クレメント・T・メイナード、観光客誘致のため来日。(ME) |
| 9・16 | アルゼンチン | (～11・6) チャランゴの巨匠、ハイメ・トーレス初来日、34都市で35回のコンサートツアー。(AE・YE) |
| 9・16 | アルゼンチン | ガット閣僚会議(於ウルグアイ)出席中の倉成外相、カブート外相と会談、年内に日本政府の経済ミッションを同国に派遣すると表明。(NK・AE・MN) |
| 9・16 | ブラジル | 三井物産、同国の大手鉄鉱石採掘会社MBR社の株式14%強(117億円)を取得、筆頭株主のCAEMI(カエミ)社に次ぐ第2の株主になる。(AH) |
| 9・18 | メキシコ | メキシコ議会訪日議員団来日、日本メキシコ友好議員連盟との間で友好促進覚書。(NK・AH) |
| 9・18 | ブラジル | 東洋電化工業、コンパニア・ブラジレイラ・カーブレット・デカルシオ(略称CBCO)が今夏から低コストで生産を始めた金属シリコンを輸入、初年度4300トン弱のテスト販売。(NS) |
| 9・19 | ブラジル | 東京銀行の現地法人ブラジル東京銀行、ポルトアレグレ市に支店開 |

| | | |
|------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 設。(NK) |
| 9・22 | メキシコ | (～25) ペトリチョリ蔵相来日。同国が計画する3大プロジェクトへの総額10億ドルの輸銀融資要請。日本側は受け入れの方針。 (NK・MN・AH) |
| 9・22 | メキシコ・ プエルトリコ | 中曽根首相、自民党研修会で「米国には黒人、プエルトリコ人、メキシコ人がいるから知的水準が低い」と発言。23日、米国内で黒人やメキシコ系議員を中心に強い反発。25日、日本の野党各党も一斉批判。27日、首相、陳謝のメッセージを米国民、議会、政府に向けて発表。駐米松永大使を通じて説得工作进行を指示。30日、ヒスパニック議員連盟、陳謝受け入れ。(AE・MN・YU・NK) |
| 9・24 | チリ | (～25) 日本とチリの経済関係拡大を討議する第8回日本・チリ経済合同委員会会議、サンチアゴで開催、日本側代表団は田辺文一郎団長ら約80人。(YU・NE) |
| 9・25 | メキシコ | 田村通産相、来日中のペトリチョリ蔵相と会談、82年以来停止されていた同国向けの長期輸出保険を再び引き受ける意向を表明。 (MN・YU・NH・AH) |
| 9・25 | メキシコ | (～26) 国際平和年記念の86年東京国際円卓会議にエチェベリア元大統領参加。(AH) |
| 9・25 | アルゼンチン | 日本貿易振興会(JETRO)の赤沢璋一理事長、同国最高位の5月大十字勲章を受賞。(NS・YU) |
| 9・30 | キュラソー | 東京銀行の現地法人キュラソー東京銀行、ユーロ市場で日系企業として初の分割払い込み方式の債券発行。(NK) |
| 10・1 | パラグアイ | 同国への日本人移住50周年記念式典に、常陸宮ご夫妻を迎え、移住者ら約3000人が出席。(ME・YE・JT) |
| 10・3 | ラテンアメリカ | 米国有力ヒスパニック組織の1つアメリカンGIフォーラム、先の中曽根首相の差別発言に抗議して日本製品のボイコット運動開始。 (AH・MN) |
| 10・5 | アルゼンチン | 来日中のオマール・バレンテ・タンゴ楽団と歌手マリア・ガライ、志賀清とキンテート・モデルノスおよび歌手前田はるみと両国親善の合同演奏会。(AE) |
| 10・7 | ラテンアメリカ | ヒスパニックのカリフォルニア州議会議員が中曽根首相の差別発言に関して、2日付で天皇陛下への直訴状と中曽根首相への手紙を送っていたことが明らかになる。(ME) |
| 10・7 | ブラジル | 在サンパウロ日本総領事館員、バーで泥酔し醜態をさらす。(ME・AH) |
| 10・8 | メキシコ | 田淵電機、米国田淵電機の生産子会社メキシコ田淵電機をティファナ市に設立、小型トランス200万台の生産能力を持つ新工場、来年6月から稼働。(NS) |

| | | |
|-------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10・8 | メキシコ | 日産自動車、メキシコ日産工場で来春からバネット・ラルゴを生産、2年後に年間1万3000台の計画。(NS) |
| 10・10 | 南米 | 広島、長崎で被爆し、その後南米へ移住した原爆被爆者の検診のため、約2週間の予定で7人の巡回医師団をブラジル、パラグアイなど南米5カ国に派遣。(MN) |
| 10・10 | ブラジル | 日伯合同プロジェクト・アマゾン・アルミニウム計画の一環としてパラ州バルカレーナでアルミ生産を開始したアルプラス精錬所、1万6500トン日本向けに初の船積み。11月13日横浜港入港。(NK・NS) |
| 10・11 | エルサルバドル | 日本政府、地震被害をうけた同国に、国際緊急援助隊として国際救急医療チーム(医師1人を含む3人)を派遣。(YE・AE・NE・ME・JT) |
| 10・12 | エルサルバドル | 日本赤十字社、同国の地震被害に対して救援金500万円を贈呈。(MN・AH)。14日、日本政府も25万ドルの緊急援助。(YU・NK・JT) |
| 10・14 | ベネズエラ | 日本電気、同国通信公社から、主要都市マラカイボ市、プエルトラクルス市周辺に導入するデジタル電子交換機97局分、約100億円を受注。(NS・NK) |
| 10・15 | バハマ | 安田火災海上保険、出資金2000万ドルで投資子会社、ザ・ヤスタ・ファイア・バハマ設立。(NK) |
| 10・15 | ベネズエラ | 神戸製鋼所、ガイアナ開発公社傘下のミノルカ社所有の製鉄プラントを改造、還元鉄塊を年間72万トン生産する契約に合意。(NE) |
| 10・17 | エクアドル | トヨタ自動車、現地資本のMARESA社に技術を供与し、月産100台のトラックをライセンス生産。(NK) |
| 10・18 | エルサルバドル | 「難民を助ける会」(相馬雪香会長)、約300万円相当の医薬品を同国に発送。28日、厚生省も同国赤十字に救急医薬品約450万円を送る。(AH・YU) |
| 10・20 | メキシコ | (～21)第7回国際シンポジウム「日本の進路を問う―新地球時代の課題」に、エチェベリア元大統領、パネリストとして参加。(MN) |
| 10・20 | メキシコ | (～11・5)ルフィーノ・タマヨ版画展、銀座で開催。(NE・ME) |
| 10・20 | メキシコ | 洋画家北川民次、同国との友好関係に貢献した外国人に贈られる最高の勲章アギラ・アステカ勲章を受章。(NK・JT) |
| 10・20 | ブラジル | 日本特殊陶業の全額出資子会社、ブラジル特殊陶業、IC用セラミックス基盤の生産ラインを設置、欧米市場向けの輸出拠点に育成し、年間約2億円の売上げを見込む。(NS) |
| 10・23 | ベネズエラ | 丸紅、9月末で切れた国営公社マラベン社とのLPG輸入契約を更新、10月からの1年間で16～20万トン輸入の見通し。(NS) |

| | | |
|-------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10・24 | メキシコ | 同国政府と日米欧13の債権銀行団諮問委員会、東京で邦銀28行に日本負担分の10億ドル融資への参加を要請。(MN・AE)。28日、ソレアス大蔵次官も丸の内の銀行会館で邦銀28行の協力要請。(NK) |
| 10・29 | ブラジル | サンパウロ市の衛星都市、フェーラス・デ・ヴァスコンセーロ市の日系2世のマコト・イグチ市長、日本の教育事情視察に来日。(ME・AE) |
| 10・30 | アルゼンチン | 英政府のフォークランド諸島周辺における漁業保存管理水域設定について、水産庁は「アルゼンチンが宣言した200カイリ水域との境界を明確にするため」との見方を表明。(NE) |
| 10・31 | パナマ | 大同生命保険、資本金2000万米ドル(約31億円)全額出資の現地法人ダイドウ・ライフ・パナマ設立。(NK・JT) |
| 10・31 | ブラジル | 女流ピアニスト、クララ・スベルナー初来日、チェロの平井丈一郎とリサイタル。(AE) |
| 11・3 | アルゼンチン | (~17)20才から36才の青年指導者30人、日本研修計画の一環として来日。(AH・NK・MN・JT) |
| 11・5 | ペルー | 日本のアンデス学研究者、増田義郎、寺田和夫両教授ら7人に同国政府から文化功労大勲章、文化功労勲章が授与される。(ME) |
| 11・6 | ブラジル | 日本長期信用銀行、同国政府と民間企業としては初めての産業・技術協力協定に調印。(NK) |
| 11・10 | メキシコ | 東芝、米国向けカラーテレビのシャシー(電子回路基板)を生産する新会社、東芝家電製造メキシコを資本金7500万ペソ(約1500万円)で設立、62年10月操業開始、年間60万台の生産予定。(MN・AH・NS・NK) |
| 11・10 | チリ | 東京銀行、中南米債務問題を軽減するため、同国電話公社の依頼を受け、同社向けローンのアセットスワップ(債権交換)を邦銀として初めて仲介。(NE) |
| 11・11 | ブラジル・メキシコ | (~27)警察庁、ブラジル、メキシコの他10カ国の中央捜査機関の課長クラス14人を招き、国際捜査セミナー開催。(ME) |
| 11・12 | ブラジル | 三和銀行、サンパウロ市に駐在員事務所開設。(NK) |
| 11・12 | メキシコ | 井上実東京銀行頭取、宮崎勇大和証券経済研究所理事長、植田三男日商岩井会長、同国政府からアギラ・アステカ勲章を授与。(YU・MN・NS) |
| 11・14 | メキシコ | 通産省、資源エネルギー庁、アカプルコ南西沖合約500キロで、高品位の銅、銀などを含む海底熱水鉱床を確認したと発表。(AH・MN・YU・NS) |
| 11・14 | ブラジル | (~23)ブラジル映画祭、池袋と三軒茶屋で開催。(YE・ME・AE) 12月25日から1カ月、池袋と渋谷で再上映会。(AE・YE・NE) |

| | | |
|-------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11・17 | メキシコ | 三菱商事、米国ペプシコと折半出資で日本タコ・ベルを設立、日本国内にメキシコ料理のレストランチェーンを展開。(NK) |
| 11・18 | メキシコ | メキシコ市内に日本・メキシコ合弁による高層ホテルを建設中の日墨ホテル投資、同国の対外債務の証券化を通して900万ドルの設備資金調達。(NE) |
| 11・18 | コロンビア | 京都大学霊長類研究所の第7次南米大陸サル類調査隊、中央アンデス山脈東側ラベンタ地域で1400万年前(中新世中期)のサルの下あごを発見。その結果、ヨザルが1400万年を経て変わらなかった高等動物では初の生きた化石であることが判明。(MN) |
| 11・19 | メキシコ | 同国政府、85年9月の地震救援で活動した民間8団体に、ガルベス駐日大使を通して感謝の盾。(MN・YU) |
| 11・19 | コロンビア | 富士通、メデジン市の都市公社とコロンビア通信公社から、デジタル電子交換機77局分27万8000回線、約100億円を受注。 (NK・NS) |
| 11・19 | パラグアイ | 国際航業、イタプア県中部地域の主要穀物増産計画のための予備調査として、リモートセンシング(遠隔探査)手法を使った適地調査を2000万円で受注。(NS) |
| 11・20 | メキシコ | 石原俊日産自動車会長、同国政府からアギラ・アステカ勲章を受章。 (NS・ME・JT) 21日、バイオリニスト黒沼ユリ子、画家利根山光人、映画監督吉田喜重、埼玉県立近代美術館長本間正義の4氏も同勲章受章。 (ME) |
| 11・24 | メキシコ | 日本電気と三井物産、パナメックスが計画中の衛星通信システムの地球局の設置、200万ドル(約3億3000万円)を受注。62年6月末完成、8月運転開始。(NE) |
| 11・27 | ベネズエラ | 日立プラント建設、グリ水力発電所第2期工事完工記念のシンボルタワーとして受注、建設した世界最大級の風車、太陽の塔が同敷地内に完成。(NS) |
| 11・28 | エルサルバドル | 毎日新聞社会事業団、同国の大地震見舞いとして読者から寄せられた救援金242万1951円、ペラルタ駐日大使に贈る。(ME) |
| 11・28 | ベネズエラ | 田村電機製作所、CANTV電話会社とカード式公衆電話機1100台、壁掛け式公衆電話機1980台、卓上式公衆電話機120台、総額4億円の輸出契約。(NS) |
| 11・30 | メキシコ | (~12・4) デラマドリ大統領夫妻、国賓として訪日。12月1日天皇陛下に会見、中曽根首相らと会談、4日、広島市訪問。(AE・ME・NE・YE・JT) |
| 12・1 | エルサルバドル | 10月の大地震救援のため朝日新聞社と朝日新聞厚生文化事業団がよびかけた募金203万円余、ペラルタ駐日大使を通じて贈呈。 |

| | | |
|-------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | (AH) |
| 12・1 | ベネズエラ | 川崎汽船、カラカス駐在事務所を一時閉鎖。(NS) |
| 12・2 | メキシコ | 日本と同国の民間経済人による第16回日墨経済協議会、日本側から68人、メキシコ側から70人が出席して経団連会館で開かれる。 (MN・NK) |
| 12・2 | メキシコ | 倉成外相とセプルベダ外相、技術協力協定に調印。(NK・YU・JT) |
| 12・2 | アルゼンチン | 塩釜市の佐久間商店、横善商店、七ヶ浜漁業、八興漁業の4社が設立したキョースイと開洋漁業の2社、ピオネーラ社の株式の49%を取得し、同国200カイリ領海内での操業を開始。(NS) |
| 12・3 | ブラジル | 朝日航洋、国営航空機メーカー・エンブラエル社のコンピューター機、バンデイランテEMB110(1機200万ドル)2機購入。 (NS) |
| 12・4 | ブラジル | 村田製作所、アマゾナス州マナウス自由区に全額出資の現地法人ムラタ・アマゾニアを設立、民生用電子部品を生産。(NS) |
| 12・7 | ブラジル | 第7回相撲国際選手権試合で日系3世池森剛優勝。(AH・JT・MN) |
| 12・8 | アルゼンチン | (~14) バンドネオン奏者ワルテル・リオス率いるワルテル・リオス・タンゴ・トリオ初来日、公演。(AE・YE) |
| 12・8 | アルゼンチン | ノーベル平和賞受賞者アドルフォ・ペレス・エスキベルらを迎えて講演会「人権と自然を語る」、東京で開催。(AH・MN) |
| 12・9 | ブラジル | 日伯共同のアルミナショナルプロジェクト・アマゾン・アルミ計画のうちアルミナ生産計画から日本側は12月末で全面撤退を決定。 (NK) |
| 12・10 | チリ | カゴメ、マヨワ食品産業とトマトの栽培・加工に関する技術供与契約。(NS) |
| 12・11 | 南米 | 科学技術会議(首相の諮問機関)、エルニーニョ現象解明のため、日米協同で観測、データ交換に取り組むことを決定。(NK・AH) |
| 12・12 | メキシコ | 日本、米国、カナダなど環太平洋諸国の実業人の集まりである太平洋経済委員会(PBEC)に正式メンバーとして加盟を要請。(NK) |
| 12・12 | パナマ | 日本パナマ友好協会の招きで来日中のマヌエル・アントニオ・ノリエガ国防軍最高司令官、パナマ運河整備のための協力をよびかけ。 (AH・ME) |
| 12・14 | コロンビア | アマゾン川の源流に近いマカレナ地区でサルの生態研究を行なっている宮城教育大学学術調査隊(隊長伊沢紘生助教授)、新世界ザルの餌づけに初めて成功。(MN) |
| 12・14 | アルゼンチン | 第7回トヨタカップでリバープレートがルーマニアのアテアウア・ブカレストを敗り、初のサッカークラブチーム世界一。(MN・NK・JT) |
| 12・22 | キューバ | 通産省、同国向け輸出保険の引き受けを停止。(NE・AH・MN・YU) |

| | | |
|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 12・22 | ベネズエラ | 三井石油化学工業、国営石油化学公社（ペキベン）の子会社プロピルベン社に対し、ポリプロピレン製造技術供与のライセンス契約。 (NS・NE) |
| 12・23 | ブラジル | 日本電気、現地法人NEC・ド・ブラジルの経営問題を打開するため、優先株を普通株に切り替え、ロベルト・マリーニョ率いるグローバル・グループに売却することで合意。(NE) |

以上238項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

| 新聞名 | 朝刊 | 夕刊 |
|----------|----|----|
| 朝日 | AH | AE |
| 毎日 | MN | ME |
| 読売 | YU | YE |
| 日本経済 | NK | NE |
| 日経産業 | NS | |
| ジャパントイムズ | JT | |

本誌への投稿について

1. 本誌への投稿を歓迎します。ラテンアメリカを対象とする論文、研究ノート、書評などで未発表のものに限ります。
2. 投稿論文は、編集委員会の審査によって採否を決定します。
3. 原稿は、400字詰め横書き用紙を使用して下さい。枚数は原則として論文は50枚、研究ノートは40枚、書評は10枚とします。
4. 採用された原稿に対しては、些少なから原稿料お支払いします。

なお、本誌への投稿、執筆要領、その他については下記にお問合せ下さい。

(〒102) 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学イベロアメリカ研究所事務局

TEL (238) 3530, 3535

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title | 〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1987年— |
| Author(s) | |
| Journal | イベロアメリカ研究, 10(2) |
| Issue Date | 1988-12-20 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9074 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌——1987年——

| 月 日 | 国 名 | 記 事 |
|------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1・ 1 | チリ・コロンビア | 空気圧機器メーカーのS M C、チリのアッセンシオ・ビレチ社とコロンビアのシステムティゼーション・ニューマティカ・デ・コロンビア社にシリンダー、エアドライヤー、バルブ類などの製造技術を提供。(NS) |
| 1・ 1 | ブラジル | 第8回読売国際漫画大賞でワグネル・ザニラト、大賞を受賞。(YU) |
| 1・ 5 | 南アメリカ | ジャックス・エア・カーゴ、ロサンゼルス経由で南米向け貨物の取り扱いを本格化。(NS) |
| 1・ 5 | チリ | 三井物産と来島どっくの連合、同国最大の海運会社・南米汽船(C SAV)から冷凍運搬船(1万3000トン)2隻、約64億円を受注。(AH) |
| 1・ 5 | ブラジル | 外務省人事、駐ポルトアレグレ総領事に宇野和則パラグアイ参事官を起用。(NK・MN・AH) |
| 1・ 5 | ブラジル | 南米訪問中の渡辺美智雄衆院議員訪伯。12日、サルネイ大統領と会談し、中曽根首相訪伯の意向を伝える。(MN・NK・AH) |
| 1・15 | エクアドル | 果物輸入業者ジャパンプロデュース、2月から、これまでパシフィック・フルーツが独占していた同国産バナナの輸入に参入。(NK) |
| 1・16 | パラグアイ | 国際取引が禁止されている同国産のワニ皮4500キロ、通産省のミスで輸入されていたことが、トラフィック・ジャパン(野生動植物国際取引調査記録特別委員会日本支部)の調べで判明。(NK・YU・MN) |
| 1・18 | パナマ | プロ野球の近鉄球団、同国出身で米大リーグ・ブルワーズのベンジャミン・オグリビー外野手を獲得したと発表。(MN・NK) |
| 1・22 | エクアドル | 日本政府、同国政府に対し総額162億6400万円の円借款供与を明らかにする。うち76億7000万円は電気通信網拡充計画、85億9400万円はカタラマ川流域灌漑計画向け。(NK) |
| 1・23 | ニカラグア・ キューバ | 外務省人事、駐ニカラグア大使に小西芳三、駐キューバ大使に川出亮駐ニカラグア大使を起用。(ME・NE・YE・AE) |
| 1・23 | 南アメリカ | 海洋科学技術センターの観測船「なつしま」(1553総トン)、エルニーニョ現象調査のため、横須賀港から赤道太平洋域へ出港。(NK・YU・MN) |
| 1・23 | アルゼンチン | 新日本製鉄など高炉大手5社、ガス開発公社ガスデン・エスタードから大径管用厚板3万トンを受注。(NK) |

| | | |
|------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1・24 | パナマ | 東邦生命保険、資本金4000万米ドルで全額出資の海外証券投資会社、東邦インベストメント・パナマを設立。(NK) |
| 1・24 | 南アメリカ | ユニセフ40周年記念ゼロックス・スーパーサッカー(於国立競技場)で、ディエゴ・マラドーナを主将に、ブラジル、パラグアイ両チームの主将を含む18人の南米選抜チーム、日本選抜に1-0で勝つ。(AH・MN・JT・NK) |
| 1・27 | チリ | 日本水産、海洋水産資源開発センターが1986年6月からチリ沖で試験操業していたマアジのスリ身加工品約200トンを試験販売。(NS) |
| 1・28 | コロンビア | 鈴木自動車工業、GM系子会社ファブリカ・コロンビア・デ・オートモトレス社と提携し、1000cc乗用車カルタスを現地組み立て生産すると発表。(NS・NK) |
| 1・30 | パナマ | 青木建設、1986年10月の集中豪雨で崩れた運河の側壁補修工事、総工費49万3000ドルを受注。パナマ運河の関連工事を日本企業が受注したのは初めて。(NS) |
| 2・1 | ドミニカ共和国・ パナマ | (~28)池田大作創価学会名誉会長、両国訪問。9日、ドミニカ共和国からクリストバル・コロソ大十字勲章、19日、パナマからバスコ・ヌニェス・デ・バルボア勲章受賞。(YU・MN・ME・YE・AE) |
| 2・1 | アルゼンチン | フォークランド諸島の周辺150カイリに英政府が設定した漁業資源保護区域が発効したが、日本は5カ月間の漁業権(71件)を獲得。(MN・NK) |
| 2・7 | アルゼンチン | ヤマハ発動機、ドミンゴ・パグリティーニ社と6人乗り中型漁船の建造契約。(NS) |
| 2・8 | ブラジル | 国際協力事業団サンパウロ支部が日本人移住者組合に払い下げた土地2500ヘクタールのうち、2000ヘクタールが5年間転売禁止条件にもかかわらず不正に転売された事実が発覚。(MN) |
| 2・10 | キューバ | ブランコ駐日大使、土井たか子社会党委員長を表敬訪問。(AH・MN) |
| 2・11 | ブラジル | 日本電気、現地子会社NEC・ド・ブラジルを通じて、同国通信省から光通信システムなど通信機器3億ドル(450億円)を受注。(NK) |
| 2・13 | アルゼンチン | 同国海上保安庁、同国200カイリ領域内で不法操業していた日本漁船「第87正一丸」(332トン)を逮捕したと発表。(ME・NK) |
| 2・17 | メキシコ | 日立製作所、1986年3月に設立したヒタチ・コンシューマー・プロダクト・デ・メヒコ(HIMEX、ティファナ市)のTV外枠工場拡張。夏までに工場棟を2倍、従業員を8倍に増やす予定。(NS) |
| 2・21 | コロンビア | マツダと住友商事がそれぞれ15%ずつ出資している現地生産会社 |

| | | |
|------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | コンパニア・コロンビアナ・アウトモトリス社、生産量を前年比50%増の1万5000台に引き上げ。(NS) |
| 2・24 | ペル | 日本政府、1月下旬からの豪雨により各地で洪水被害のあった同国に10万ドル(約1500万円)の緊急援助決定。(AE) |
| 2・24 | ブラジル | 日伯合弁事業アマゾンアルミニウムの経済危機に対して、日本側の政府・民間共同の追加出資等を柱とする救済策、最終的な詰めに。(AH・YU) |
| 2・27 | エクアドル | 伊藤忠商事、ジャパンプロデュースに次いで同国産バナナの輸入に参入。6月までに70万~80万カートン輸入予定。(NK) |
| 2・28 | メキシコ | サントリーの佐治敬三社長、アギラ・アステカ勲章受賞。(NK・NS) |
| 2・28 | メキシコ | 日本ソーダ工業会とメキシコ塩田の交渉窓口である三菱商事、1987、88年のメキシコ塩の輸入価格の3%引き下げを決定。(NS) |
| 3・6 | メキシコ | 日本輸出入銀行、メキシコ石油公社(PEMEX)向けアンタイトローン(ひもなし借款)の貸付契約に調印。融資限度額は1000億円。(NE・AH) |
| 3・6 | ブラジル | (~11月)エイトル・ピラ・ロボスの生誕百年を記念し、東京でのコンサートを皮切りに各地でコンサート。(AE・ME) |
| 3・7 | メキシコ | 米国クライスラー社の全額出資子会社クライスラー・デ・メヒコで組み立て生産しているダッジ・ミシガン(2200cc)、外車ディーラーのアニックが初めて輸入、販売。(NS) |
| 3・8 | ブラジル | ディルソン・フナロ蔵相来日。9日、宮沢蔵相、倉成外相、10日、中曽根首相、田村通産相、民間銀行団と会談。債権問題で協力を要請。(AH・MN・NK・YU・JT) |
| 3・9 | メキシコ | カセイソーダ業界、1988年末までの2年間を対象にした同国産原料塩の第7次契約締結。87年分が246万トン、88年分が254万トンの計500万トンで、第6次契約に比べ1トン当たり0.7ドルの引き下げ。(NS) |
| 3・10 | ブラジル | 通産省、同国の累積債務問題悪化をうけて、輸出保険適用再開を凍結する方針を決定。(YU) |
| 3・10 | ブラジル | 日商岩井、リオ・ドセ社との間で、アマゾン川流域2700万ヘクタールを対象にした木炭銑鉄と木材化学コンビナートの建設計画覚書に調印。(AH) |
| 3・12 | メキシコ | 日産自動車の子会社メキシコ日産、ワンボックスカー、パネットの生産開始。これをテコに同国での日産車全体の生産量を前年比10%増の8万1000台に拡大。(NK) |
| 3・14 | エクアドル | 日本政府、同国の地震災害に25万ドルの緊急援助と災害調査チー |

| | | |
|------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3・17 | アルゼンチン | ムの派遣を決定。外務省、国土庁、国際協力事業団(JICA)各職員3人から成る同チームは同夜現地に出発。(NK・MN・YU・AE) 外務省人事、アルゼンチン大使に山下和夫モロッコ大使を起用。 (AE・NE・ME・YE) |
| 3・18 | キューバ | 玉井英二明和産業社長、キューバ産品輸出公団のホセ・パールス総裁から、クリスタル・マウンテン・メダルを受賞。(NK) |
| 3・23 | バハマ | 日本火災海上保険、ナッソー市に海外投資子会社ニッポン・インベストメント・インターナショナル(出資金2000万ドル)を設立。 (MN・NK) |
| 3・23 | ペルー | リマ市で東京銀行リマ支店の沢木忠男支店長、出勤途中にゲリラとみられる3人組に銃撃され重傷。(AE・YE・NE・ME・JT) |
| 3・24 | アルゼンチン | 根室のイカ釣り漁船「第68丸中丸」、フォークランド沖で領海内操業のためにだ捕される。(YE・ME) |
| 3・26 | アルゼンチン・ パラグアイ | 三菱電機、日立製作所、東芝の3社、両国共同事業ヤシレタ水力発電計画に使う発電機10台、約100億円の供給契約に調印。(NK) |
| 3・27 | メキシコ | 三洋電機、ティファナ地区の現地会社サンメックスで掃除機の生産開始。また日本から輸出していた米国シアーズ社向けのOEM(相手先ブランドでの生産)製品の一部を、メキシコでの生産に切り替え。米国への輸出拠点として同国マキラドーラ(保税加工工業区)の活用法を多角的に検討。(NS) |
| 3・28 | アルゼンチン | (~4・3) 東京神田・岩波ホールで日本初のアルゼンチン映画祭開催。民政復帰後の映画5本が上映され、国立映画庁長官で映画監督でもあるマヌエル・アンティン来日。(NE・YE・AH・ME) |
| 3・29 | キューバ | 外貨不足に陥っている同国、日本にベタンクール貿易省次官を団長とするミッションを派遣、債務繰り延べ交渉を開始。(NK) |
| 3・30 | アルゼンチン | 第1回日本・アルゼンチン賢人会議、ブエノスアイレス市で開催。両国から学者、経済人ら各5人が出席。(ME・JT) |
| 4・1 | ラテンアメリカ | NHKの国際放送「ラジオ日本」の南米、北米向け海外中継放送が拡充され、1日4時間の受信が可能になる。(NE) |
| 4・1 | ブラジル | 外務省人事、駐レシフェ総領事館総領事に青木肇駐ウルグアイ大使館参事官を起用。(AH・NK) |
| 4・3 | メキシコ | メキシコ石油公社(PEMEX)、日本向けイスマス軽質油、マヤ重質油を1バレル当り18セント値上げ、それぞれ17.43ドル、14.63ドルとすると発表。3月輸出分にさかのぼり実施。(YU) |
| 4・4 | 南アメリカ | (~5・12) 東京・白金台の東京都庭園美術館で、小原豊雲コレクションの中から紀元前10世紀から15、6世紀までのアンデス文化を紹介する「アンデスの染織と工芸」展開催。(NK・YE・AE・ME・JT) |

| | | |
|------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4・7 | メキシコ | 同国政府、日本からの観光客誘致促進のため、観光担当のアタッシェ（大使館の専門職員）派遣を発表。（AH） |
| 4・8 | メキシコ | 三洋電機、ティファナ地区でカラーテレビの半製品と一部完成品の生産開始。（NK） |
| 4・8 | メキシコ | 日産自動車の子会社メキシコ日産、米国クライスラー社、フォード社にエンジンや変速機の部品供給。（NK） |
| 4・9 | アルゼンチン | 大相撲の陸奥部屋にマルセロ・サロモン（21才）入門。夏場所（5月10日初日）で初土俵の予定。（AH） |
| 4・10 | メキシコ | 日産自動車、円高進行で日本からの完成車輸出が採算にあいにくくなったため、子会社メキシコ日産を中南米向け輸出車の生産拠点にする。（NS） |
| 4・12 | メキシコ | （～25）同国在住のバイオリニスト黒沼ユリ子、ユリコ・クロヌマ音楽院の生徒12人と全国11カ所で、日本メキシコ友好コンサートツアー。（ME・JT・YE・NK・AE） |
| 4・12 | グアテマラ | （～17）カルピオ副大統領来日。13日、倉成外相と会談。（NK・YU・MN・AH） |
| 4・14 | ジャマイカ | 電源開発、同国の石炭火力発電開発計画で、ジャマイカ公共サービス会社（JPS）からフィージビリティ調査（実現性調査）を受注。（YU・MN） |
| 4・16 | メキシコ | オーディオテクニカの現地合弁会社オーテックメヒコ、米国向けオーディオアクセサリを生産。（NS） |
| 4・20 | メキシコ | セイコーエプソン、眼鏡用プラスチックレンズをメキシコで生産、米国で販売する体制を整え、1988年春をめどに生産開始。（NK） |
| 4・21 | コロンビア | 外務省人事、コロンビア大使に色摩力夫ホンジュラス大使を起用。（AE・NE・YE・ME） |
| 4・21 | チリ | 三菱商事、日本鉱業などがつくった日本エスコンディエーダ、オーストラリアのBHP・ユタ鉱業グループ、英国のリオ・ティント社と共同で、同国北部エスコンディエーダ銅山を開発し、銅鉱石を輸入する計画を発表。必要資金12億ドル中4億ドルを日本が分担。（AH） |
| 4・24 | メキシコ | 酒類問屋の広屋、モデロ社製の「コロナ」ビール輸入発売。（NS・NK） |
| 4・24 | メキシコ | 東芝の物流子会社、東芝物流、東芝が10月からメキシコでテレビのシャシー生産工場を稼働させるのに対応し、北米に初の海外拠点を設け、メキシコと組み立て工場のある米国テネシー州間の輸送をバックアップ。（NS） |
| 4・24 | コロンビア | 住商フルーツ、同国産のサボテン科植物ピターヤの実を空輸・販売。（NS） |

| | | |
|------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4・25 | キューバ | 来日中のJ・ブリオッソ・キューバ砂糖公団(ZVCAR)副総裁、1985年以降の干ばつによる減産を理由に、国内商社、製糖メーカーに対し、87年の日本向け粗糖契約分(約85万トン)のうち5月積み以降の輸出を停止し、88年に繰り延べると通告。(NE・NS) |
| 5・1 | ペルー | 国際電信電話(KDD)、同国との間で国際ダイヤル通話サービスを開始。(YU) |
| 5・2 | キューバ | キューバ砂糖公団と三井物産など国内商社、1987年の日本向け粗糖契約分の一部の船積みをも88年に繰り延べることで合意。(NK) |
| 5・7 | アルゼンチン | 全日空サッカーチーム、1986年南米で優勝したリバープレートチームのオストル・ピッコリの加入を発表。(AH) |
| 5・8 | チリ | 鹿島建設と同国第10州政府、日本政府の無償資金協力による総額14億5000万円の漁業施設建設計画のうち、プエルトモント漁港の施設建設など第1期分7億5600万円の建設契約に調印。(NK) |
| 5・8 | アルゼンチン | 金属鉱業事業団、同国政府の要請によるボーリング調査で、北西部アルトデラブレングラ地域で金、銀鉱脈を発見。(NS) |
| 5・11 | メキシコ | 日本人のメキシコ移住90周年記念式典、メキシコ市で開催。高円宮ご夫妻、デラマドリ大統領臨席の下、移民、在留邦人らが参加。(AH・ME・NE・YE・JT) |
| 5・11 | アルゼンチン | 同国から初めて大相撲入りした星誕期(ほしたんご、本名マルセロ・イマチ、陸奥部屋)、東京・国技館で行なわれた夏場所3日目に前相撲でデビュー、寄り倒して勝つ。(AH・JT) |
| 5・12 | ベネズエラ | 日本電気、ベネズエラ通信公社からマラカイボ、マラカイ、バルキシメト、プエルトラクルス、プエルトオルダスの5都市を結ぶ光通信システム、約30億円を受注。(NK) |
| 5・15 | ベネズエラ | (~22) マヌエル・アスプリア蔵相、エクトル・ウルタド投資基金総裁(国務大臣)らと来日。21日、日本ベネズエラ経済委員会に出席。(NK・YU) |
| 5・15 | ブラジル | 湯浅電池と英国ルーカス・インダストリー社の合弁会社ルーカス・ユアサ・ド・ブラジル、1987年度から3カ年計画で4輪車用蓄電池の年間生産能力を倍の80万個に引き上げる計画。(NS) |
| 5・16 | ブラジル・蘭領セントマーチン島 | ニチレイ、ブラジルのアマゾナス食品工業、蘭領セントマーチン島のキュラソー開発社から、中南米原産の果実アセロラの果汁や冷凍品を輸入、缶飲料やゼリーに製品化して販売。(NS) |
| 5・18 | ブラジル | 日本作曲家協会の主催で1983年から毎年開催されている「ブラジル日本現代音楽週間」、同国第一線の音楽批評家で構成されるパウリスタ芸術批評家協会から86年度特別賞を受賞。(YE・AE) |
| 5・19 | ラテンアメリカ | 中南米と日本の映像文化の交流を深めようと、映画評論家の草壁久四郎のよびかけで、日本製の35ミリ映画撮影機一式(800万円相 |

| | | |
|------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 当)が、ブランコ駐日キューバ大使を通じてラテンアメリカ国際映画テレビ大学(ラテンアメリカ13カ国の基金によりハバナに開校)に寄贈される。(MN) |
| 5・19 | ペルー | 伊藤忠商事とユニチカ、同国産の太い綿「タンギス」を使った衣料・寝装用品を共同開発。6月にはペルー大使館の協力を得て東京、大阪で展示会開催。(NS) |
| 5・20 | ラテンアメリカ | 澄田日銀総裁、米シティコープが中南米向け不良債権に備えて貸し倒れ引当金を大巾に積み増したことについて、「信用不安起さぬ」と記者会見。また21日、宮沢蔵相も対ブラジル長期交渉の意思表示との見解を示す。(NE・MN) |
| 5・20 | コロンビア | 日本輸出入銀行、ボゴタ銀行向けバンクローン(銀行間借款)、融資限度額20億円の契約に調印。(NK) |
| 5・21 | キュラソー | 日本債券信用銀行が同国に設立した海外現地法人(資本金20万ポンド)、ロンドンで金利スワップ付き外債の発行契約に調印。(NK) |
| 5・24 | キューバ | NHK国際バレーボール男子大会でキューバ3戦全勝、2年ぶり3度目の優勝。(AH・JT) |
| 5・24 | ブラジル | (~31)外国3チームを招いての国際サッカー大会キリンカップ'87で、同国の名門フルミネンセが優勝。(AH・JT) |
| 5・26 | メキシコ | カルロス・サリーナス予算企画相来日、中曽根首相を表敬訪問。(AH・MN・NK・YU) |
| 5・29 | メキシコ | 国際協力事業団から派遣されていたNHK職員竹内実チーフ・ディレクター、自宅前で強盗にピストルで撃たれ重傷。(MN・AH・YU・NK) |
| 5・29 | キューバ・ブラジル | (~31)バレーボールの第24回NHK杯女子国際大会で、キューバ3戦全勝で4年連続優勝、日本2位、ブラジル3位。(AH・JT) |
| 6・3 | ブラジル | 松下電器産業の現地法人ブラジルナショナル(NABRAS)、地元資本と合弁でマナウスに設けているスプリンジャー・ナショナル・アマゾニア(SNAM)でVTR生産。(NK・AH) |
| 6・4 | メキシコ | 自動車用配管部品大手の三桜工業、同社の米国法人サンオー・マニファクチャリング・コーポレーション(SMC)で生産していた家電製品用部品、年間3億円分の生産をメキシコ法人サンオー・マニファクチャリング・デ・メヒコ(本社ティファナ市)に切り替え。(NS) |
| 6・4 | アルゼンチン | (~7・5)タンゴ復活のきっかけとなったブロードウェイショー「タンゴ・アルゼンチーノ」来日公演。(AH・NE・ME・YE・JT) |
| 6・4 | ブラジル | 京都で2年間仏教を学び、「反戦反核こそ仏教の真理」と悟った僧侶ジョアキン・アントニオ、反戦説法で1年間の全国行脚に。 |

| | | |
|------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | (AH) |
| 6・5 | メキシコ | 邦銀28行、1987年3月期決算で、同国に対する債権総額5億8000万ドルを3月に共同で設立した債権買い取り会社(JBA)に売り渡し、償却。(YU・JT) |
| 6・6 | チリ | 三井物産、同国の製材会社約10社で構成する共同販売会社コンソルシオ社と契約し、ラジエーター・パイン製の製紙原料ウッド・チップを初めて輸入、東北製紙に納入。(NS) |
| 6・7 | ニカラグア | 反政府ゲリラ(コントラ)の軍事訓練に複数の日本人が1年半前から参加、空手などを訓練していると、コントラの政治軍事統一組織ニカラグア・レジスタンスの指導者ホアキン・ペドロ・チャモロが確認。(YU・AE・JT) |
| 6・11 | メキシコ | コマースで爆発的な人気を呼んだ同国原産のウーパールーパー(アホロートル)、サンシャイン国際水族館で繁殖によって増えすぎ、在日大使館を通して原産国メキシコの動物園など、引き取り手を打診中。(ME) |
| 6・12 | アルゼンチン | 本田技研工業、コルドバ州クルスデルエヘ地区に2000万ドルを投資して2輪車工場を建設し、400人を雇用する計画、近く合意の見通し。(YU・MN・NK・AH) |
| 6・16 | ホンジュラス | 外務省人事、ホンジュラス大使に板橋毅一を起用。(AE・YE・NE・ME) |
| 6・20 | ラテンアメリカ | 政府、「青年の船」を1988年度から世界一周コースに拡大し、中南米をも訪れる計画検討。(ME) |
| 6・20 | アルゼンチン | 銀行、生命保険などわが国の民間金融機関、累積債務危機下にあるアルゼンチンに対して3億5000万ドルの新規融資を行なうことで同国と合意。(AH・YU・MN・JT) |
| 6・22 | ペルー | フジタ工業、日本政府の無償援助プロジェクト、パイター水産訓練センターの建設工事、総工費8億7500万円を受注。(NS) |
| 6・24 | メキシコ | セルフイン銀行のフリアン・テルミネル副頭取、マキラドーラ誘致ミッションの団長として来日。(YU・NK) |
| 6・25 | ブラジル | 通産省、日本輸出入銀行、日本長期信用銀行が米国輸銀などと、パリグ航空向け航空機の国際協調融資契約に調印したと発表。日本側の融資額は4億ドルのうちの1500万ドル、償還期間は12年。(MN・YU・AH・JT) |
| 6・26 | ブラジル | 協和銀行、同国に現地法人を持つ総合商社とメーカーに対し、外国銀行の同国向け債権を活用して有利に現地通貨を調達するディスカウント・ローンを仲介。(NK) |
| 7・1 | ラテンアメリカ | 朝日新聞社の国際衛星版、メキシコ、アルゼンチン、パナマ、ブラ |

| | | |
|------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | ジルでも発売。(AH) |
| 7・1 | メキシコ | 日本からの直接投資を促進するため同国政府・民間経済団体は委員会を設立し、日本の日墨投資推進協会と協力すると発表。(NK・JT) |
| 7・2 | ブラジル | 日本バレーボール協会、ブラジルの日系人組織、日伯援護協会(竹中正会長)が1988年の移民80周年を記念してサンパウロ市に建設中の日伯友好病院の援助金として、1万ドル(約145万円)寄付。(MN・NK・AH) |
| 7・5 | ボリビア | サンタクルス市郊外サンファン移住地の日本人移住者たち、その移住社会を取材しまとめた石田甚太郎著『ボリビア移民聞書』(現代企画室)に対し、名誉毀損を理由に本の増刷中止と釈明を求める文書を送る。(MN) |
| 7・5 | ブラジル | (~26)'87 F1世界選手権シリーズ第6戦フランス・グランプリ(5日)、第7戦英国グランプリ(12日)、第8戦西ドイツ・グランプリ(26日)で、本田技研のエンジンを搭載したウィリアムズ・ホンダチームのネルソン・ピケ、ロータス・ホンダチームのアイルトン・セナ、いずれも1位から4位までの上位入賞。(AH・NS・JT) |
| 7・7 | メキシコ | 日立製作所、現地法人の日立コンシューマー・プロダクト・デ・メヒコ(本社ティファナ市)で、8月から米国市場向けのプロジェクト用テレビ用部品の生産組み立て開始。(NK) |
| 7・9 | メキシコ | 三井物産、同国への工場進出を図る日本企業を対象にしたプラント受注・建設の専門組織を日本、米国、メキシコに新設。メキシコについてはメキシコ市の本社内に支援チーム編成、ティファナ市に事務所開設。(NS) |
| 7・10 | メキシコ | ソニー、ティファナ市内に、カラーテレビの部品組み立て工場を新設。組み立て工程の内製化、コストダウンを目指し、8月中旬稼働予定。(NS) |
| 7・10 | コロンビア | 日鉄鉱業と伊藤忠商事、ミナス・エル・ロブレ社と共同で、メデリンの近郊エル・ロブレ銅山開発に着手。1989年から全量を日本に輸入する予定。(NS) |
| 7・11 | メキシコ | 東京で個展「南国の花とメキシコ文様」を開き、同国に帰国した画家の井路愛、個展で集まった約58万円(約4000ドル)をメキシコのダウン症児の施設づくりに寄付。(ME) |
| 7・11 | パナマ・ブラジル | 中堅商社コイデ・アンド・カンパニーのパナマ籍子会社コイデ・インターナショナルを中核として英国のミッドランド銀行、マシュー・ポール社、ブラジル国営ペトロプラスの各社が国際企業グループを作り、中国深圳市、深圳石油化学工業会社との間で、総額15億 |

| | | |
|------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | ～20億ドルの合弁事業の基本合意書に調印。(MN) |
| 7・15 | ラテンアメリカ | 外務省が発表した海外在留邦人数(1986年10月1日現在)調査結果によると、南米15万1100人(全体の30%)で長期滞在者は前年比8%の減少。ただし永住者は南米が全体の57.8%を占めて最大。(MN・NK・AH) |
| 7・15 | ジャマイカ | 同国のコーヒー開発事業に対する円借款をめぐり、円借款の窓口の海外経済協力基金(OECF)が職員を日本のコンサルタント会社に出向させ、同社がジャマイカ政府から出向職員の給与分約1000万円を不正に受給していた問題、衆院予算委員会で追及。(AH・YU) |
| 7・15 | アルゼンチン | 本田技研工業のオートバイ製造工場建設計画、7月中旬に認可される見通し。(NK) |
| 7・20 | メキシコ | 伊藤忠商事、同国へ工場進出する日本企業を対象にコンサルティングサービス開始。米国・メキシコ国境付近に事務所開設予定。 (NS) |
| 7・22 | メキシコ | 世界ボクシング評議会(WBC)公認ジュニアウェルター級タイトルマッチで、同級1位元チャンピオンのレネ・アルレドント、チャンピオン浜田剛史を6回にTKO、王座に返り咲く。(AH・JT) |
| 7・24 | メキシコ | 矢崎総業の100%出資子会社、メキシコ自動車部品可変資本、チワワ州アセンシオン市に自動車用ワイヤーハーネスの保税加工工場を建設、生産量を2割以上増やし、北米に出荷予定。(NS) |
| 7・24 | ブラジル | 石川島播磨重工業、ブラジル港湾公社から自航式大型しゅんせつ船(3900総トン)約36億円を受注。(NS・NK) |
| 7・27 | パナマ | 政情不安の続く同国の日本大使館、邦人の観光旅行自粛を要請。 (MN) |
| 7・27 | アルゼンチン | 東京税関、台湾の業者を通じてフォークランド沖のヤリイカを不正輸入していた無免許ブローカーを摘発。(MN・NK) |
| 7・27 | ブラジル | 日産自動車のプロサッカーチーム、サンパウロFCのオスカルとロペスの2選手と契約。(AH・JT) |
| 7・29 | エクアドル | (～8・21) 東京・池袋のジェットロ展示場でエクアドル展開催。 (AE・NE・MN・YE) |
| 7・30 | アルゼンチン | (～31) 日本・アルゼンチン協力中長期展望会議(賢人会議＝両国首脳諮問機関)、東京で開催。両国間の交流強化で合意し、秋に提出する最終報告の骨子をまとめる。(NK・YU・JT) |
| 7・30 | ブラジル | 1988年6月に「ブラジル日本移民80年祭」を計画しているブラジル日本移民80年祭実行委員会の尾身倍一委員長ら来日。鈴木都知事に同委名誉顧問への就任を要請、同祭へ招待。(MN・AH) |
| 7・31 | メキシコ | 茶道の裏千家、メキシコ市内の日墨会館内にある日本庭園内に現地用材を使った純日本風の茶室・清松庵を建設、一般に開放。(YU) |

| | | |
|------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8・1 | アルゼンチン | (～4)カプート外相来日。3日、中曽根首相と会談し、アルフォンシン大統領からのアルゼンチン訪問を招請するメッセージを伝言。 (YE・NE・AE・MN・JT) |
| 8・3 | カリブ海 | テレビ朝日、「地球時代のカリブ」をテーマにした大型キャンペーン展開。16時間にわたるカリブ一色のテレビマラソン番組放映。 (ME・NE・YE・AH) |
| 8・3 | ブラジル | 両国政府、外務省でブラジルでの農業の研究協力に関する書簡を交換、発効。(NK) |
| 8・4 | エクアドル | 魚介類養殖ベンチャーの日本栽培水産、グアヤス川河口の湖で、ホワイトシュリンプ系の車エビを年間約600トン養殖する計画、年内に着手。(NS) |
| 8・5 | メキシコ | 小松製作所、国営金融公社(NAFINSA)との合弁会社ディナ小松のドル建て債務を肩代わりする形で株式を取得、出資比率を40%から68%に引き上げて、経営主導権を獲得。(NS) |
| 8・7 | メキシコ | 電子部品メーカーのクーロン、米国法人クーロンUSAの全額出資で、現地法人クーロン・メヒカーナを設立。12月を目標に200人規模でフル操業に入り、現地日本企業に電子部品の供給開始。 (NS) |
| 8・7 | チリ | 来日中のソモビル中央銀行理事、4000万ドルの債務繰り延べで日本政府と合意に達した旨、記者会見。(NK・JT) |
| 8・10 | アルゼンチン | 日本輸出入銀行、発展途上国への資金還流計画の第1号として、同国石油公社に総額3億7000万ドルを融資することで、同国政府と合意。(NK・MN) |
| 8・11 | メキシコ | 津村寿二日墨学院副理事長・同文化センター運営委員長、同学院創立10周年を記念した文化交流旅行団団長として、メキシコ人生徒35人を引率して来日。小学生野球チームは、東京で開かれた少年軟式野球世界大会に同国代表として参加。(ME) |
| 8・11 | 中米 | 外務省、松田外務報道官の談話として、グアテマラで開かれた中米5カ国首脳会議の結果について、和平合意を歓迎すると発表。(MN) |
| 8・12 | プエルトリコ | ダイハツ工業、同国の現地資本が設立した販売会社ダイハツ・デ・プエルトリコと販売契約を結び、シャレード(1000cc)を輸出。 (NK) |
| 8・17 | ブラジル | 日伯合弁アルミ精錬事業の日本側出資会社の日本アマゾンアルミニウム、役員を大幅刷新し、経営立て直しに着手。またアマゾンアルミプロジェクトはアルミ地金生産能力を倍増、延期されていた第2期工場建設を10月から着工。(NS・NK) |
| 8・18 | ペルー | (～30)ペルー人画家グループ7人展、東京・京橋で開催。(NE・YE・ME・AH) |

| | | | |
|------|-----------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8・21 | チ | リ | 興和、現地子会社コチを通じ、同国の化学鉱業公社ソキミチの株式67万株（発行済み株式総数の1%弱）を、債務の証券化方式により約2億2000万チリペソ（1億5000万円）で取得。（NK・JT） |
| 8・25 | ラテンアメリカ | | 中南米系アメリカ人の下院議員、実業家などで組織するヒスパニック訪日ミッション（団長、トーレス下院議員）の一行34人、中曽根首相を表敬訪問。29日、土井社会党委員長訪問。（MN・NK・AH・YU） |
| 8・26 | アルゼンチン | | 同国有力紙ナシオン、同国政府高官筋の話として、東京港区にあるアルゼンチン大使公邸の売却を決め、近く入札を行なうと報道。（AE・NE） |
| 8・26 | パラグアイ | | 海外経済協力基金、同国政府との間で、農業部門強化資金として総額118億4700万円を限度とする貸し付け契約に調印。（MN） |
| 8・28 | メキシコ・ブラジル | | （～30）外国7都市の少年サッカーチームを招いて行なわれた第1回世界少年サッカー大会決勝戦で、メキシコ市はサンパウロ市を3-0で下し優勝。（AH） |
| 8・28 | チ | リ | 日本政府、債務救済で同国政府と合意、書簡交換。対象は日本輸出入銀行の2億6800万円、商業上の4165万ドル（ドル建て分）および4900万円。（NK） |
| 8・29 | キューバ | | （～9・4）同国映画の代表作6本を集めた「キューバ・シネマ・ウィーク」、東京・大森で開催。（NK・YE・AH） |
| 9・1 | ブラジル | | 東京・渋谷に本部を置く国連大学の3代目学長に同国出身のエイトール・グルグリーノ・デ・ソウザ就任。（AH） |
| 9・2 | ラテンアメリカ | | 外務省、3年間で200億ドルの黒字資金を途上国に還流させる計画に関して、中南米諸国へ重点配分する方針を表明。（MN・NK・AH・JT） |
| 9・3 | ブラジル | | 邦銀各行、ブラジルが2月20日以降利払いを停止し、再開のめどが立っていないため、9月中間決算で同国向け債権の利息、総額約600億円を収益に計上できない見通し。（NK） |
| 9・4 | メキシコ | | メキシコ石油公社（PEMEX）とメキシコ石油輸入会社、8月分の対日船積み原油価格について、前月価格よりバーレル当たり0.33ドルの値下げで合意。バーレル当たりイスマス（軽質油）17.65ドル、マヤ（重質油）14.90ドル。（NE・MN・NS） |
| 9・4 | ブラジル | | 日本鋼管と三井物産、フェロンリコンメーカーのアソフン社に、両社合わせて出資比率49%（約3億円）の資本参加し、海外の合金鉄事業拠点として北米・欧米向け輸出に力を入れる計画。（NS） |
| 9・8 | アルゼンチン | | 日商岩井、東芝、富士写真工機、プエノスアイレス州厚生省からCTスキャナー（コンピューター断層撮影装置）などの先端医療機器、約20億円を受注。（NK） |

| | | |
|------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9・9 | メキシコ | 来日中のエンリーケス・サビニャック観光相、観光客誘致のため、運輸省や業界の官民合同ミッションを招待すると記者会見。(NK・MN) |
| 9・9 | チリ | (～20) 国外亡命中の映画監督で元国立映画社総裁のミゲル・リティン、軍事政権下に潜入して撮影した記録映画「チリの全記録」上映のため来日、全国で講演と映画の会。(YE・AE・JT・ME) |
| 9・11 | ラテンアメリカ | 1月に常設政策協議機構(通称リオ・グループ)を設置した中南米8カ国大使、倉成外相を訪ね、同グループへの支援および累積債務問題での日本の積極的対応を要請。(MN) |
| 9・13 | パナマ・ガイアナ | 日本電気、日商岩井を窓口に、パナマ通信公社からデジタル式局用交換機など21億5000万円、ガイアナ通信公社から国際線用局用交換機など8億3000万円をそれぞれ受注。(NK) |
| 9・13 | ベネズエラ | 子供の本の普及と発展に尽くした団体に贈られる朝日国際児童図書普及賞の第1回受賞団体に、同国のバンコ・デル・リベロが選ばれる。(AH) |
| 9・14 | ブラジル | 来日中のブラッセル大蔵省顧問、ナカノ経済局長ら、邦銀10行の代表者と2月から利払い停止となっている約110億ドルの債務について協議。ブラジル側の累積債務の債券化構想提案に対し、邦銀側は難色。(MN・NK・YU・AH) |
| 9・14 | ブラジル | 日本航空、南米路線のサービス強化を狙い、ブラジル人スチュワーデスを5人増員、計10人に。(NS) |
| 9・15 | メキシコ | 日産自動車、米国テネシー工場で製造しているダットサントラック用のエンジンを、子会社のメキシコ日産から供給し、将来はメキシコ日産をエンジン供給基地として育成する計画。(NK) |
| 9・16 | チリ | 日本鋼管と三菱商事、鉱山鉄鋼会社CAPの子会社CSHワチパト製鉄所から、年産50万トンのコークス炉およびその付帯設備一式、総額約170億円をフルターンキー方式で受注。(NK・AH) |
| 9・17 | キューバ | 丸紅、干ばつによる減産でキューバ側に輸出余力がなくなったことに伴う措置として、同国が要請していた砂糖の値決め交渉の延期を受け入れ。(NK) |
| 9・19 | メキシコ | (～21) 第8回国際人養成シンポジウム(毎日新聞社、日墨学院主催)、メキシコ市で開催。第2分科会「日墨学院10年の歩みと今後の課題」では、同校の財政問題がクローズアップ、日本政府や企業に援助要請。21日、メキシコ宣言を採択。(MN・ME) |
| 9・21 | ラテンアメリカ | 中曽根首相、日米首脳会談の後の記者会見で、中南米諸国に総額約40億ドルの資金還流を実施すると表明。(YE・NE) |
| 9・21 | ニカラグア | 日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、同国救援のため、自転車1000台の購入・運搬費用2000万円を目標に、募金運 |

| | | |
|------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 動開始。(AH) |
| 9・21 | ペル | 金丸信副総理の悦子夫人、教育施設への貢献により、同国で最も権威ある太陽勲章を受賞。(YU・ME・AE・JT) |
| 9・24 | ベネズエラ | 日本政府、同国の台風災害に対し、国際緊急援助隊の派遣を決定。(YU) |
| 9・24 | チリ | 来日中のエルナン・ブッヒ・ブク蔵相、記者会見で債務の証券化促進に協力を要請。(NK・AH) |
| 9・26 | ラテンアメリカ | (～10・2) 倉成外相、ドミニカ共和国、ベネズエラ、グアテマラ3カ国訪問。40億ドルの資金還流計画、中米和平などについて意見交換。(MN・NK・YU・JT) |
| 9・26 | メキシコ | 日本輸出入銀行、メキシコナショナル銀行(BANAMEX)に対し、融資限度枠30億円の投資バンクローンを初めて供与。(AH・MN) |
| 9・26 | ドミニカ共和国 | 倉成外相、サントドミンゴに到着、バラゲール大統領と会談。(AH・YU・NK) |
| 9・28 | ベネズエラ | 中南米訪問中の倉成外相、カラカスでルシンチ大統領、カリリョ外相代行と会談。ボーキサイト鉱山開発プロジェクトに1億ドルのアンタイドローンを供与し、「中米和平合意」を支持する意向を表明。(NE・AH・ME・JT・YE) |
| 9・28 | ペル | (～10・17)ペルー展、ジェットロ池袋展示場で開催。(YU) |
| 9・29 | グアテマラ | 同国訪問中の倉成外相、セレン大統領と会談。同大統領は中米地域での停戦実現までにかかりの時間がかかるとの見通しを明らかにした。一方、外相は歓迎式典で中米に対する日本外交の基本政策を発表。(MN・NE・AE・YE) |
| 9・30 | メキシコ | ティファナ国際空港に着陸しようとした双発セスナ機が墜落。ゲレロネグロの緑化指導に業績のあった鳥取大学砂丘利用研究施設の2教授、旭化成工業社員の3邦人を含む乗客、乗員計6人が死亡。(AE・NE・YE・ME) |
| 9・30 | アルゼンチン | 日本・アルゼンチン協力中長期展望会議(日ア賢人会議)、協力関係強化の具体策を盛り込んだ報告書をまとめ、東京で中曽根首相、ブエノスアイレスでアルフォンシン大統領に提出。(NK・AH・JT) |
| 10・2 | ブラジル | 同国向けの中長期債権を持つ都市銀行、長期信用銀行など邦銀約40行、9月中間決算で、総額約110億ドルの同債権の利息(邦銀全体で約100億円強)を収益に計上しない統一的な措置を取ったと表明。(MN) |
| 10・5 | ベネズエラ | 日本鋼管、鉄鉱石供給公社CVGフェルゴミネラ・オリノコから、中古船8万トンのバルクキャリア(石油製品運搬船)と22万トンの鉄石・原油兼用運搬船の2隻を鉄鉱石の運搬用と中継基地用に改造・運用する商談を、7000万ドルで受注。(NS) |

| | | |
|-------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10・8 | メキシコ | 国営石油公社（PEMEX）、9月船積み分の日本向けGG（政府間取引）原油価格の1バレル当り0.35ドル引き下げを決定。（NK） |
| 10・8 | メキシコ | 日本輸出入銀行、メキシコ外国貿易銀行に総額480億円のアンタイドローン供与の契約。（NK・JT） |
| 10・9 | コロンビア | 日本政府、9月27日にメデリン市郊外で起った地すべり災害の復旧のために、15万ドル（約2400万円）の緊急援助を決定。（NE・AE・YE・JT） |
| 10・9 | チリ | 大阪商船三井船舶、大手化学メーカーのケープ・ホーン・メタノールと、チリから欧米諸国へのメタノール輸送請負を契約。契約は10年、商船三井は30数億円で世界最大級のケミカルタンカー（4万5000トン）を新造し、輸送にあてる。（NK） |
| 10・10 | アルゼンチン | 元労働運動指導者で8年間投獄されていた「良心の囚人」ファン・カルロス・ロドリゲス一家3人、アムネスティ・インターナショナル日本支部の招きで来日。18日、政治犯の釈放を求める皇居一周のウォーク・キャンペーン「ウォーカソン」に参加。（AH・YU・ME・JT） |
| 10・13 | アルゼンチン | 日本電気、ペレス・コンパン社と合弁でペコムNECを設立。年間10万回線分のデジタル交換機と多重化装置、中継装置などの搬送装置2000システムの生産能力を持つ日電最大級の通信機工場建設。（NK） |
| 10・13 | アルゼンチン | （～18）同国で活躍中の代表的な作家10人の作品80点を展示する「現代アルゼンチン絵画展」、東京・新宿で開催。（ME・AE・YU） |
| 10・13 | ブラジル | 東京・サンパウロ間の直行便を運航している日本航空とバリグ・ブラジル航空（RG）、両社で旅客を半分ずつ乗せ、週1往復増便することで合意。（NE） |
| 10・15 | ニカラグア | 同国で3年近く診療活動が続けている鍼灸師井上真、自然医学村を計画、一時帰国して協力を訴える。（AE・YE） |
| 10・17 | ブラジル | 兵庫県相生市、1988－89年度の第1期事業で、総合レジャー施設「相生ブラジル村」を建設。87ヘクタールの遊休地に187億円をかけ、ブラジルの自然、文化、物産をテーマに大温室、ジャングル、映像館等を建設し、年間150万人の集客を見込む。（NS） |
| 10・18 | メキシコ | 三菱銀行、同国のマキラドーラへの進出希望企業を対象とした調査団を派遣。（NK・JT） |
| 10・19 | ブラジル | 松下電器の子会社スプリンジャー・ナショナル・アマゾニア、電子レンジの部品マグネトロン生産を開始。月産1万本を目標にブラジル・ナショナルに供給、南米の他社への供給も計画。（NK） |
| 10・21 | チリ | 同国産ブドウが年内にも輸入解禁となる見通し。農林省は近くチリ |

| | | |
|-------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 側と箱詰め方法、検疫官派遣などについて最終的話し合いに入る。 (NK) |
| 10・22 | ラテンアメリカ | (~27) 小原豊雲、個展「幻想庭園」で長年収集してきたメキシコ、インカなどの民族美術品と植物を組み合わせて、自然の幻想性を表現。(YE・AH) |
| 10・22 | ベリールズ | 同国滞在15年の貿易商井上堅介、マヤ遺跡の博物館建設のため、来日して協力を呼びかけ。(ME) |
| 10・24 | アルゼンチン | 都市銀行、長期信用銀行など邦銀20数行、9月中間決算で、同国向けの債権約280億円を、銀行界が共同で設立した債権国向け債権買い入れ会社(JBA)に売却。(NK) |
| 10・26 | ラテンアメリカ | わが国の巨額の貿易黒字の民間版還流策として、経団連の資金還流問題懇談会と大蔵省国際金融局の協議で、中南米向けに投資会社を新設する構想浮上。(YU) |
| 10・26 | メキシコ | 日立製作所の現地法人日立コンシューマー・プロダクト・デ・メヒコ、30インチ型級の大型カラーテレビの生産開始。月産1万台で北米へ供給。(NS) |
| 10・26 | チリ | 漁網用うきこ(フロート)メーカーの気泡材研究所、ビニャデルマル市に資本金300万ドルで日本メーカー初の現地子会社ニコン・チレーナ設立。(NS) |
| 10・26 | パラグアイ | 通産省外郭団体の日本機械デザインセンターとオリンパス光学工業などカメラ・時計の各社、来日中のオルティス・ラミレス商工次官に日本製品の商標盗用問題について善処要請。(NK・NS) |
| 10・26 | ブラジル | (~28) 日本とブラジルとの航空当局間協議、リオデジャネイロで開催、1988年5月以降のバリグ・日航の共同運航による東京・リオ間のジャンボ機の貨物混載機週1便増などについて合意。(NK・AE・YU) |
| 10・28 | メキシコ | 小糸製作所、西独ヘラー社のメキシコ法人エレクトロ・オブティカ社に、自動車用照明器の製造技術を供与。(NS) |
| 10・30 | ベネズエラ | 外務省人事、駐ベネズエラ大使に村岡邦夫日本貿易振興会理事を起用。(NE・AE・YE・ME・JT) |
| 11・3 | ペルー・ブラジル | バレーボール第2回ジャパンカップ女子世界大会で、ペルー全勝優勝。日本5位、ブラジル7位。(AH) |
| 11・4 | チリ | (~5) 日本・チリ経済委員会、日本企業がチリへの直接投資を拡大するため、投資促進会議を開催することで合意。(NK・JT) |
| 11・4 | ブラジル | 外務省人事、駐マナウス総領事に岡田昭男駐ギニア大使館参事官を任命。(NK・AH・NS) |
| 11・5 | メキシコ | 日産自動車、同国でフォルクスワーゲン社(VW)と相互に部品を供給し、補完し合うために、小型乗用車用のエンジン年間6万台分 |

| | | |
|-------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | を含む部品供給を行なうことで基本合意。(YU) |
| 11・6 | メキシコ | 村田製作所が子会社の電気音響を通じて7月に設立したムラタ・エレクトロニカ・メヒカーナ、チワワ州シウダーフアレス市に映像機器用電子部品工場を建設。(NS) |
| 11・7 | ベネズエラ | 巨人軍、サンチェ投手の解任を決定。(AH) |
| 11・7 | チリ | 亡命中の映画作家ミゲール・リティンの長編記録映画「戒厳令下チリ潜入記」、東京を皮切りに公開上映。(YE) |
| 11・12 | メキシコ | 日墨ホテル投資、両国政府と企業が合弁でメキシコ市に建設していたホテル・ニッコー・メキシコが9年越しで完成、20日から開業すると発表。(AH・YU・MN・NK) |
| 11・12 | ブラジル・ パラグアイ | この2年間だけで延べ1000人以上にのぼるブラジル移住者の日本へのUターン出稼ぎが表面化。1月には凍死者、4月には自殺者があったことが発覚。また、13日、パラグアイからも過去2年間に100人近い移住者の出稼ぎがあったことがわかる。(MN) |
| 11・14 | 蘭領アルーバ島 | 伊藤忠商事は間組、米国ハイアット・ホテル・グループ、オランダ建設会社バラスト・ネーダム社と共同で、総投資額5200万ドル(約75億円)、面積約4万6000平方メートル、360室の大型リゾートホテルを同島に建設、1990年春開業予定。(NS) |
| 11・16 | ブラジル | 日本信号、京三製作所、大同信号の3社、三井物産を通じて、ブラジル都市近郊鉄道公社からリオデジャネイロ近郊線向けの自動列車制御装置(ATC)を44億円で受注。(NE) |
| 11・16 | ブラジル | 労働省、ブラジル移住者の日本への大量出稼ぎ問題で、移住者を最も多く日本企業に送り込んでいる三協工業に対し立ち入り調査を行なった結果、労働者派遣法に抵触する疑いが強いと判断。(AH・MN・NE・YU・JT) |
| 11・17 | メキシコ | 日本長期信用銀行とバンコメール銀行、対墨直接投資協力協定に調印。日本からの企業進出のための協力、両行合弁の投資会社設立の方向で検討。(NK) |
| 11・17 | メキシコ | サントリー、海外で展開している日本料理店・レストランサントリーの14号店、メキシコ国内では3店目としてローマス地区に開店。(NS) |
| 11・17 | メキシコ | (~18)メキシコ市で第10回日本・メキシコ経済合同委員会、両国経済関係官庁担当者が出席して開催。(NK) |
| 11・17 | メキシコ・ エクアドル | 外務省人事、メキシコ大使に今井隆吉(特命中)、エクアドル大使に中山昭ヨルダン大使を任命。(NE・ME・YE・AE・JT) |
| 11・17 | パナマ | コロン市に本社のあるトランスアトランティック・ソナ・リブレ・エンタープライズ社の東京支店、1985年12月期までの5年間に23億円の申告漏れがあり、東京国税局から追徴税額11億円の更 |

| | | |
|-------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 正処分。(MN・NK・YU) |
| 11・17 | ボリビア・ブラジル | 日本電気の現地子会社NEC・ド・ブラジル、サンタクルス電話会社(COTAS)からデジタル通信網の関連設備工事、約4000万ドルを受注。(NK) |
| 11・18 | ペル | 日産自動車現地法人ペルー日産の本社工場、極左ゲリラ組織センデロ・ルミノソのメンバーとみられる30~40人の武装グループに襲われ、駆けつけた警官隊と銃撃戦。ゲリラ4人死亡、2人負傷、日本人社員6人は無事。(AH・NK・YU・MN・JT) |
| 11・19 | メキシコ | 池浦喜三郎日本興業銀行会長、アギラ・アステカ勲章ブラーカ章受賞。(NK) |
| 11・25 | ブラジル | 日本電信電話(NTT)、リオデジャネイロ駐在事務所を現地法人化、NTT・ド・ブラジルを設立、営業開始(資本金約3600万円)。(NK・YU・NS) |
| 11・26 | ペル | (~28)プレインカの染めと織物の切れ地180余点と当時の技法で制作した着物、帯約80点など、東京・銀座で展示。(AH) |
| 11・26 | アルゼンチン | (~27)日本・アルゼンチン経済合同委員会、都内のホテルで開催。アルゼンチン側のJ・ゴメス団長、日本の中小企業との合弁推進を要望。モレコス・ブエノスアイレス穀物取引所会長は日本側の輸入規制撤廃を要請。(NK) |
| 11・27 | メキシコ | (~12・10)日本貿易振興会(ジェトロ)、54の企業、機関から97人が参加するメキシコ経済交流ミッション(団長・江尻宏一郎三井物産社長)を派遣。(NS・YU) |
| 12・1 | メキシコ | 矢崎総業、シウダーフアレス市、アセンシオン市などにあるマキラドーラ工場を大巾に拡張、1990年を目標に6工場、6000人体制を完成させる予定。(NS) |
| 12・1 | アルゼンチン | 電源開発、ネウケン州コパウエ地区の地熱開発計画についての事業化調査を受注、1990年3月までに1800メートル級の調査井を掘削。(NS・YU) |
| 12・2 | ラテンアメリカ | 中南米の大使館員の夫人などで構成する日本ラテンアメリカ婦人協会、都内のホテルで恒例の「日本ラテンアメリカフェスティバル」を開催、中南米諸国の民芸品、料理などの売上金で中南米に医療器具を送る。(ME) |
| 12・2 | ブラジル | 青木建設、パラナ州カンポラルゴ郡で発見された金鉱脈に、この鉱区を所有するJR社と140万ドルを折半で出資し、調査、採掘などを担当。これによって同社は1984年からアマパ連邦直轄領で進めていた金採掘事業をさらに拡大。(NS) |
| 12・3 | バハマ | 興亜火災海上保険、資産運用の多角化と効率化を狙い、資本金2000万ドルで100%出資の投資子会社、興亜ファイア・インベ |

| | | | |
|-------|---|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12・4 | チ | リ | <p>ストメント（バハマ）リミテッドを設立すると発表。（MN）</p> <p>サンシャイン国際水族館、同国で捕獲した珍獣パンダイルカの展示水槽の前に置いた募金箱に集まった21万6000円余と他に寄付された衣類などを、同国の地震・水害の被災者に大使館を通じて贈る。（MN）</p> |
| 12・7 | メ | キシコ | <p>在メキシコ日本大使館の中庭に土地を要求する住民グループ「10月20日キャンプ・グループ」の約150人が入り込み、36時間、正面玄関前を占拠。宇野外相は「日本を狙ったものではない」と記者会見。（NE・YE・AE・JT・ME）</p> |
| 12・8 | メ | キシコ | <p>三井物産、1988年2月7日から15日までマキラドーラのティファナ市、テカテ市などを訪れ、同区に進出している日系企業の工場などを見学するミッションを企画。中小企業を対象に希望者を募り、16人を派遣する予定。（NS）</p> |
| 12・9 | ベ | ネズエラ | <p>神戸製鋼所、ガイアナ開発公社（CVG）傘下のミノルカ社が保有する還元製鉄プラントの改造工事とその後の運営業務を引き受ける契約、1億1000万ドル（約148億5000万円）に調印。（NS・NK）</p> |
| 12・10 | ベ | ネズエラ | <p>丸紅は、日立製作所、東芝、三菱電機の3社と共同で、カロニ川開発公社（EDELCA）から、マカグア水力発電所の発電機器プラント439億円を受注。（NK・YU）</p> |
| 12・11 | ペ | ル | <p>外務省人事、駐ペルー大使に妹尾正毅を起用。（NE・ME・AE・YE）</p> |
| 12・14 | メ | キシコ | <p>青木建設とソメックス銀行の企業連合、カンクンの第2期観光開発プロジェクトに関する国際入札で、総面積100ヘクタール、投資総額約4000億ペソ（232億円）の国際リゾート開発を受注。（NK・AH）</p> |
| 12・14 | メ | キシコ | <p>松下電器産業、1978年以来中断していたメキシコでの同国向けテレビ生産を88年2月から再開。全額出資子会社メキシコパナソニック（PANAMEX）の工場にラインを新設し、当初月間2000～3000台の14、21型カラーテレビを生産する予定。（NS）</p> |
| 12・15 | ブ | ラジル | <p>青木建設の現地法人、青木ホルンビ建設が1500万ドルを投じてサンパウロに建設していたアメリカ大陸最大のスーパーマーケット完成、オープン。現地大手スーパーのパエス・メンドンサが入居。（NS）</p> |
| 12・18 | チ | リ | <p>三菱商事と西独クルップ社、チリ銅公社（CODELCO）からチュキカマタ銅山用に開発機器一式110億円と追加発注分も含め、総額200億円を受注。融資リスクは日本、西独、ブラジルの3国で分担。（NK）</p> |
| 12・22 | ラ | テンアメリカ | <p>ボリビア、コスタリカ、ニカラグア他在京31カ国で結成した外国</p> |

| | | |
|-------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12・22 | ベネズエラ | 公館建設推進協議会、宇野外相を訪問し、外国公館用地を格安に提供しよう要望書を提出。(YE・AH) 三菱商事と東京銀行、同国の輸出産業に協力。三菱商事はメンドサ・グループと包括的な協力関係を結び、同グループが輸出用に計画しているセメントプラント約100億円を受注。東京銀行は同プラントの代金決済で貿易信用を供与し、同国への金融支援体制を組む。(NK) |
| 12・24 | キューバ | 天候不順で砂糖キビの生産が悪かったため、日本の商社に対し、1988年1月の粗糖船積みを延期すると通告。87年に入って5度目の通告。(NS) |
| 12・28 | アルゼンチン | 同国政府、首都移転の当面の費用調達として東京・六本木の同国大使館邸の売却を検討。(YU) |
| 12・30 | パラグアイ | 日本政府、同国に対し5億円の食糧増産援助を決め、アスンシオン市で書簡交換。(AH・NK) |

(以上253項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

| 新聞名 | 朝刊 | 夕刊 |
|----------|----|----|
| 朝日 | AH | AE |
| 毎日 | MN | ME |
| 読売 | YU | YE |
| 日本経済 | NK | NE |
| 日経産業 | NS | |
| ジャパンタイムズ | JT | |

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title | 〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1988年— |
| Author(s) | |
| Journal | イペロアメリカ研究, 11(2) |
| Issue Date | 1990-03-24 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9090 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

日本・ラテンアメリカ関係日誌 — 1988年 —

| 月日 | 国名 | 記 事 |
|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1・6 | 中南米 | 外務省人事。中南米局長に坂本重太郎氏を起用。(MN・AH・NK) |
| 1・6 | メキシコ | メキシコ国営石油会社ペメックス、同国産原油の昨年12月分の対日船積み価格について、イスマスを1バレル当り15.9ドル、マヤを同13.25ドルに設定すると日本側窓口のメキシコ石油輸入会社に通告。(NS) |
| 1・6 | メキシコ | 豊年製油、昨年、三井物産が米エル・ポヨ・ロコ社と国内企業との共同出資で設定したイーピーエルジャパンの出資会社の一つとなり、メキシコ風鶏料理ファーストフード店「エル・ポヨ・ロコ」を直営またはフランチャイジーとして出店。(NS) |
| 1・7 | アルゼンチン | 南米移民船として活躍した「あるぜんちな丸」の大型模型が、48年ぶりにブエノスアイレスから日本に里帰り。(YU) |
| 1・11 | メキシコ | ナイルス部品、米ゼネラル・オートモーティブ・スペシャリティ(GAS)と資本金2億円を対等出資し、ニュージャージー州に「ナイルスゼネラルパーツ」を設立。GASのメキシコ工場内に建屋を新設し日本車メーカーにスイッチ類を納入。(NS) |
| 1・11 | アルゼンチン | 全国農協中央会(全中)と全国農協連合会(全農)、全農が米国から輸入している飼料穀物450万トンのうち、今年、50万トンアルゼンチンなどからの輸入に切り替える方針と記者会見。(MN) |
| 1・12 | アルゼンチン | 同国の沿岸警備艇、ブエノスアイレスから約1000キロ南で不法操業していた愛媛県金重水産所属のイカ釣り漁船「第25金重丸」(299トン)をだ捕。(MN・NK) |
| 1・13 | 中南米 | 日米首脳会議にて竹下首相は、中南米諸国への経済支援を強化する意味で、200億ドル資金還流計画に沿って40億ドルを中南米向けに供給し、工業化を促進すると表明。(NK) |
| 1・14 | パナマ | (～15)日、米、パナマで構成する「パナマ運河代替案調査委員会理事会」にて、企業化調査を日本興業銀行、日本工営、米ベクテル社など3カ国6社の企業連合に委託することを決定。(YU・AH・NK) |
| 1・18 | キューバ | 国際砂糖機関(ISO)、1987年1～10月のキューバの砂糖総輸出量623万トンのうち、日本向けは21万トン(前年同期43万1千トン)と発表。(NS) |
| 1・20 | 中南米 | (～22)62年度中南米大使会議、外務省で開催。(NE・MN) |
| 1・20 | メキシコ | (～27)運輸省、旅行会社や空港会社幹部を含む官民約40人からなる海外旅行促進代表団を同国に派遣。(AH・NK・JT) |

| | | |
|------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1・21 | アルゼンチン・ パラグアイ | 日本輸出入銀行、両国が水力発電事業のために共同出資して設立した公団向けバイヤーズ・クレジット（直接輸入信用）融資限度額95億4100万円の契約に調印。（NK） |
| 1・25 | メキシコ | ホセ・ガリア大蔵省国庫局長が来日し内海大蔵省国際金融局長と会談。2月19日に予定される同国の国債入札に関する税制面での協力を要請。（AH・NK・MN） |
| 1・27 | チリ | 伊藤忠商事、インベルシオーネス・フォレスタレス・C C A社と提携、10年間にわたる長期契約で毎年、ユーカリ、ビーチ（ブナ）のチップを30万トン輸入。 |
| 2・1 | キューバ | 国際電信電話（KDD）、同国間に国際ダイヤル通話サービスを開始。（NS） |
| 2・2 | パナマ | ウォール・ストリート・ジャーナル紙、韓国人実業家の朴東宣氏がパナマ運河の権益をめぐる日本とパナマの仲介に一役かと報道。（YU） |
| 2・5 | メキシコ | 邦銀各行、メキシコ政府が累積債務軽減策のひとつとして発行する新型債券の発行を了解する旨、通知。（NK・JT） |
| 2・6 | メキシコ | 関東精器の米子会社カンタス・コーポレーション、メキシコ日産に小型乗用車「サニー」向けの樹脂部品を輸出。（NS） |
| 2・6 | メキシコ | 大蔵省、メキシコ政府の発行する新型債券100億ドルへの邦銀の入札参加を促す方針。（ME） |
| 2・8 | ブラジル | 丸紅の春名和雄会長、日本人で3人目の「南十字星勲賞」受賞。（NK） |
| 2・10 | ジャマイカ | マレーシア政府と三菱グループの合併自動車メーカー、プロトン、同社の「サガ」セダン・タイプをジャマイカに輸出。（NS） |
| 2・10 | グアテマラ | 政府、同国にはじめての円借款58億7500万円供与の書簡交換。（NK） |
| 2・10 | ウルグアイ | セルビーノ経済財務相、国内経済開発のため、日本企業の進出を歓迎すると記者会見。（NK） |
| 2・10 | ブラジル | シンガーソングライター、ジョイス、2度目の来日公演。（ME） |
| 2・16 | ブラジル | 政府、同国の水害に救援物資28万ドル相当、見舞金15万ドルを緊急援助。（YE・NE・YE） |
| 2・16 | ブラジル | サッカー日本リーグ2部の日立製作所、元ブラジル代表のゼ・セルジオと契約。（AH） |
| 2・16 | チリ | エスコンディーダ銅鉱床を開発中の日英豪企業連合が、日本の銅精錬7社と年間430万トンの売買契約を締結。（NS・MN・AH） |
| 2・17 | メキシコ | 本田技研工業の現地子会社ホンダ・デ・メヒコ、対米輸出用スクーター「CH80」およびメキシコ国内用「CBR1000F」の生産開始。（NK） |
| 2・19 | メキシコ | キャノン、同国北部国境地帯のマキラドーラに業務用機器工場の建設を計画。（MN・NE） |

| | | |
|------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2・20 | 中 南 米 | 通産省、中南米の累積債務問題の解決策を検討するため、省内に研究会を設置。(MN・NK) |
| 2・22 | アルゼンチン | 日本輸出入銀行と邦銀4行、アルゼンチン石油公社向けにアンタイドローン限度額676億円を供与する契約調印。(NK) |
| 2・23 | 蘭領アルバ島 | 旅行代理店ジャム・エンタープライズ、同島のマンチェボ・ビーチホテルと提携、日本人観光客が現地の教会で結婚式を挙げる手配や旅行事業を展開。(NS) |
| 2・24 | 中 南 米 | 来日中の国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会のアンドレス・ビアンキ経済開発部長、中南米の資本流出防止のため先進国の協力を要請。(NK) |
| 2・26 | パ ナ マ | ノリエガ將軍の腹心と言われたホセ・ブランドン前駐ニューヨーク総領事、共同通信とのインタビューで、將軍は朴東宣氏を使って竹下首相らに対日工作をし、青木建設入札に便宜をはかり、選挙資金を受けたと暴露。日本政府、青木建設は否定。(MN・NK・AH・YU) |
| 2・26 | メ キ シ コ | 債務の債券化計画に伴う銀行を対象にした売却入札に、債権を持つ邦銀28行中27行が参加。全体の応札額は10億ドル程度の模様。 (AE・NE・YE・MN) |
| 2・27 | メ キ シ コ | 人形劇研究家屋野サエさん、メキシコの貧しい子供達のために私財を投じて現地に人形劇場を建設、2年後の完成を目指して渡墨。 (ME) |
| 2・28 | ブ ラ ジ ル | 日米欧民間銀行国と同国政府、ブラジル債務救済策をめぐり、中期融資を軸とする総額64億ドルの追加融資を実施することで合意。利払いも全面的再開。(NE・AE・ME) |
| 3・1 | パ ラ グ ア イ | 外務省人事、パラグアイ大使に中曾根悟郎氏。(YE・AE・NE・ME) |
| 3・2 | ブ ラ ジ ル | 本田技研工業の現地法人モト・ホンダ・ダ・アマゾニア、2輪車の年間生産を14万5000台、前年比20.8%増と大幅拡大の計画。(NS) |
| 3・3 | ブ ラ ジ ル | 吉田工業、現地法人アグロ・ペクアリア・ヨシダ社が経営する農牧場からコーヒー30トンを入力販売予定と発表。(NS) |
| 3・3 | メ キ シ コ | 丸紅、台湾企業のメキシコ保税區進出に協力。(NK) |
| 3・3 | メ キ シ コ | メキシコ国営石油会社ペメックス、同国産原油の二月分対日船積価格を1バーレル当り12.83ドルに下げる旨通告。(NE) |
| 3・4 | メ キ シ コ | メキシコ債務、落札総額36億ドルのうち邦銀勢の落札は5億ドル前後。(NE・MN・AH・YU・JT) |
| 3・4 | コ ロ ン ビ ア | (～8日)ルイス・フェルナンド・アラルコン・コロンビア蔵相来日。(YU) |
| 3・4 | パ ナ マ | 外務省首脳、パナマのノリエガ將軍派のソリス大統領代行が率いる新政權を認める姿勢を明らかに。(NK・YU・MN) |
| 3・5 | ブ ラ ジ ル | ブラジル日商岩井、現地メーカー、ミュラー社製の農業用トラクタ |

| | | | |
|------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | —45万ドル相当をスーダンに初輸出。(NS) |
| 3・5 | ペ | ル | ー ホセ・カルロス・マリアテギの初の邦訳本『ペルーの現実解釈のための七試論』の出版記念パーティーがマリアテギの孫を迎えて開催。 (ME) |
| 3・5 | パ | ナ | マ 米政府、日本によるソリス政権承認に懸念を表明。(MN・YE・ME ・AE) |
| 3・6 | ジ | ャ | マ イ カ (～17日) エリック・フランク・フランシス・ジャマイカ外務省次 官、鈴木元首相ら政財界人と懇談、協議。(YU) |
| 3・8 | エ | ク | ア ド ル 三菱自動車工業、現地組み立てメーカー、マレサ社に生産を委託し、 年産 750台の計画で1500cc級「ランサー・フィオーレ」「ランサ ー・ワゴン」の生産に着手。(NS) |
| 3・9 | メ | キ | シ コ 新型債券の入札で邦銀の落札額が8億5000万～9億ドルに達したこ とが明らかに。メキシコ政府発表の落札総額は36億6500万ドルで邦 銀のシェアは4分の1近くに。(NK) |
| 3・9 | コ | ロ | ン ビ ア 来日中のルイス・アラルコン蔵相、記者会見にて3億ドルの輸銀ア ンタイトローン受け入れを発表。(NK・AH・JT) |
| 3・9 | 中 | | 米 (～11) 外務省と国際協力事業団、中米5カ国代表を招き「中米人 づくりセミナー」開催。(MN・YU) |
| 3・10 | ニ | カ | ラ グ ア 来日中のエルネスト・カルデナル文相、コントラとニカラグア政府 との間の停戦交渉に悲観的見解を表明。(AH・MN) |
| 3・11 | ラ | テ | ン ア メ リ カ 通産省、海外投資保険制度にハイリスク型を導入する方針を固め、 メキシコ・ブラジルを保険対象に加え、64年度より実施。(NK) |
| 3・11 | ベ | ネ | ズ エ ラ 外務省人事、退職、滝口古亮前ベネズエラ大使。(AE・MN) |
| 3・14 | チ | | リ 同国産ブドウの輸入解禁。(NE) |
| 3・16 | パ | ナ | マ 政情不安を避けるため、11日までに在留邦人約 700人のうち 216人 が国外に脱出。(NK) |
| 3・16 | エ | ク | ア ド ル (～25) エルナン・クエバ・エジグレン・エクアドル外務省経済振 興・基礎産品局長来日。(YU) |
| 3・17 | パ | ナ | マ パナマ運河を通る日本向け海上運送契約が一週間中断。(NK) |
| 3・18 | コ | ス | タ リ カ 外務省人事、駐コスタリカ大使に多田敏孝前駐ラオス大使を起用。 (NE・YE・ME・AH) |
| 3・19 | ニ | カ | ラ グ ア 外務省中南米局長、ニカラグアのウエソ駐日大使に、ニカラグア軍 のホンジュラス領内侵入が事実ならば遺憾である旨、表明。(MN) |
| 3・21 | コ | ロ | ン ビ ア 三菱自動車工業、CCA(コンパーニャ・コロンビアナ・アウトモ トリス)社に、ジープ型4WD車「パジェロ」を年産 500台程度生 産委託。(NS) |
| 3・23 | パ | ナ | マ 外務省、政情不安の続くパナマへの渡航を控えるよう発表。(MN・ NK) |

| | | |
|------|--------|----------------------------------------------------------------|
| 3・24 | アルゼンチン | ブグリエッセ・アルゼンチン下院議長ら首相訪問。(AH・YU) |
| 3・25 | ベネズエラ | 日刊紙「エル・ナシオナル」のベナビデス編集長、「エル・ユニベルサル」のジョレンス編集次長が官邸訪問。(NK・MN・YU) |
| 3・25 | キューバ | キューバ、日本と中国に対し、砂糖(粗糖)輸出の再延期を要請。 |
| 3・26 | メキシコ | 対メキシコ累積債務の一部につき、返済繰り延べ金利を平均年 8.0%から同 6.1%に引き下げ。(MN・NK) |
| 3・26 | アルゼンチン | 本田技研工業に輸入販売会社ホンダ・モトール・デ・アルヘンティーナを製造会社に社替えし、125ccの2輪車の生産開始。(NS) |
| 3・29 | バハマ | リンデン・ピンドリング首相兼蔵相が竹下首相と会談。(YU・NK・MN・AH) |
| 3・30 | メキシコ | 日本輸出入銀行、メキシコナショナル銀行への30億円を限度とする投資バンクローンの供与に調印。(NK) |
| 4・1 | ベネズエラ | 外務省人事、駐ベネズエラ大使館参事官に石崎辰雄氏を起用。(NK・NS) |
| 4・2 | メキシコ | 中村扇雀ら歌舞伎一座が修好通商条約締結百周年を記念に公演。(ME) |
| 4・4 | 中米・カリブ | 日本郵船と川崎汽船、日本・極東-中米西岸・カリブ海航路で共同配船契約締結。(NS) |
| 4・4 | ブラジル | 東京都保谷市の老人ホームがブラジル移民「南米孤老」の里帰り事業を実施。(ME) |
| 4・5 | ベネズエラ | (~9日)ルシンチ大統領が国賓として公式訪問。(AH・MN・YU・NK) |
| 4・5 | ベネズエラ | 朝日国際児童図書普及賞の初の受賞団体にベネズエラのバンコ・デル・リプロが選出される。(AH) |
| 4・7 | ベネズエラ | 宇野外相と同国のカリヨ外相、技術協定に調印。(MK・YU・AH) |
| 4・8 | ベネズエラ | 日本輸出入銀行、IDBとの協調融資により同国へ140億円を限度とするアンタイドローンの供与を決め、7日調印。(NK) |
| 4・11 | ブラジル | 日本生まれの日系人として初の大学教授になった鈴木悌一氏(元サンパウロ大学教授)が里帰りし、個展開催。(AE) |
| 4・12 | ブラジル | 都、ブラジル政府に対しリオ水害への義援金300万円を贈与。(ME) |
| 4・14 | メキシコ | クエルナバカにある日産自動車組み立て工場労組、会社側の賃上げ提案を拒否し4月1日からストを続行。(MN) |
| 4・14 | パナマ | パナマの政情不安長期化の中で日米パナマ三国共同事業として発足直前だった第2パナマ運河計画がストップ。(MN) |
| 4・19 | ブラジル | 東日本旅客鉄道(JR東日本)、ブラジル製の列車用車輪を試験的に採用。(NS) |
| 4・20 | 中南米 | 世銀中南米セミナー、経団連会館にて開催。(NK) |
| 4・20 | パナマ | 63年度輸出船受注は86%増。約6割が日本船主。(NK) |

| | | | |
|------|-------|---|---------------------------------------------------------------------------|
| 4・20 | ペル | ー | 海外9ヶ国の日系人協会の代表らが一堂に会する第29回海外日系人大会が東京で開催。(AE・YE) |
| 4・21 | メキシコ | | 三菱重工業は三菱商事と共同でメキシコ電力庁から出力6万キロワットのディーゼル発電プラントを受注。(NS) |
| 4・21 | 中南米 | | 世銀副総裁、中南米への日本の融資協力及び中南米からの輸入拡充の必要性を強調。(AH・MN) |
| 4・22 | パラグアイ | | 佐々木芳郎写真展「インディオたちの聖像」、パラグアイの「イエズス会伝道村」遺跡と彫刻の写真約45点展示。(ME) |
| 4・23 | チリ | | 三菱金属など銅精練メーカー7社、チリのエスコンディータ銅鉱山開発のための投融資会社「エス・エフ・シー」を設立。(AH・NS) |
| 4・26 | チリ | | 日本製紙連合会に加盟する紙メーカー18社がチリ産チップ輸入の事業化調査に乗り出す。(NS) |
| 4・26 | 中南米 | | イグレシアス米州開発銀行総裁、竹下首相を訪問し、日本の対ラテンアメリカ経済協力に感謝。(MN・NK・YU) |
| 4・27 | 中米 | | コスタリカなど中米諸国、日本から中米への経済協力促進のため日本-中米経済協力委員会を設置するよう提案。(NK) |
| 4・30 | メキシコ | | 本田技研工業、乗用車「アコード」の米国向大型補修部品の生産を、日本からメキシコに全面移管。(NS) |
| 4・30 | メキシコ | | 帝国ホテルで「メキシコフェスティバル」開催。メキシコ料理を提供し、民族音楽を披露。(NS) |
| 5・1 | メキシコ | | 外務省人事、駐メキシコ大使館参事官に兼川信夫氏を起用。(NK) |
| 5・2 | メキシコ | | コロンブスのサンタマリア号同様の三本マストの船が日本とメキシコとの修好百周年を記念して日本に向け太平洋横断航海に出航。(MN) |
| 5・2 | ブラジル | | 日本経済新聞社とブラジルのガゼッタ・メルカンチル社の共催で、「日伯経済シンポジウム」がサンパウロ市で開催。テーマは「日伯新しい協力の道」。(NK) |
| 5・2 | ニカラグア | | エルネスト・カルデナル文化大臣、絵画展のテープカットの為来日。二週間にわたる滞在中、各地での講演会、懇談会に出席。(AE) |
| 5・2 | アンデス | | 南米染織研究家、山本悦子さん、中央アンデスと源流アマゾンの染織展開催。(YU) |
| 5・3 | ベネズエラ | | 日本電気、ベネズエラ通信公社(CANTV)とデジタル式局用交換機65,000回線分の納入契約締結。(NK) |
| 5・6 | メキシコ | | メヒコ・イマジネーション展開幕。メキシコ在住の画家飛田忍氏の水彩画、メキシコ現代作家の作品、画家神作文夫氏の作品を展示。(ME) |
| 5・6 | ブラジル | | ブラジル外務省、小村康一駐ブラジル大使を外務省に呼び、同大使が最近「投資家はブラジルから逃げ出している」と発言したことに |

| | | | | | |
|------|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | ついて不快の念を表明。(AE) | | |
| 5・9 | チ | リ | 漁網最大手、日本製網、10月末完成をめざしチリ工場建設に着手。 (NK) | | |
| 5・9 | ペ | ル | ー | 第1回アンデス縦断ラリーを取材中の日本人記者三人がトラックの 転覆事故で負傷。(YE) | |
| 5・9 | 南 | 米 | アルゼンチン、ボリビア、ペルーの南米三カ国が日本に対し、三カ 国を結ぶ大陸横断鉄道の修復・建設への協力を要請。(NK) | | |
| 5・10 | チ | リ | チリの有力銀行、バンコ・デ・チレのアドルフォ・ロハス頭取来日。 チリでリース会社に共同出資しているオリエントリース、都内の銀 行・商社等を訪問。(AH) | | |
| 5・13 | ブ | ラ | ジ | ル | 日本の男子バレーボールチーム、ブラジル、イタリア遠征に出発。 ブラジルチームとの2試合のうち第一戦は慈善試合とし、入場料は 全額「日伯友好病院」の建設に寄付。(YE) |
| 5・13 | パ | ナ | マ | 宇野外相、閣議にて米国の経済制裁のために貧困層が深刻な食糧危 機に陥っているパナマへの総額2700万円の緊急援助の供与を報告。 (NE・YE・AE) | |
| 5・13 | 南 | 米 | 三井物産系の国際宅配便会社パンサー・エクスプレス・インターナ ショナル、欧米のクーリエサービス(国際航空便)会社と提携し、 アフリカと中南米向けのサービスを開始。(NS) | | |
| 5・15 | パ | ラ | グ | アイ | 兼松江商、南米の大手建設会社とコンソーシアムを組み、同国電力 庁から大型の送変電プロジェクトを受注。(NK) |
| 5・17 | 中 | 南 | 米 | 松下電器産業、一カ国一社体制確立のため、グアテマラ、エルサル バドル、コスタリカ、アルゼンチンの製造会社と販売会社を合併。 | |
| 5・18 | ペ | ル | ー | ペルーの日系二世で同国体育庁長官の丸井ヘラルド氏が日本人移住 90周年の祝典委員長として来日し、ペルー日系人協会名誉顧問 の金丸信自民党副総裁らと会談。(NE) | |
| 5・18 | エ | ク | ア | ドル | 自民党代議士の武藤嘉文氏、エクアドル政府から最高位の「エクア ドル共和国大十字勲賞」を日本人として初めて授与。(AE) |
| 5・18 | アル | ゼン | チン | 元アルゼンチン大使 津田正夫氏死去。 | |
| 5・19 | アル | ゼン | チン | 日本のイカ釣り漁船第51善主丸が、同国の経済水域内で違法操業を した疑いで、だ捕される。(AE) | |
| 5・24 | ブ | ラ | ジ | ル | 現代ポップスのスーパースター、ミルトン・ナシメントが初来日。 (AE) |
| 5・24 | メ | キ | シ | コ | 星電器製造は年内をメドに英国とメキシコに情報通信機器関係の部 品工場を新設する方針。(NS) |
| 5・25 | パ | ラ | グ | アイ | 音楽トリオ、ロス・バルボーサが来日公演。(AE) |
| 5・25 | ブ | ラ | ジ | ル | 普通線材の4-5月の輸入量が、ブラジル、インドネシア製を中心 に、前年同期の2倍近い18万トン前後に達することが確実に。(NS) |

| | | |
|------|--------|----------------------------------------------------------------------------|
| 5・27 | メキシコ | ミズノ、北米市場向けのゴルフバッグの生産工場をメキシコに建設。今年末に稼働予定。(NS) |
| 5・27 | ブラジル | ブラジルの若い女性たちを、「モデル」や「ショーダンサー」として日本に送り込んでいたサンパウロ在住の日本人2人がブラジル警察当局に拘束。(AE) |
| 5・27 | ペルー | 「ファミリア・ロドリゲス」来日公演。(YU) |
| 5・28 | カリブ | 飲食店企画・運営会社のエー・プロジェクトが、米ニューヨークの店舗デザイナー、サム・ロペタと組みカリブ海をテーマにしたレストランを開店。(NS) |
| 5・29 | キューバ | 第25回NHK杯国際女子バレー大会にて、キューバは日本を3-2で破る。(AH) |
| 5・30 | ブラジル | ブラジルの強豪フラメンゴなど海外3チームを招いての国際サッカー大会(キリン杯)開幕。(AH) |
| 5・31 | バハマ | 日本郵船、1990年にスタートする客船事業に備えて、7月にも客船保有会社をバハマに、設立する予定。(NS) |
| 5・31 | アルゼンチン | 元アルゼンチン大使大久保利隆氏30日死去。 |
| 6・1 | アルゼンチン | 竹下首相国連本部でアルフォンシン・アルゼンチン大統領と会談。(ME・YE・NE・JT) |
| 6・2 | アルゼンチン | モダンタンゴの巨匠アストル・ピアソラとミルバの共演による「エル・タンゴ」来日。(AE) |
| 6・3 | コロンビア | 国立民族舞踊団が来日。(AE) |
| 6・5 | ペルー | 東銀、ペルーから撤退。(AH・MN) |
| 6・6 | メキシコ | 育児器具製造卸の大手、アップリカ葛西(本社大阪市、社長葛西健蔵氏)、スペインとメキシコで現地の育児器具メーカーと共同で、工場を建設する方針。(NK) |
| 6・7 | ブラジル | ブラジル政府、日本政府に対して円借款を含む公的な資金協力の再開を要請。(NK) |
| 6・7 | メキシコ | 日産自動車メキシコで初の新車販売シェアトップを達成。(NS) |
| 6・11 | チリ | 日本輸出入銀行と邦銀16行、ペウエンチエ水力発電会社に対して円建て協調融資契約に調印。(NK) |
| 6・11 | コロンビア | 駐日コロンビア大使夫人ルス・ビクトリア展を南青山ギャラリーラミアで開催。(YE) |
| 6・12 | ブラジル | (~18日)日本移民80年祭開催。(NK) |
| 6・13 | アルゼンチン | 飛行機墜落。日本人2人を含む22人死亡。(AE・ME・YE) |
| 6・14 | ブラジル | 福田元首相、移民80年祭に出席のため同国を訪問。(YU) |
| 6・14 | ブラジル | 森英恵さん、「エキスポ・日伯80年」の開会式でファッションショー。(AE) |
| 6・15 | メキシコ | 日本の石油業界が米独立系の大手石油会社テネコと共同でメキシコ |

| | | |
|------|-------|---------------------------------------------------------------------------|
| | | 湾で石油の探鉱開発に乗り出す。(NK) |
| 6・15 | ブラジル | 移民80年祭に出席のため、礼宮さま同国訪問。(YU・AH・NK・YE) |
| 6・16 | ブラジル | 移民80年祭に出席のため、渡辺政調会長同国訪問。(AH・YU) |
| 6・17 | コスタリカ | ハワイ沖で操業中の岩手県釜石市のマグロ漁船第128欣栄丸が太平洋を4カ月以上も漂流していた同国の漁船乗組員5人を救助。 (MN・AH・AE) |
| 6・17 | ブラジル | 三洋証券、同国の証券会社「ソール・ナッセンテ」の経営に参加。 (AH・NK) |
| 6・17 | ブラジル | サンバ歌手フンド・ジ・キンタルとイボニ・ララが来日公演。(AE) |
| 6・17 | メキシコ | OA用リボンメーカーのゼネラル、メキシコのマキラドーラにて近く生産を開始し米国市場に供給予定。(NS) |
| 6・18 | ブラジル | 東京銀行の子会社ブラジル東京銀行とブラジル東銀リース、サンパウロ州のジュンジャイ市とカンピーナス市に支店を開設。(NK) |
| 6・18 | ブラジル | 日米欧民間銀行団とブラジル政府は同国の債務救済交渉をめくり新規融資の実施、既存債務と振り替える新型債券の発行などで最終合意に到達。(AH・NK) |
| 6・21 | パナマ | キャノン、同国に設立したペーパーカンパニーを利用しての約13億円の所得隠しを含む20億円の申告漏れのため、更生処分を受ける。 (AE・YE) |
| 6・21 | ブラジル | 日本企業19社で構成する日伯紙パルプ資源開発、同国政府と共同で1991年稼働を目指し大型パルプ工場を建設。(NK) |
| 6・21 | メキシコ | セイコーエプソン、チワワ州で眼鏡用のプラスチックレンズの生産を開始。(NS) |
| 6・24 | パナマ | 沢井駐パナマ大使、日本政府の訓令に基づきソリス政権のリッテル外相を表敬訪問し、同政権と正常な外交関係を持つとの日本政府の方針を伝達。(AE・YU) |
| 6・24 | コロンビア | 同国の「陸の運河」構想に外務省が積極的に支援することを決定。7月16日から現地に調査団を派遣。(AH) |
| 6・25 | メキシコ | 同国政府とメキシコ国立貿易銀行、対日輸出の拡大と日本の対墨投資促進を目的として「訪日メキシコ経済交流ミッション」を派遣。 (NS) |
| 6・25 | メキシコ | 日本とメキシコの修好百周年記念事業として4月末メキシコを出港した「マリガラランテ号」が日本最初の寄港地鹿児島に到着。(YE) |
| 6・25 | キューバ | 日本の商社に対し豪雨のため工場から港までの輸送手段が不通になったとして、6～7月の粗糖の船積みを延期したいと正式に要請。 (NK・NE) |
| 6・29 | ベネズエラ | 日本貿易振興会(ジェトロ)、ベネズエラ貿易庁ベネズエラ輸出協会との共催で「ベネズエラ展」を開催。(NS) |

| | | |
|------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6・29 | メキシコ | メキシコ国立銀行総裁が駐日大使館にて記者会見し、「対日輸出を促進し日本からの投資を歓迎する」と強調。(MN・JT) |
| 6・29 | ブラジル | ノブレガ蔵相が訪日し、日本に55億ドルに上る融資を要請すると発表。(NE・JT) |
| 6・29 | ペルー | 東銀など5行、対ペルー、リベリア向け債権の初の無税償却。(NK) |
| 6・30 | ブラジル | ブラジル移民80周年を記念して、「移民一世の肖像日遙かなる祖国」ブラジル写真展がサンパウロ美術館で開幕。(MN) |
| 7・2 | ブラジル | 日伯合弁鉄鋼事業ウジミナス製鉄所の民営化を決定。(NE) |
| 7・2 | ブラジル | サンパウロ市を舞台に「日本移民80年祭」開催。同日、「日伯友好病院」が落成。(YE) |
| 7・3 | アルゼンチン | 日本や欧米などの債権銀行団に対する利払いを再開。(MN) |
| 7・4 | キューバ | 日航商事が同国から冷凍マグロを初めて輸入。(NS) |
| 7・4 | メキシコ | 日産自動車系の計器盤メーカー関東精器、同国の自動車部品メーカー、アルコメックス社にワイヤーハーネスの製造技術を供与。(NS) |
| 7・5 | ブラジル | 来日中のノブレが蔵相、宮沢副総理・蔵相と会談し、ブラジルに対する公的融資の返済繰り延べと新たな資金援助について日本政府の協力を要請。(YU・NK・MN・AH・JT) |
| 7・6 | ブラジル | 来日中のノブレ蔵相、宇野外相を訪れ鉄鋼、灌漑など19プロジェクトを対象とする55億ドルの新規融資を要請。(AH・NK・MN・JT) |
| 7・6 | ブラジル | 三井物産など大手商社や製油各社が4年ぶりにブラジル産などの大豆油の輸入にのり出す。(NK) |
| 7・7 | アルゼンチン | 警視庁公安部は、アルゼンチンの偽造旅券で入国した韓国人の男女三人を出入国管理及び難民認定法違反の疑いで逮捕し、アルゼンチン国内に大がかりな旅券偽造組織が存在するものとみて、実態の解明を開始。(MN・NE・YE) |
| 7・8 | ベネズエラ | (～27日) ジェトロ池袋展示場にてベネズエラ展開幕。(MN) |
| 7・11 | ブラジル | 歌手ジルベルト・ジルの招きにより、フュージョンバンド・カシオペアがブラジルで公演。(ME) |
| 7・11 | ブラジル | ブラジル移民80周年を記念した「兵庫県教職員日伯教育文化交流使節団」の団長として訪伯した同県教職員組合委員長の石井亮一氏、グランクルス賞受賞。(ME) |
| 7・11 | ブラジル | 美家古食品、ブラジル日系人が経営する農場との間に日本向けのコーヒーを栽培・加工する合弁会社を設立。(NS) |
| 7・12 | メキシコ | 旭硝子、米国の大手ガラスメーカー、コーニング社と合弁で米国、欧州、メキシコでブラウン管用ガラスバルブを製造する会社を10月初旬に設立すると発表。(AH) |
| 7・16 | コロンビア | コロンビア・日本商工会議所が開設。(NS) |

| | | |
|------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 7・18 | ブラジル | NKKと丸紅、副原料調達をにらみブラジル企業への出資比率を引き上げ。(NK) |
| 7・18 | ブラジル | 人気女性歌手ガルコスタが、8年ぶりに来日。(AE) |
| 7・19 | メキシコ | 来日中のセプルベダ・メキシコ外相、竹下首相、宇野外相と相次いで会談し、累積債務問題解決に協力を要請。(NK・YU) |
| 7・21 | 中南米 | 東京銀行、中南米の累積債務国に対する民間銀行の債権の売買や仲介を専門とする部門をニューヨーク支店に設立。(AH) |
| 7・22 | ブラジル | 不二越、ブラジルの中径ベアリング工場を来春までに拡張し生産量を約7割増大すると発表。(NS) |
| 7・23 | ジャマイカ | レゲエ・ジャパンスプラッシュ開幕。ジャマイカからは人気DJのアドミラル・ベイリーとルーテナント・スティッチー、歌手のリロイ・シプルスほか来日。(AE) |
| 7・26 | チリ | 日本輸出入銀行、国際金融公社や西独復興金融公庫などとともに入会スコンディーダ鉱山会社との間で総額6億8000万ドル(約890億円)のプロジェクト融資契約に調印。(MN・NK) |
| 7・26 | キューバ | ニューポート・ジャズ・フェスティバル・イン斑尾にサルサの女王と呼ばれる歌手セリア・クルースが来日。(YE) |
| 7・26 | コスタリカ | 外務省人事、多田敏孝コスタリカ大使がエルサバドル大使を兼任。 |
| 7・27 | 中南米 | NHKの国際放送「ラジオ日本」、南米仏領ギアナのモンシネリ送信所から中南米向けに4時間半の放送中継を開始。(ME) |
| 7・29 | メキシコ | 米国の経営コンサルタント会社が日本語版の「マキラドーラ・ハンドブック」を出版。(NS) |
| 8・2 | ブラジル | 債権国会議は公的債権約50億ドルを10年間(5年間据え置き)繰り延べることで合意。日本分は約12億ドルで過去最高の繰り延べ額に。(YU) |
| 8・3 | ブラジル | 吉田工業(YKK)、同国での事業を拡大し来年にも工作機械、アルミ建材の生産を開始すると発表。(NK) |
| 8・5 | チリ | チリ政府と日米欧民間債権銀行団、同国の対外債務百億ドルについて金利を引き下げることで合意。(NE・JT) |
| 8・5 | ブラジル | キリンビール、ブラジルのコチア産業組合中央会とジャガイモのマイクロチューバ(超小型イモ)の実用化に向けた共同研究に乗り出す。(NS) |
| 8・10 | パナマ | 駐日パナマ大使あて短銃入りの小包届く。(AE・ME) |
| 8・12 | ブラジル | ブラジル債権銀行団委員会、新規融資の邦銀シェア20%に。(NK) |
| 8・15 | アルゼンチン | 東京の大使館売却について三井信託銀行とのコンサルタント契約に調印。(ME) |
| 8・16 | メキシコ | 宇野外相メキシコ訪問。(AH・MN・AE・ME) |
| 8・17 | メキシコ | 日墨修好100周年記念式典がメキシコ外務省にて開催。(YE・ME・ |

| | | |
|------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| | | AE・NK) |
| 8・17 | アルゼンチン | 日本政府に対し4億ドルの新規融資を要請する考えを明らかに。 (NE) |
| 8・17 | ブラジル | 「開かれた日本人学校」をめざし同国で海外初の研究指定校を設けることに決定。(NE) |
| 8・18 | ベネズエラ | 邦銀11行と国際金融公社が同国の民間製鉄会社に7300万ドルの協調融資をすることに合意。(MN・NK) |
| 8・18 | ブラジル | 大蔵省、邦銀28行の出資による途上国債権買い取り会社「JBAインベストメント」に対し、新たに対ブラジル債権の買い取りを認める方針を固める。(YU) |
| 8・18 | ブラジル | 味の素、ブラジルの現地法人ブラジル味の素でうまみ調味料二種類を開発し、発売。(NS) |
| 8・19 | メキシコ | メキシコ住友商事会社を解雇された元従業員、社長を脅し逮捕。 |
| 8・20 | メキシコ | 外務省人事、駐サンパウロ総領事に丸山俊二氏を起用。(NS・NK) |
| 8・24 | ホンジュラス | ロペス・ホンジュラス外相来日。(NK・MN) |
| 8・24 | ブラジル | 三菱重工業、ブラジルの子会社、CBC重工業を生産拠点にタイヤ機械の米国への輸出を開始。(NS) |
| 8・25 | ブラジル | 伊藤忠商事、オレンジとオレンジ果汁の輸入自由化に備え、ブラジル産のオレンジの三国間取引を開始。(NS) |
| 8・26 | キューバ | キューバの音楽グループ「シェラ・マエストラ」が初来日。(AE) |
| 8・27 | アルゼンチン | アルゼンチン海軍の練習艦(帆船)リベルタが18年ぶりに来航。 (AH・ME・YE) |
| 8・27 | ペルー | ペルー海軍の潜水艦が日本漁船と衝突し沈没。(ME・AE) |
| 8・30 | ブラジル | 対外累積債務軽減のため同国が導入した「債務の証券化」の6回目の競売がリオ・デ・ジャネイロで実施。住友信託銀行が日本の信託銀行として初めてあっせん成功。(NE) |
| 8・31 | メキシコ | 古河電気工業、インダストリアス・ナコブレ社と冷蔵庫などの冷却機器用銅管の製造で提携。(NS・NK・YU) |
| 9・1 | メキシコ | 東北パイオニア、スピーカーの保税加工工場の建設を開始。(NS) |
| 9・1 | チリ | 外務省人事、駐チリ大使館参事官に久保光弘氏を起用。(NS) |
| 9・1 | メキシコ | モニカ・エルネスティーナ・コバルビーアス・ドパールさんが古都グアダハララの民族舞踊団とともに公演。(YE) |
| 9・2 | ブラジル | 高校野球日本選抜チーム、同国訪問。(AH) |
| 9・5 | アルゼンチン | 歌手グラシェラ・スサーナさんがアジアと南米の留学生40余人を招いてチャリティーコンサートを開催。(AE) |
| 9・6 | ブラジル | 大蔵省、邦銀のブラジル向け債権の売却を11月にも認めることを決定。(NK) |
| 9・9 | ブラジル | 広島で開催された国際男子バレーボール日本ーブラジル戦にて、日 |

| | | |
|------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------|
| | | 本は3-0のストレート勝。(AH) |
| 9・10 | メキシコ | いすゞ、GMメキシコから排気量2800ccのV型6気筒エンジンを調達、1989年型モデルから搭載。(NS) |
| 9・13 | チリ・コロンビア | 日本通運、中南米を中心に発着する航空、海運貨物の取り扱いを強化するため両国に進出。(NS) |
| 9・13 | グアテマラ | 外務省人事、グアテマラ大使に小野純男氏を起用。(AE・YE・NE・ME) |
| 9・14 | コロンビア | 3年前の大噴火で犠牲になった子供達の霊を慰めるため、猪師寛子さんが、ブロンズ像「平和の芽」を作り被災地アルメロ市に寄贈。(AH) |
| 9・15 | パラグアイ | 外務省人事、駐パラグアイ大使館参事官に、船越博氏を起用。(NK・MN) |
| 9・15 | ペルー | 外務省人事、駐ペルー大使館参事官駐リマ総領事に埴哲夫氏を起用。(NK・MN) |
| 9・16 | コスタリカ | 政府、在コスタリカの中米難民を救済するため同国政府に乾パン51万食を緊急援助することを決定。(AE・NE) |
| 9・19 | ハイチ | 三井物産、繊維事業での新卒の対米戦略として、同国で子供服の縫製加工に乗り出し、米国の大手量販店に製品を直納予定。(NS) |
| 9・21 | ジャマイカ | 政府は同国のハリケーン災害に1600万円相当の緊急援助を供与するとともに国際緊急援助隊の医療チーム8人を派遣。(NE) |
| 9・22 | ブラジル | 日米欧民間銀行団とブラジル政府が総額820億ドルの包括債務繰り延べと新規融資契約に正式調印。(NE・AE) |
| 9・26 | アルゼンチン・ ブラジル | 日銀総裁、日本輸出入銀行の機能を拡充し、国際通貨基金(IMF)との協調融資を実施して、アルゼンチンやブラジルなどの中所得債務国を支援すると表明。(NE) |
| 9・27 | ブラジル | 西濃運輸、10月にもブラジルに現地法人「ブラジルセイノー」(仮称)を設立予定。(NS) |
| 9・27 | ブラジル | 鳥羽水族館、サンパウロ州にあるエキゾチックアリウム水族館と姉妹館提携。(NS) |
| 9・28 | 中南米航路 | 日本の海運各社、コスト低減を狙って中南米向け航路で共同配船に乗り出す。(NS) |
| 9・30 | ブラジル | 邦人3人を含むブラジル国内便ハイジャック、乗客は全員無事解放。(NE・ME・AE・YE) |
| 10・3 | アルゼンチン | アルゼンチンから「タンギッシモ」が来日公演。(AE) |
| 10・4 | メキシコ | 三井物産、マキラドーラを利用し日本企業のメキシコ進出を支援する「シェルター(避難所)プログラム」と名づけた新サービスを開始。(NS) |
| 10・4 | ドミニカ共和国 | 外務省人事、駐ドミニカ共和国大使館参事官に川岸登氏を起用。 |

| | | |
|-------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | (NS・NK) |
| 10・5 | 中 南 米 | (～13日)赤坂草月ホールにてラテンアメリカ映画祭開催。(AE・YE・NK・ME) |
| 10・5 | メ キ シ コ | 千代田化工建設、伊藤忠商事と共同でメキシコのテレクタトス・メヒカノス・SA社からのテレフタル酸プラント受注を内定。(NS) |
| 10・5 | メ キ シ コ | 伊藤忠商事、米タイソンフーズ及びメキシコのトラスゴ・グループと合併で、鶏肉加工品の開発輸入に乗り出す。(NS) |
| 10・5 | コ ロ ン ビ ア | モダニズム彫刻家エドカー・ネグレー展開幕。(NK) |
| 10・6 | ブ ラ ジ ル | 電子楽器メーカー大手のローランド、近くブラジルに現地子会社を設立し、エフェクターなどの生産を開始予定。(NS) |
| 10・6 | ブ ラ ジ ル | 第一勧業銀行、ブラジル第三位の商業銀行ユニバンコ・グループの株式10%取得で同グループと合意し5500万ドルを払い込む。(NK) |
| 10・10 | キ ュ ー バ | 港区南麻布にある同国大使館の売却決定。(MN) |
| 10・12 | ブ ラ ジ ル | アマゾンで小川芳男さんがワニのふ化に成功し、養殖を開始。(ME) |
| 10・13 | 中 南 米 | 民社党の塚本委員長、水戸市内のホテルでの税制改革に関する講演で「中南米にはカスばかり」と発言。(AH) |
| 10・14 | チ リ | 電源開発、出力5万kw以下の中小規模水力発電の建設を促す計画マニュアル作りでチリに技術協力。(NS・NK) |
| 10・14 | ペ ル ー | ペルー大使館、渋谷の敷地を国際入札で売却することを決定。(YU) |
| 10・16 | 中 南 米 | 塚本委員長の「カス」発言に対し中南米外交団が抗議。(YU) |
| 10・17 | メ キ シ コ | 世界ボクシング協会ジュニアフェザー級チャンピオン、ファン・ホセ・エストラダ(メキシコ)対同級7位、六車卓也(大阪帝拳)のタイトルマッチで、エストラダが11回TKO勝ちして初防衛に成功。(AH) |
| 10・18 | 中 南 米 | 塚本委員長「カス発言」を謝罪。(ME・AE) |
| 10・19 | ペ ル ー | 潜水艦衝突で同国地検、「共和丸」船長ら4人を起訴。(ME・NE・YE) |
| 10・19 | アルゼンチン | 日米欧民間銀行団諮問委員会との間で利払いを一部再開し、1億ドルの支払いに合意。(NE) |
| 10・20 | ブ ラ ジ ル | 9月に輸入された同国産のトリ肉計40トンから農薬が検出。 |
| 10・20 | アルゼンチン | 日本水産、現地の大手水産会社メジノ社と合併会社を設立、来年1月にも操業開始予定。(NS) |
| 10・26 | ブ ラ ジ ル | 立石電機、マナウスにセンサーの製造販売会社「オムロン・コンポーネンツ。エレクトロニコス・ダ・アマゾニア」を設立。(NS) |
| 10・30 | ニ カ ラ グ ア | 日本政府、大型ハリケーンで被害を受けた同国に日本赤十字社を通じて総額2千万円相当の救援物資を緊急援助として送ることを決定。(YU・AH) |
| 10・30 | アルゼンチン | バレーボール '88ジャパンカップスペシャル・FIVBオリンピック4 |

| | | |
|-------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 強男子大会で日本はアルゼンチンに敗北。(AH・JT) |
| 11・4 | ブラジル | 日伯経済協力プロジェクトのひとつとして完成したツパロン製鉄、アルゼンチンとの経済協力促進のためアルゼンチン最大の製鉄所プロプルソーラ・アルヘンティーナの資本参加受け入れを検討。(NS) |
| 11・6 | ペルー | バレーボール'88ジャパンカップスペシャル・FIVBオリンピック4強女子大会にて、ペルーは日本に圧勝。(AH) |
| 11・8 | アルゼンチン | 第三世界のスラム街で居住環境改善運動を続けているエドワルド・アンソレーナ氏、第1回国際居住年記念賞を授賞。(AE・NK) |
| 11・10 | アルゼンチン | 健康食品メーカーホワイトフーズ、89年1月をめどにアルゼンチン茶輸入販売の専門商社カチャマイ・ジャパンを設立。(NS) |
| 11・10 | メキシコ | 日本・メキシコ修好百周年を記念して、「日墨関係―その歴史と21世紀への展望」をテーマに日墨国際シンポジウムが開催。(MN) |
| 11・12 | キューバ | キューバ遠征の広島カープ、最終対戦成績は1勝4敗。(AH・JT) |
| 11・13 | ブラジル | 政府、同国向け日本輸出入銀行融資を約3年ぶりに再開。(NK) |
| 11・13 | ジャマイカ | 米州開発銀行、日本が提供した無償資金を初めてハリケーンで被害を受けたジャマイカに対して活用。(NK) |
| 11・15 | ブラジル | ブラジルのオレンジ果汁メーカーの大手シトロスーコ・パウリスタ、スコシトリコ・クトラーレ両社は共同で日本にジュースのストック、配送用のターミナルを建設する方針を固め、日本側と話し合いに入る。(NS) |
| 11・16 | ブラジル | 日本の17の金融機関が、累積債務軽減策の一環としてブラジル政府が発行する「エグジットボンド」を合計約1億8000万ドル購入。(NK) |
| 11・17 | ポリビア | フォルクローレ・グループ「コンフント・ウイリアム・センテージャズ」が初来日。(AE) |
| 11・18 | ブラジル | 段谷産業、日本合板業界で初めて合板材料として同国から原木を輸入。(NS) |
| 11・18 | ブラジル | 三菱化成、同国の石油化学事業を拡充する。(NK) |
| 11・20 | グアテマラ | 外務省人事、駐グアテマラ大使館参事官に鈴木邦治氏を起用。(NK) |
| 11・21 | ブラジル | 新日本製鉄など鉄鋼、合金鉄4社、ブラジルからのマンガン鉱石の輸入を拡大。(NS) |
| 11・22 | ブラジル | ミノルタカメラ、丸紅と共同でPPC(普通紙複写機)の製造販売会社「ミノルタ・コピアドラ・ド・アマゾナス・リミターダ」を設立。(NS) |
| 11・24 | ブラジル | 三菱鉱業セメント、ブラジルでセメント工場改造のコンサルティング業務を受注。(NS) |
| 11・29 | ペルー | 番徹夫元ペルー大使急性心不全のため死去。(NK) |
| 12・1 | メキシコ | サリーナス大統領就任式典に後藤田前官房長官を派遣。(MN・AE・ |

| | | |
|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 12・1 | メキシコ | NE) サリーナス大統領の就任式を機に日本輸出入銀行とメキシコ外国貿易銀行間で総額80億円の貸付契約調印。(YU) |
| 12・1 | ペルー | ペルー民族舞踊の「グルーボ・インティ」公演。(AE) |
| 12・6 | 南米 | 日本水産、南米での営業活動を強化するため、現地事業の一元化に乗り出す。(NS) |
| 12・7 | 中南米 | 来日中の国連ラテンアメリカ経済委員会(ECLAC)のゲート・ローゼンタール事務局長、累積債務問題への日本の支援を要請。(JT・NK・AH) |
| 12・7 | メキシコ | 「メキシコのプニュエル映画祭」、東京で開催。(AE・YE) |
| 12・20 | ブラジル | 兼松江商の鈴木英夫社長、ブラジル政府から民間人向けでは同国最高位の勲章、オールデン・ド・クルゼイロ・ド・スール(南十字勲章)を授賞。(NS・YU) |
| 12・21 | メキシコ | 使い捨てライターの東海、89年1月よりメキシコと中国で生産開始。(NK) |
| 12・25 | グレナダ | アイドル歌手南野陽子さんを描いた切手発行。(MN) |
| 12・27 | ベネズエラ | 前払い輸入保険を初適用する丸紅がベネズエラと日本の合併アルミニウム精錬会社に1億ドルを融資し、見返りに8年間で40万トンのアルミ地金を引き取る商談が実現。(NK) |
| 12・28 | ブラジル | 栗田工業、ブラジルの現地法人クリタ・ド・ブラジルの新工場建設に着手。89年4月の完成予定で投資額は約1億円。(NS) |
| 12・31 | コロンビア | トヨタ自動車、フランスの自動車メーカー、ルノー公団と、コロンビアで4輪駆動商用車「ランドクルーザー」を90年半ばから年間3万台規模で共同生産すると発表。(NK) |

(以上292項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

| 新聞名 | 朝刊 | 夕刊 |
|----------|----|----|
| 朝日 | AH | AE |
| 毎日 | MN | ME |
| 読売 | YU | YE |
| 日本経済 | NK | NE |
| 日経産業 | NS | |
| ジャパントイムズ | JT | |
| 日本工業 | NI | |
| 東京 | TK | |

Sophia-R

Sophia University Repository for Academic Resources

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title | 〈資料〉 日本・ラテンアメリカ関係日誌 —1989年— |
| Author(s) | |
| Journal | イベロアメリカ研究, 12(2) |
| Issue Date | 1991-03-12 |
| Type | 紀要/Departmental Bulletin Paper |
| Text Version | 出版者/Publisher |
| URL | http://repository.cc.sophia.ac.jp/dspace/handle/123456789/9224 |
| Rights | |



上智大学
Sophia University

<http://www.sophia.ac.jp>

《資 料》

日本・ラテンアメリカ関係——1989年——

| 月日 | 国 名 | 記 事 |
|-------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 7 | ラテンアメリカ | 外務省、9日から開催予定の中南米大使会議中止決定。(NE) |
| 1. 7 | パラグアイ | 同国政府、昭和天皇死去に際し8日間の服喪決定。(NK) |
| 1. 8 | キューバ | 同国政府、昭和天皇死去に際し3日間の公式追悼期間の設定を決定。(AE, YE, NK) |
| 1. 9 | ブラジル | 高炉各社、89年積み同国産鉄鉱石の値上げ受入決定。(NS) |
| 1. 10 | ラテンアメリカ | 外務省人事。駐ドミニカ兼ジャマイカ兼バハマ大使榎本助太郎、駐パナマ大使沢井昭之、駐ブラジル大使小村康一、駐ボリビア大使伊藤武好の各氏に帰国命。(MN, YU, AH) |
| 1. 11 | チリ | 同国政府、昭和天皇死去に際し3日間の服喪を発表。(ME) |
| 1. 12 | ラテンアメリカ | 竹下首相、昭和天皇の死去に際し国際慣例を上回る服喪措置をとったブラジルなど20か国の政府に対し謝意の伝達を指示。(AH) |
| 1. 13 | ブラジル・ベネズエラ | 三菱金属、グループ内事業再編にともない三菱化成のもつ両国でのアルミ事業買収で合意。(YE) |
| 1. 13 | メキシコ | 武田薬品工業、100%出資子会社「メキシコ武田」事業活動休止発表。(NK) |
| 1. 14 | メキシコ | 新駐日大使にマリオ・モヤ・パレンシア国連大使。(NK, MN) |
| 1. 17 | ペルー | 同国沖衝突事故で死亡した同国兵遺族、日本漁船主らを提訴。(NE, AE, YE) |
| 1. 18 | ラテンアメリカ | 外務省人事。駐ブラジル大使に賀陽治憲、駐ウルグアイ大使に広岡欣之助、駐ボリビア大使に高畑敏男の各氏を起用。(NE, ME, AE, YE) |
| 1. 20 | ベネズエラ | 政府、同国大統領就任式に山下徳夫特派大使派遣決定。(NE, AE, YE) |
| 1. 24 | ラテンアメリカ | 通産省、貿易保険に累積債務国向け特別引受制度導入決定。3月から実施。(YU) |
| 1. 25 | ブラジル | 日米の民間銀行に総額5億3,000万ドルの利払い。(NK, MN) |
| 1. 27 | ペルー | 同国海難審判所、衝突事故での日本漁船の過失を認め5,000ドルの罰金の裁定。(ME, AH) |
| 1. 27 | ウルグアイ | 外務省人事。免ウルグアイ駐在、赤松良子大使。(NE, YE) |
| 1. 31 | ブラジル | 邦銀20数行、対ブラジル貸出債券約730億円を債券共同買取会社「JBAインベストメント」に売却。(NK) |
| 2. 1 | ハイチ | KDD、同国へのダイヤル通話サービスを開始。(NS) |
| 2. 2 | チリ | 日東製網の漁網現地工場完成、操業開始。(NS) |
| 2. 14 | パラグアイ | 政府、同国ロドリゲス新政権承認。(AE, NE, ME, YE) |

| | | |
|-------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 2. 16 | ペ ル ー | 政府、同国での洪水への見舞金として2万ドルの贈与を決定。(YE) |
| 2. 17 | パ ナ マ | 同国政府、金丸信氏に授賞決定。(YU) |
| 2. 18 | ブ ラ ジ ル | 対日公的債務2,800億円繰延合意。(AH, NK, YU) |
| 2. 20 | メ キ シ コ | 外務省人事。駐メキシコ大使館参事官に浅見真駐インドネシア大使館参事官を起用。駐メキシコ公使の甲斐紀武氏は駐イタリア公使に。(NK, MN, YU) |
| 2. 21 | グ ア テ マ ラ | セレソ大統領、訪日中止。(ME, NK, AH) |
| 2. 21 | ニ カ ラ グ ア | ウエソ駐日大使、矢野公明党委員長、金子共産党委員長代行と会談。(YU, MN) |
| 2. 23 | コ ス タ リ カ | マドリガル外相、宇野外相と会談。(NK, ME) |
| 2. 24 | ブ ラ ジ ル | サルネイ大統領、天皇と会見、および竹下首相と会談。(MN, AH) |
| 2. 24 | パ ナ マ | 来日中のソリス大統領代行、竹下首相と会談。(NK, AH) |
| 2. 24 | ラテンアメリカ | 宇野外相、中南米9か国大使との昼食会で債務問題への協力を示唆。(NK) |
| 2. 25 | ホンジュラス | 来日中のアスコナ同国大統領、竹下首相と会談。(NE, AH, MN) |
| 2. 27 | メ キ シ コ ・ コ ロ ン ビ ア | 来日中の両国政府特使、天皇と会見。(YU) |
| 2. 28 | ニ カ ラ グ ア | 土井社会党委員長、党本部で同国ヒュッペル蔵相と会談。(AH) |
| 2. 28 | ブ ラ ジ ル | 同国大手鉱山会社「リオドセ社」のマンガン鉱89年度積み対日輸出価格交渉、前年度比55.7%高で妥結。(NS) |
| 3. 1 | ドミニカ共和国 ・ パ ナ マ | 外務省人事。駐ドミニカ共和国大使に角田勝彦氏、駐パナマ大使に加藤淳平氏起用。(ME, NE, YE, AE) |
| 3. 1 | ホンジュラス | 上島忠雄・上島珈琲会長、同国名誉総領事に。(NS) |
| 3. 4 | メ キ シ コ | 京セラ、ティファナ市郊外に電子部品組立工場開設。(NS) |
| 3. 7 | ボ リ ビ ア | 外務省人事。免駐ボリビア大使伊藤武好氏。 |
| 3. 7 | 仏 領 ギ ア ナ | 日本初の民間通信衛星「JCSAT 1号」、打ち上げ。(NS, NE) |
| 3. 8 | ニ カ ラ グ ア | 日本の民間代表、「第2パナマ運河建設計画」について同国政府建設委員会と協議。(MN) |
| 3. 12 | ボ リ ビ ア | 元駐ボリビア大使の片岡孝三郎氏、死去。(MN, AH, YU) |
| 3. 14 | ブ ラ ジ ル | 外務省人事。免駐ブラジル大使、小村康一氏。 |
| 3. 16 | メ キ シ コ | 来日中のアスベ蔵相、村山蔵相と会談。(NK) |
| 3. 17 | チ リ | 毒物混入の疑いのある同国産ブドウ輸入停止に報復し、日本漁船を抑留。(YE, ME, AE, NE, JT) |
| 3. 18 | メ キ シ コ | 日本政府、89年度から同国を円借款供与対象国に決定。(NK) |
| 3. 27 | ブ ラ ジ ル | 日伯合弁パルプ製造事業「セニブラ」、在伯パルプ工場能力増強計画決定発表。(NS) |
| 3. 27 | ベ ネ ズ エ ラ | 世界フェザー級タイトル戦でアントニオ・エスパラ・ゴザ、杉谷満にKO勝。(AH, JT) |

| | | |
|-------|-------------------|------------------------------------------------|
| 3. 28 | ブラジル | 日本政府、同国に対する円借款供与決定。(AH) |
| 3. 28 | コスタリカ | 日本政府、同国内の難民に対し3億円余の緊急援助決定。(ME, NE, YU) |
| 3. 29 | メキシコ | 日本鉱業、石油資源開発とメキシコ湾油田・ガス田権益の一部買収で合意。(NS, NK) |
| 3. 31 | ラテンアメリカ | 外務省人事。榎本助太郎・駐ドミニカ共和国兼ジャマイカ兼バハマ大使辞職。(AE, ME) |
| 4. 11 | エルサルバドル | 伊藤恭一氏にホセ・マティアス・デルガド大十字銀賞授賞。(AE) |
| 4. 13 | ニカラグア | 「ニカラグア素朴画展」開催(4.26まで)。(NE, AE) |
| 4. 13 | アルゼンチン | 東京・銀座で「ホルヘ・フェレーラス展」開催。(ME, AE) |
| 4. 19 | メキシコ | 東京・渋谷で「グループ・マゲイ」来日コンサート。(ME) |
| 4. 20 | アルゼンチン | 外務省人事。山下和夫駐アルゼンチン大使に帰国命。(YU, MN) |
| 4. 26 | ブラジル | 東京・上野で「セルジオ・アサド&オダイル・アサド・ギター・デュオ・リサイタル」開催。(NE) |
| 4. 27 | ウルグアイ | 日本貿易振興会、同国経済財務省と共同で「ウルグアイ展」を東京・池袋で開催。(NS, NK) |
| 4. 28 | ウルグアイ | 外務省人事。赤松良子・前駐ウルグアイ大使辞職。(AE) |
| 5. 1 | アルゼンチン | 外務省人事。駐アルゼンチン大使に藤本芳男氏を起用。(ME, NE, AE) |
| 5. 2 | メキシコ | 日米欧民間銀行団、同国債務問題で協議。(NK) |
| 5. 9 | ラテンアメリカ | 外務省人事。駐ジャマイカ・バハマ大使を兼務。角田勝彦・駐ドミニカ共和国大使。(AE, YE) |
| 5. 10 | コスタリカ・ エルサルバドル | 外務省人事。多田敏孝、駐コスタリカ兼エルサルバドル大使に帰国命。(YU, AH, MN) |
| 5. 10 | アルゼンチン | 森ビルなど3社、同国大使公邸を460億円で購入。(AE, YE, ME, NS, NK) |
| 5. 11 | アルゼンチン | 同国政府、本田技研のオートバイ工場建設申請却下。(AH) |
| 5. 19 | エルサルバドル | 同国大統領就任式に中島源太郎代議士(特派大使)を派遣決定。(NE) |
| 5. 19 | コスタリカ | 外務省人事。駐コスタリカ大使に野村忠策氏を起用。(AE, ME, YE, NE, JT) |
| 6. 1 | ブラジル | 日航、成田ーリオデジャネイロ線を成田ーサンパウロ線に変更。(NK) |
| 6. 3 | キューバ | 日本・キューバ野球選手権で全日本優勝。(AH) |
| 6. 4 | キューバ | バレーボールNHK杯女子国際大会でキューバ6連覇。(AH) |
| 6. 6 | ポリビア | 外務省人事。伊藤武好・前駐ポリビア大使辞職。(AE) |
| 6. 12 | アルゼンチン | タンゴ・アルヘンティーノ来日。(YE) |
| 6. 16 | アルゼンチン | 外務省人事。山下和夫・前駐アルゼンチン大使辞職。(AE, YE) |
| 6. 28 | コロンビア | 日本貿易振興会、東京・池袋で「コロンビア展」開催。(NK) |
| 6. 30 | コスタリカ・ エルサルバドル | 外務省人事。免駐コスタリカ兼エルサルバドル大使。多田敏孝氏。(YE, AE, ME) |
| 6. 30 | チリ | 大王製紙、同国に植林会社「フォレストル・アンテレ」設立。(NK, NS) |

| | | |
|-------|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| 7. 23 | メキシコ | 同国政府、日米欧民間銀行団と債務救済策で最終合意。(NK, AE, YU) |
| 8. 2 | エクアドル | 東京・江東区で「エクアドル展」開催。(YU) |
| 8. 11 | メキシコ | 東京・有楽町で「フリーダ・カーロ展」開催。(YE) |
| 8. 17 | ペルー | 同国移住式典に首相代理として近藤鉄雄元経企庁長官を派遣。(YU) |
| 8. 23 | ブラジル | 日本貿易振興会、東京・池袋で「ブラジル展」開催。(YU, NS) |
| 8. 28 | チリ | 日本政府、同国に対する11億5,000万円の無償供与を発表。(NK) |
| 8. 30 | メキシコ | 同国国営石油会社、9月積み対日原油供給5%削減を通告。(NK) |
| 9. 1 | パナマ | 日本政府、米パ断交にあたり同国との関係維持方針を発表。同時にロドリゲス暫定大統領就任を批判。 |
| 9. 1 | メキシコ | 日米首脳会談で日本輸出入銀行の協調融資のうち14億ドルの初年度前倒し実施正式決定。(NK) |
| 9. 4 | チリ | 日本輸出入銀行、チリ国立商業銀行と総額50億ドルの円建て融資を契約。(NK) |
| 9. 4 | メキシコ | 海部首相、同国訪問。(NE) |
| 9. 5 | コスタリカ | 日本政府、同国に難民対策として食糧緊急援助を決定。(NE) |
| 9. 5 | メキシコ | 日墨首脳会談。海部首相、高級事務レベル定期協議設置を提案するとともに輸銀融資前倒し、環境対策円借款供与などの支援策表明。(NE, YE) |
| 9. 5 | メキシコ | 日墨外相会談で青年交流拡大合意。(NE) |
| 9. 6 | メキシコ | 債務債券化で、ドルのほか円・マルクなど8か国通貨建て債券を発行することで日米欧民間銀行団と合意。(NK) |
| 9. 8 | コロンビア | 米国捜査当局、コロンビアの麻薬密売組織集団「メデジン・カルテル」の不正資金捜査で邦銀を含む銀行が送金ルートとして利用されていたとする資料を裁判所に提出。 |
| 9. 9 | メキシコ | 同国政府、日米欧民間銀行団、IMFなどと向こう3年間の同国向け国際機関救済融資70億ドルのうち58億ドルを初年度(1990年)に集中融資することで合意。 |
| 9. 11 | ウルグアイ | サンギネッティ大統領来日。(NK, YU) |
| 9. 12 | エルサルバドル | 外務省人事。駐エルサルバドル大使に野村忠策・駐コスタリカ大使を兼任起用。(YE) |
| 9. 12 | ウルグアイ | 日本政府、同国に71億6,600万円を限度とする円借款の供与と技術協力協定の締結を決定し、両国外相間で円借款書簡交換、協定署名。(NK) |
| 9. 13 | メキシコ | 同国政府と日米欧民間銀行団、石油価格回復時に同国石油収入の最大30%を銀行団に還元するなどの内容を盛り込んだ債務救済策の詳細を決定。(NE) |
| 9. 14 | ウルグアイ | 来日中のサンギネッティ大統領、広島・常石造船視察。(NS) |

| | | |
|--------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9. 14 | メキシコ | 同国大蔵省、日米など11か国から総額20億ドルのつなぎ融資を受けると発表。(NK) |
| 9. 18 | メキシコ | 日本プラント協会、同国電力庁(CFE)の要請で大気汚染調査を目的とする環境調査団を派遣。(NK) |
| 9. 18 | ブラジル | 長谷川末吉・播磨化成工業会長、同国パラナ州政府より受勲。(NS) |
| 9. 19 | メキシコ | 日本大蔵省、同国債務救済策の一環として超長期割引国債(償還期限30年)の発行を発表。(NK, YU) |
| 9. 21 | チリ | 同国政府、佐々木醇三・日魯漁業社長に「ベルナルド・オヒギンス勲章」授賞。(AE) |
| 9. 22 | ペルー | 同国北部のアンデス山中で遺跡発掘調査中の東京大学アンデス考古学調査団、3000年前の墓2か所と金製品6点を含む副葬品を発見。 |
| 9. 26 | ラテンアメリカ | クエール米副大統領、記者会見で南米諸国の麻薬問題解決に向けての日本の貢献の必要性を強調。(NE) |
| 9. 26 | ラテンアメリカ | 外務省、ブッシュ米大統領から海部首相に中米麻薬問題での協力を求める書簡が届き、同首相が検討を約束する返書を出したことを明らかにする。(NK) |
| 9. 26 | ニカラグア | ベーカー米国務長官、中山外相に同国大統領選でのチャモロ陣営への自民党の支援を要請。(NE) |
| 9. 26 | ペルー | 同国政府、海部首相に「ペルー太陽大十字勲章」を授賞。(YU) |
| 9. 26 | ベネズエラ | 日米欧民間銀行団、同国政府と5億5,000万—6億ドルのつなぎ融資を実施することで合意。(NE) |
| 9. 28 | ラテンアメリカ | 東京・渋谷で「現代ラテンアメリカンアート版画展」開催。 |
| 9. 28 | プエルトリコ | 沖電気、米ヒューレット・パッカード社と共同出資でプリント配線基盤工場をプエルトリコに建設すると発表。(NK) |
| 10. 1 | チリ | 外務省人事。野見山修一駐チリ大使に帰国命。(YU) |
| 10. 4 | パナマ | 同国駐在日本大使館、在留邦人・企業にクーデター被害なしと外務省に連絡。(NE) |
| 10. 5 | メキシコ | 来日中のグリア同国大蔵次官、記者会見でプレイディ構想による民間債券銀行の債務救済策は債務削減が22~30%、金利減免が40~50%、新規融資が20~25%の比率になるうとの見通しを表明。(NK) |
| 10. 8 | ラテンアメリカ | 外務省企画の「中南米フェスティバル」の一環として中南米大使チームと日本国会議員チームとのサッカー試合が東京・国立競技場で。7—1で大使チームに軍配。(NK) |
| 10. 9 | パラグアイ | 日本と同国間の移住協定が同月25日に期限切れになるのにもない、両国政府、同協定を無期限に改定することで合意、アスンシオンで書簡交換。(NK) |
| 10. 10 | メキシコ | 日本大蔵省、プレイディ構想に基づく邦銀の同国向け支援策の際に |

| | | |
|--------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 発生する損失の無税償却を認めるなどとする税制面での対応策をまとめる。(NK) |
| 10. 12 | ラテンアメリカ | 神奈川県警・平塚署、南米の日系人ら2,200人を単純労働に不法あっせんしていた人材派遣業者を逮捕。(NK) |
| 10. 17 | チリ | 外務省人事。駐チリ大使に色摩力夫駐コロンビア大使を起用。(NE) |
| 10. 19 | キューバ | 同国砂糖公団、天候不順による収穫の遅れで11-12月に予定されている粗糖の船積みを延期すると日本を含む各国の輸入商社に通告。(NK) |
| 10. 27 | メキシコ | 三井銀行、同国の国営商業銀行(BANAMEX)と業務提携することで合意、同日ニューヨークで調印。(NK) |
| 10. 31 | エクアドル | 日本輸出入銀行、同国政府と総額144億円を限度とするアンタイド・ローンを供与する貸付契約を締結。 |
| 10. 31 | ラテンアメリカ | 千葉県警防犯部、千葉中央署、日系人ら2,300人を単純労働者として不法派遣していた人材派遣会社の社長・幹部を逮捕。(NK) |
| 11. 1 | ブラジル | 外務省人事。塚田千裕・リオデジャネイロ総領事に帰国命。(AH) |
| 11. 3 | ラテンアメリカ | フォンテーヌ在バルパライソ名誉総領事が勲三等瑞宝賞、井門泰・元ラパス日本人会会長が勲五等瑞宝賞など、ラテンアメリカ人、在ラテンアメリカ邦人多数が秋の叙勲授賞。(NK) |
| 11. 5 | ブラジル | M・トルバ国連環境計画(UNEP)事務局長、志賀環境庁長官とハーグで会談し、1992年に予定されている国連環境会議を途上国にも配慮して「国連環境開発会議」という名称にし、開催地としてブラジルが有力候補になっていることを表明。(NK) |
| 11. 7 | チリ | 東京・豊島区で「チリ人民支援コンサート」。(AH) |
| 11. 7 | メキシコ | 全国銀行協会連合会の宮崎邦次会長、メキシコ債務救済策に関する邦銀28行の同国政府への回答の中で新規融資の選択がゼロであったと表明。(NK) |
| 11. 9 | メキシコ | 日本輸出入銀行、世銀との協調融資の形で10億5,000万ドルを融資することで同国と正式調印。(NK) |
| 11. 9 | ベネズエラ | 元駐ベネズエラ大使、光藤俊雄氏死去。(AH) |
| 11. 10 | ベネズエラ | 日本輸出入銀行、ベネズエラ電信電話公社に1億4,770万ドル相当の円建てアンタイドローンを供与する議定書に調印したと発表。(NK) |
| 11. 11 | ブラジル | 日本政府、同国に対し640億5,700万円を限度とする円借款を供与すると発表。(NK) |
| 11. 12 | ラテンアメリカ | 日本・ラ米諸国経済交流促進シンポジウム名古屋市で開催。米州開発銀行・日本輸出入銀行共催。メキシコのアスペ蔵相など24か国から9人の閣僚、5人の中央銀行総裁などが参加。(NK) |
| 11. 13 | メキシコ | 日本輸出入銀行、同国にIMFとの協調融資の形で10億ドルを融資することで正式合意し、名古屋市でアスペ蔵相と調印。(NK) |

| | | |
|--------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11. 16 | アルゼンチン | 同国経済相・日本貿易振興会、東京・池袋で「アルゼンチン展」開催。(NS) |
| 11. 17 | コロンビア | 政府、同国のバルコ大統領が12月5日から8日まで公式実務訪問による賓客として来日すると発表。(NE) |
| 11. 17 | メキシコ | 日本の石油各社、同国政府・PEMEXと90年以降5年間の同国産原油の対日価格決定方式と輸入数量について基本合意。価格決定は現行方式を継続、数量は日量3万バレル減の同15万バレル。(NK) |
| 11. 17 | ウルグアイ | 松永通産相、来日中のセルビーノ同国経済財務相と会談。席上セルビーノ経済財務相はコンピューター技術情報センター計画などへの協力を要請。(NK) |
| 11. 17 | エルサルバドル | 日本人男性1人がゲリラ参加の疑いで同国国家警備隊員に逮捕・連行され、経済警察本部に身柄を拘束されたことが明らかに。また翌日さらに2人の邦人も拘束されていたことがわかった(同22日全員釈放)。(NE) |
| 11. 18 | ラテンアメリカ | ラテンアメリカなど22か国が参加するワールドファッションフェア89、大阪を中心に開幕。(NS) |
| 11. 20 | 英領ケイマン諸島 | 協和銀行、埼玉銀行支店開設。(NK) |
| 11. 22 | ブラジル | 来日中のリマ外務次官、栗山外務次官と会談し、高級事務レベル定期協議設置で合意。(NK) |
| 11. 24 | 英領ケイマン諸島 | 東洋信託銀行、支店開設。(NK) |
| 11. 28 | 英領ケイマン諸島 | 大和銀行、支店開設。(NK) |
| 11. 28 | アルゼンチン | 千代田化工建設。三井物産、同国のペトロケン社からポリプロピレン製造プラントを約70億円で受注。(NK) |
| 11. 29 | アルゼンチン | 第12回日亜経済合同委員会、東京で開催(～30日)。日本側からは石川六郎日商会頭、諸橋晋六日亜経済委員会会長ら、アルゼンチン側からはゴメス亜日経済委員会会長、ペイラーノ・ヴェロックス銀行社長らが出席。(NK) |
| 11. 29 | チリ | 神奈川県衛生部、チリ産鶏肉に食品衛生方で禁止されている合成抗菌剤クロピドールが含まれていたことが判明したことから、業者に回収を指示。(NK) |
| 12. 1 | メキシコ | 日本石油など石油19社、同国産原油輸入の新窓口となる「メキシコ石油輸入協議会」設立。(NK, NS) |
| 12. 1 | ラテンアメリカ | 外務省人事。中南米局長に瀬木博基氏を起用。(AH) |
| 12. 4 | ラテンアメリカ | 東京銀行、本店でメキシコ、ブラジル、ベネズエラ、チリ、アルゼンチンの5か国を対象とする投資セミナー開催。(NK) |
| 12. 5 | ブラジル | 外務省人事。岡田昭男マナオス総領事に帰国命。(AH) |
| 12. 5 | コロンビア | バルコ大統領来日。6日に天皇・皇后両陛下に会見、海部首相と会談(12.8まで)。(NK, NE) |

| | | |
|--------|---------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 12. 7 | アルゼンチン | 東京銀行、英ミッドランド銀行、アルゼンチンのリオ・デ・ラ・プラタ銀行、同国の累積債務圧縮を目的とする投資会社APDTCを設立することで合意。(NK) |
| 12. 7 | コロンビア | バルコ大統領、池田大作・創価学会インターナショナル会長に「コロンビア共和国功労大十字勲章」を授賞。(AH) |
| 12. 7 | メキシコ | 第18回日墨経済協議会、カンクンで開催(~8日)。日本側から永山時雄経団連副会長ら、メキシコ側からカルゴバ・メキシコ工業会議所連合会会長らが出席。(NK) |
| 12. 9 | メキシコ | ソラナ外相来日。中山外相(11日)、海部首相(13日)と会談。定期外相会談開催で合意。(NK) |
| 12. 12 | ラテンアメリカ | 運輸省、内外航空会社から出されていた日本発運賃の値上げ申請を認可。中南米線はビジネスクラスで2-4%値下げ。同月15日から実施。(NE) |
| 12. 18 | メキシコ | 日本電気、同国に自動車電話機の生産会社「NECテクノロジーズ・メキシコ」を設立。(NK) |
| 12. 19 | コロンビア | 外務省人事。駐コロンビア大使に塚田千裕・駐リオデジャネイロ総領事を起用。(NE) |
| 12. 21 | パナマ | 日本政府、米軍のパナマ侵攻に対して「背景は理解、武力公使は遺憾」との見解を表明。(AE, NK) |
| 12. 21 | パナマ | 米政府、日本政府に対しパナマのエンダラ政権を正式に承認するよう要請したことが明らかに。(NE) |
| 12. 21 | パナマ | 外務省首脳、一時帰国中の加藤・駐パナマ大使を帰任させることを明らかに。(NK) |
| 12. 21 | パナマ | 外務省、同国への渡航自粛を勧告。(NK) |

(以上163項目)

以上の記事は当研究所のラテンアメリカ関係の新聞の切り抜きから選んだものである。日付は現地時間に従う。各新聞の略号は次の通りである。

| 新聞名 | 朝刊 | 夕刊 |
|----------|----|----|
| 朝日 | AH | AE |
| 毎日 | MN | ME |
| 読売 | YU | YE |
| 日本経済 | NK | NE |
| 日経産業 | NS | |
| ジャパントイムズ | JT | |
| 日本工業 | NI | |
| 東京 | TK | |